

模範商店小賣物語	池田藤四郎	二七〇頁	二〇〇	一八〇	能率増進法に多年の研鑽を積める著者の最新式の小賣法を何人にも分り易く説明され、てある。小賣店の悲境を開拓するものである。	厚生閣
容易く利益の多い副業	野中 正	四〇〇頁	二〇〇	一八〇	何れの家庭にても容易く出来る利益の多い副業の幾多の方法を説明したものである。収入不足景氣などで驚かすに副業で増収を計れ。	二松堂
商業地誌						
商業地理學概論	野口保市郎	二六六頁	二五〇	一五〇	本書は著者多年の研究によりて商業地理學を全般的に巨りて詳細に而も平易に叙述せるものにして高等商業學校程度の教科書としてよしの本書は地文及び人文の長短に重きを置き、以て現代に於ける國家的商工業の盛衰を卜する指南ならしめたり。	早稲田社
世界商業新地誌	住登勝藏	二六四頁	一五〇	一六〇	内、外商業地理の兩者を綜合し第一編總論第二編商品誌第三編交通誌第四編商業誌第五編結論とし以て從來の排列法を一變せるが特色	松邑三松堂
訂改内外商業新地理	住登勝藏	二五四頁	一四〇	一六〇	商業地理教授の経験に基きて編纂す自然と人々の経済的関係の明かにし以て我國經濟的發展の現狀より世界的位置を知らしむに努む	同
日本商業新地誌	住登勝藏	二二三頁	一四〇	一六〇	商業取引の英語書信に就て註解付にて其文例を示す事、町、周、到、貿易に従事する者は勿論、尙も將來商業界に立つ人の備ふべき良書。	同
商業用文						
模範英語商用書翰文	林 弘之	四六六頁	一〇〇	一八〇	商業用文は難かしいと云ふ。從來参考すべき良書が少い故ではあるまいか。習字兼用の本書の如きは實に理想的のものである。	文陽堂
實用英文商業通信	小久保定之助 米谷彦次郎	六八〇頁	四一八	一八〇	對外貿易は商業通信の巧拙により左右さるる本に記述せる唯一の良書。	寶文館

習字 商業書翰文	西森富治郎	一〇五頁	〇八〇	〇六〇	商業用文は難かしいと云ふ。從來参考すべき良書が少い故ではあるまいか。習字兼用の本の如きは實に理想的のものである。	松邑三松堂
習字 商業書翰文初歩	西森富治郎	一〇四頁	〇八〇	〇六〇	商業用文を最も分り易く覚えさせ、それに、夜、學、用、或、は、獨、修、に、は、持、て、來、い、の、良、書、で、す。	同
英 商業通信活法	岡田 市治	四〇〇頁	一八〇	一八〇	英語の商用文についてあらゆる要件を網羅し、悉く得るやうに編纂した新書である。	有朋堂
和英商業通信辭典	前田定之介	九三〇頁	三二〇	一五〇	英語の商業通信文を書かんとして適當なる文句を求めらるる、實務家の好伴侶、又廣く和文英譯の好資料。必備の書とせば本書を謂ふ。	寶文館
交 通						
運 送 行 政	喜安健次郎	五二六頁	四一五	一八〇	鐵道行政と題して刊行せるもの。今回改訂の際に更に軌道、道路、船舶、航空、荷、も、運、送、に、關、する、政、策、施、設、一、切、の、概、要、を、簡、潔、に、叙、述、す。	巖松堂書店
歐米通信叢話	高橋 正忠	三七〇頁	二〇〇	一〇〇	先年著者が歐米各國の通信狀態を視察した時の記録を一々寫眞を添へて説明してあるもので、居ながらにして彼の地の通信界が一目瞭然たる。	南 郊 社
交通論一訂 海 運	坂本陶一	八五〇頁	五二八	二四〇	本書は海運に關する重要事項を理論と實際とに分けて詳述されたもので、斯業に従事する人研究の人の缺く可らざる最權威ある名著。	寶 文 館
海上運送史論	住田 正一	二三八頁	二〇〇	二〇〇	本書は我邦海上運送の歴史的研究にして、古來の文獻を渉獵して豐富なる資料を簡約せる平明にして趣味ある讀物たり。	巖松堂書店
趣味の郵便切手	三井 高陽	三四八頁	三〇〇	一〇〇	切手寫眞、標準圖書、増補訂正、寫眞八頁、誌主幹三井高陽氏の研究に成る。	丁未出版社

帝國海運政策論	經濟學博士 寺島成信	菊判背革 五〇〇頁送	五・一五〇	本邦最先の經濟學博士寺島先生が積年の蘊蓄を傾倒された學位論文で我邦及歐米列國の海運政策を縱横に論究せられたものである。	巖松堂書店
鐵道夜話	根本仙太郎	興判上裝 一〇七頁送	〇・七四〇	鐵道の隠れた歴史や沿革や挿話を漫畫を添へ面白く物語り尙機關車の第一歩より今日の精巧に至れる歴史を挿圖によつて説明してある。わが海運界にも波瀾重疊の渾沌時代を胚胎して動もすれば前途望洋の歎を興するに至る此の際本書出現す一讀の要あるを信す。	南郊社
日本の海運	伊東米治郎	四六判 布裝送	二・三二〇		寶文館
應用簿記學概論	中瀬勝太郎	菊判背革 七二八頁送	五・二四〇	大學の講義を基とし實例書式を多く引用して讀んですぐ役に立たしめたもの、應用篇は小賣業卸業合名會社株式會社に分説して詳。	明治堂
會計及貸借對照表	林 良吉	菊判布裝 四〇〇頁送	三・〇一八〇	本書は簿記會計を私經濟學の一として取扱ひ企業的損益計算を基調として原價計算を學理的に研究し詳解したるもの、學者、學生の參考問題の網羅、説述の平明は初學者と雖も容易に會計學の本體と近時の趨勢とを知り得べく實際家並に學生諸氏の必讀良書なり。	同文館
訂改會計學綱要	太田哲三	菊判布裝 四一八頁送	三・一五〇	我邦に監査の研究が等閑に附せられ居るを遺憾として著はされたもの、企業家、經營者及び一般會計當事者諸君にとりて無二の參考者著者が多年の經驗と學理とを經緯して大成せられた力作で會計監査に關する一切の事項を網羅し徹に入り細を穿ち組織的に詳説す。	巖松堂書店
會計監査要論(上卷)	中瀬勝太郎	菊判背革 六〇〇頁送	六・二〇〇	外國爲替は銀行簿記と離るべからざる關係を有する現狀に鑑み、その理論と實際とを最新の取引例に基きて最も懇切に説述せり。	同文館
改訂銀行簿記精義	川口西三	菊判布裝 八〇〇頁送	四・一八〇		同文館
會計監査	吉田良三	菊判背革 四〇〇頁送	三・一六〇		同文館
近世簿記講義	三邊金藏	菊判布裝 八〇〇頁送	四・五八〇	記帳の方法、各種帳簿の配合、組織、普通に一趣意目的をあげて懇切丁寧に解明したり	同文館
增訂近世簿記精義	吉田良三	菊判布裝 八八〇頁送	五・二八〇	本書は既に複式簿記の一般を學びたるもの對し高等なる簿記智識を授くるを目的として著はされ出版以來江湖の推賞を博したるもの	同
工業簿記	茂木英雄	菊判布裝 二四〇頁送	二・三〇〇	鹿野商大教授校閱。類書は多く歐米著作を翻譯したに過ぎないが本書は我國工業界の實情を精査し其實際に適應する様編纂せられたもの	松邑三松堂
最近會計學	海老原竹之助	菊判布裝 三五〇頁送	二・〇〇〇	米國會計學の泰斗ハットフィールドの著作を譯せる點に於て傑出したる會計學の良書。	博文館
最近簿記問題詳解	寶文館編輯所	菊判洋裝 前洋裝後三〇頁送	一・八〇〇	商業簿記問題及解説の姉妹篇とも云ふべし二十餘ヶ年に亘る全國高商入學試験の銀行簿記問題に解説を試みたもの。	寶文館
參訂程度銀行簿記	茂木英雄	菊判布裝 二六六頁送	一・八八〇	編纂に際し務めて現代に於ける銀行業者の取扱法と接觸せんが爲め都下一流銀行に付親しく之を調査し其是なりと信するもの總て示す	松邑三松堂
商業簿記	茂木英雄	菊判布裝 一八五頁送	〇・一六二	例題の範圍は可成種々なる取引を網羅するに務め殊に決算手續損益金處分等の觀念を與へんが爲め多く二つの例題を繼續せしめたり。	同
商業簿記教科書	伊藤正一	興判上裝 二八八頁送	〇・〇六〇	初學者にもよく了解できる爲には、どう書いたらよいかと苦心して著作しただけあり誰が讀んでも商業簿記の一般が自然に勉強できる。	博文館
實業簿記教科書	廣田、伊藤	菊判布裝 二八四頁送	一・〇三〇	上田博士曰『内容を熟讀するに難解の理論的説明を省き直に實地修練に依て貸借の原則を體得せしむるに勉む其編成の順序説明無遺憾	松邑三松堂
商業簿記獨習書	村田房八	菊判上裝 四三〇頁送	一・〇八〇	著者が實地に種々の知識階級の人々に對し殆ど個人的に教鞭を取りたる経験に照して初學者の了解を十分に周到な注意を拂ふ。	博文館

實簿記及會計講義	古館市太郎	菊判布裝 一〇〇〇頁	送價 六〇〇	理論を經たし實際的材料を緯として商業工業其他の企業組織に亘りて簿記及會計學上の諸問題を解決し其整理法を説明せる斯學の權威書	尙文堂
最新簿記會計學上卷	生駒義清	菊判布裝 三〇〇頁	送價 三〇〇	本書は自學自習の新思潮に鑑み多年苦心の結晶にして斯學の教材を網羅し練習問題を豊富にせる稀有の良教科書也他に匹敵する者なし	弘道館
最新簿記計理學綱要	木村禎橘	菊判布裝 三〇〇頁	送價 六五〇	本書は簿記法と計理學を綜合し諸會社を組織的に研究し難解の復記式原理に陰陽二元の近世的釋義を試み計理の難點も平易に説明す	寶文館
訂簿記原理	法學博士 上野道輔	菊判布裝 二一三頁	送價 二三八〇	本書は獨逸學派の理論的研究を主とし英米派の實際的研究をも併せ以て簿記原理の大綱を述べたものである	有斐閣
模範商業簿記問題及解説	寶文館編輯所	菊判布裝 六八〇頁	送價 四二八〇	二十餘ヶ年に亘る全國高商入學商業簿記問題羅して試練を與へ且模擬試験問題一千題を網羅	寶文館
<b>工 學</b>					
日本船舶研究第四册 日本古代の筏第三節 英文葦	西村眞次	四六倍判 七六頁	送價 五〇〇		丸善
出版印刷總攬	文久社編輯部	四六倍判 六〇〇頁	送價 一〇五〇	著作、出版、印刷に關係ある人は本書を一冊備えておけば何か便益を得るに信ずる。本書は印刷の手引であり素人早わかりである。	甲子社書房
補英和工學辭典	中島銳治 外七氏	三三六頁	送價 二〇八〇	土木工業を中心として機械、電氣、建築、採掘、冶金等其れに明快適確な譯語を附す。	丸善
織物仕上法	池田伊介	菊判上裝 三一〇頁	送價 一〇八〇	實用工藝叢書の第一篇、毛織物と綿布とを合せ凡そ織物の仕上に至る迄の方法を實益本位に解説す、織物關係者の必讀參考書。	博文館

織物製造法	八木靜一郎	菊判上裝 三二〇頁	送價 二二〇〇	實用工藝叢書の第二篇、織物用の機具機械の解説より各種織物の組織を明かにしたる後準備工程織物製造の講述に及ぶ。	博文館
科學的工場經營法	上中甲堂	菊判背革 八九六頁	送價 二〇四〇	生産費削減、生産増加、品質向上、福利増進災害豫防、勞資協同等凡ゆる問題の解決を最新經營法上から教示したるもの、實例豊富也。	中外産業
科學的事務管理法	上中甲堂	菊判背革 四九六頁	送價 一〇八〇	事務所の設備、企畫事務、執務事項に亘り、近世式オツプイス管理法を實際的に詳述したるもの、事務能率増進の喧しき今日、必讀の書	同
家具の設計及製作	木檜恕一	菊判布裝	送價 三二五〇	専門的木工家具製作者にまつて卓越せる參考書且つ生活改善の實を擧ぐる好資料	博文館
計算尺使用法	電機學校		送價 一〇二五	商賣には算盤が大事、技術家には計算尺が至便。珠算の上達には練習、計算尺は使用法を辨へれば充分。之れを練習者のために詳説す。	オーム社
工業經營通論	フレイミング及プロ 今岡純一郎譯	菊判洋裝 一八八頁	送價 一八八〇	工業の歴史の觀察に始まり現況に及び斯くて整然たる論議は簡明直截に適譯さる。	丸善
最新工業經濟學	三木正一	菊判布裝 四〇二頁	送價 三二五〇	全編を労働、技術、經濟の三部門に分ち、系統を逐つて現代工業政策に關する學説及施設に對し詳密なる解説を試みられたるものなり	巖松堂書店
工業國語新讀本後前	松政幾太郎 小野千代太	菊判和裝 各三〇頁	送價 各〇六〇	労働問題、教育問題にあり本書は臣民たる可き教材の讀本として好評噴々たり	大日本工業學會
工業調査彙報	商工省工務局	菊判	送價 一〇〇〇	産業主務官廳の權威ある調査報告、内外工業の狀態一目了然、隔月刊發行每號二圓内外、前金豫約を便す、既刊内容一覽申込次第送呈	出版政會
工業讀本	中村康之助	菊判洋裝 三四〇頁	送價 三二七〇	現時の工業中最も日常生活に所縁深きもの、世項を採擇し、之を易説した。電氣の方面、化學工藝、採鑛建築の方面等凡そ洩れなご言	丸善





外線工事一斑	各務米次郎	菊判並裝 圖表六餘 送價 一・三〇 二・四〇	本書は電氣技 工員講習録の中 巻にして平易簡 明且挿圖及表を 多数掲載して説 明し何人にも 容易に解し易から む外線工手の好 師友にも	電氣之友社
回轉變流機の理論と應用	石山龍雄	菊 二七〇頁 送價 三・〇〇 二・七〇	變流機に關する 著述が未だ誰人 にも試みられ ない今日著者は 心血を注いで自 らの深い経験を を土臺として茲 に上梓した正に 本邦唯一の珍	オーム社
簡易電氣工學	小宅千次郎	菊判洋裝 圖一・二〇頁 送價 一・五〇 一・五〇	某電氣學校に於 て講義せるもの を増補改訂し 義平易親切、簡 明、教科書又初 學者の師友。	電氣之友社
簡易電燈照明	福田 豊	菊判洋裝 圖一・八〇頁 送價 二・五〇 一・八〇	各學校教科書又 は参考書として 又初學者の階 梯として電燈及 照明につき約二 百の圖版を挿 入し親切に其一 班を講述せるもの。	同
瓦斯力發電所	松瀬勇雄	菊判洋裝 一〇〇頁 送價 一・〇〇 一・八〇	僅かの頁數で手 際よく、機關の 構造より運轉 法、瓦斯發生裝 置、電氣設備等 まで、機械の素 養、方にも能く 解るやう説かれ た良書。	オーム社
汽力發電所	松瀬勇雄	菊判洋裝 四三七頁 送價 三・五〇 二・二〇	本書は理論より も寧ろ構造や實 地運轉法の注 意等に重きを置 き最新のデータ を多く載せ 電氣學者に向く 様に出來て居る 良書。	同
無線電話原理と組立	若目田利助 志田文雄	菊判附圖 圖一・五〇頁 送價 一・九〇 一・八〇	實際家にして又 學者たる著者の 説く所、本書 一冊さへあれば 其途の通人とな ることが出來 る。	鳳生社
交換機動作及障碍修理法	若目田利助 志田文雄	菊判附圖 圖一・五〇頁 送價 一・九〇 一・八〇	復雜なる電話諸 機械の動作障 害の原因に其修 理法につきて必 要なる解釋を編 じ之を公にせ り、電話に携は るる人士の好指 針たり。	電氣之友社
高級受信器の作り方	原田三夫	菊判洋裝 一四六頁 送價 一・五〇 一・八〇	僅か三四十圓の 材料で名古屋大 阪は素より大 作上海等の放送 も自由聞き得る 受信器の作り方 を詳細に説いて ある斯界無二の 良書。	誠文堂
工業電熱	石川考次郎	菊判洋裝 四五五頁 送價 五・五〇 二・八〇	電熱の工業化は 新時代の要求と して世人の耳目 を集めつゝある 今日工場能率の 増進を期せ る人々にさりて の唯一の指南書 である。	オーム社

高等科汽力發電所	上司東一郎	菊判假裝 一八六頁 送價 一・三〇 一・四〇	主として理論と 實地上より得ら れた経験や研 究資料を鹽梅さ れた教材で、汽 力發電事業に 携はるる技術者 には、絶好無二 の大寶典。	オーム社
電氣技師用高等數學大意	電機學校	菊判洋裝 二四〇頁 送價 二・五〇 一・八〇	電氣家になるに は數學の素養が 必要。本書は 技術者たる人々 に少壯の士に、 高等な三角法 、解折幾何學、 微積分學を懇切 丁寧に説く。	同
高等科電氣鐵道	米澤政治郎	菊判假裝 一六三頁 送價 一・二〇 一・四〇	別著の電氣鐵道 で難解な諸問題 を詳説せるも の。就中、經濟的 運轉法、變電所 選定法、昇降機 設計法、電化問 題等に至つては 天下一品。	同
交換電流とヴェクトルの應用	寶來勇四郎	菊判洋裝 二四五頁 送價 各三・五〇 一・八〇	ヴェクトルを用 ひて電氣學の奧 義を徹底的に解 説せるものにして 一讀何人も賞讃 措く能はざる書 である。選受驗 者の絶好の参考 書。	同
交流理論	木村介次	菊判洋裝 一三三頁 送價 一・二〇 一・八〇	高遠なる原理を 代數、三角法を 基礎としベクト ル及符號ベクト ル法の力を借り て説述し且應用 問題として選檢 問題を解説した 良書。	工業教育會
交流理論	電機學校	菊判洋裝 一三八頁 送價 一・三〇 一・八〇	電氣工學は殆ど 交流工學と云ふ も過言でないに 依らず、平易且 懇切に説述した 良書。	オーム社
交流理論	深井宗吉 池谷増太	菊判洋裝 五八〇頁 送價 五・〇〇 二・七〇	深遠なる理論を 説くに適切なる 計算式をもつて 來て徹底的に交 流理論が會得さ る。初學者も直 ちに交流理論が 會得さる。	同
小形變壓器實用設計法	山口鐵四郎	四〇六頁 送價 一・〇〇 一・四〇	低燭電球に使ふ ソケット挿込用 のものや電鈴の 設計製作出來 る様詳細に述べ たるもの。	同
英和最近電氣用語辭典	關口定伸	三三六頁 送價 二・三〇 一・五〇	英和々々何れも 引用自由にして 電氣に關する有 ゆる用語を網羅 し之れに一々發 音を解釋した加 へた最新刊の良 書也。	太陽堂
最近の放送無線電話	無線人研究會	四一四頁 送價 一・二〇 一・六〇	無線電話隆盛の 今日其の良教科 書として無線電 研究會同人の共 同編纂せるもの にして數ある無 線書の中の白眉 とも稱すべき本 である。	オーム社

酸素アセチレン溶接及截斷法 (附電氣並テルミット溶接法)	桐淵勲藏	菊判洋裝 四一〇頁 送價 三・一五〇	機械工業上酸素アセチレン溶接及截斷に將來あるを著眼せられ實地上科學上研究に研究を重んずる記述せられしものにして定評書なり	工業日本會社
實用電氣理論及機械	中島友正	菊判洋裝 價前二・四〇〇 中二・九〇〇 後二・五〇〇	多年東京高等工業學校にて講述せるものを更に平易に懇篤に説明したるもの各學校教科書に採用する電氣の理論と機械につき精細叙述	電氣之友社
自働式電話交換	堀江貞治郎	菊判並入判 四〇〇頁 送價 二・二八〇	學理と實際とに就て極めて解りよく詳述したるもの自動交換の時代とされる今日邦文參考書として唯一のものとの評がある	鳳生社
自働式電話交換機 現時のストローチャー式	石川弘三	菊判並裝 圖八二〇頁 送價 一・一〇〇	多年通信省通信技師として又退官後日本電氣技術部主査として令名高い著者が多年專攻せる自動電話交換機に付講述せるもの	電氣之友社
常識電氣學	關口定伸	菊判上裝 四八〇頁 送價 一・〇六〇	難解視せらるゝ電氣學を親切に趣味深く書き砕き現代の常識化せる好著我國に於て最初に試みられた『挿話的』科學書	博文館
初等電氣工學	牧野賢吾	菊判特裝 一七七頁 送價 一・二二〇	工業國米國に學びし牧野氏が初學者の爲特に叮嚀親切平易に述べられ電化の今日に對し解決の鍵ともなるの良書なり	工業日本會社
初等電氣通論	電機學校	菊判 一五二頁 送價 一・四八〇	方今は電氣萬能。何人も電氣の智識が無くても叶はぬ。然るに電氣工學は難解視せられるもの。それは極めて平易に説いたのが本書	オーム社
初等電信學	中野直信	菊判紙裝 一四〇頁 送價 一・〇六〇	電氣磁氣のこゝから二重電信法に至る迄詳述したるもの。教習用自習用として最も適切な著である	鳳生社
初等電信電話	中野直信	菊判洋裝 四二〇頁 送價 二・一五〇	電氣磁氣電池電鈴電信電話の一切に涉り多數の圖面により最も簡易に分りよく詳述したるもの。初學者實際家の必携すべきものである	同
知らねばならぬ 電氣の働き 上、下	井上謙吉	菊判 二四〇頁 送價 一・〇六〇	電氣の概念を一般素人にも了解出来る様明快て微笑の内に電氣の働きを知得せしむる	オーム社

素人出来る ラチオ受信器配線圖集	牧野定光	美帙 裝入 送價 一・一〇〇	各受信機の電氣容量及び部分品の價格見積表をクロスデザイン機種の製作法公開其他實物と配線圖と對照させた圖解に委しい説明書も添付	城北堂
水車及調速機の 故障と取扱法	田中茂	菊判洋裝 圖一七〇頁 送價 一・一五〇	水車の製作及故障其他の學理と十數年電氣社に於て實地につき自習せるものを公にせるもの	電氣之友社
水車調速機及 水壓調整裝置	田中茂	菊判洋裝 前後三〇頁 送價 各二・一五〇	著者は電氣社原動機製造所の技師として専ら水車調速機の製造により講述せる無二の良書	同
近水 水力電氣	高谷武助	菊判布裝 五五二頁 送價 三・四八〇	我國工業發展の中樞となるべき水力電氣につき水力利用に關する知識を普及せしむる目的を以て書かれたる學者事業家共に必讀の良書	博文館
水力發電所前編	福田豐	送價 三・三二〇	一國産業發展の淵源たる水力の利用法に關して知識を習得するのには、現代文化生活に關するの急務。本編は主として土木工事を説く	オーム社
水力發電所後編	福田豐	送價 五・二二〇	前編に續いて水車、附屬裝置、電氣機器、配電盤、保安設備等を詳述し、多くの實例とデータとを掲げらる。座右須要の絶好參考書	同
蓄電池	電機學校	菊判洋裝 一三四頁 送價 一・一三〇	電機學校叢書の一、嚴密な編輯會議で熱烈な論戰を闘はして稿を定めたもの他の類似の書と撰を異にする。此の一事以て眞價が窺はる	同
蓄電池 (藤田工學全書第三卷)	藤田經定	菊判洋裝 圖一四〇頁 送價 一・二二五	藤田電燈學の著者として令名ある同氏年來の計畫たる電燈工學全書の第三卷挿圖の豊富、説明の親切にして何人にも解り易きは其特色	電氣之友社
蓄電池及其取扱法	吉川龜次郎	菊判洋裝 二七〇頁 送價 三・一八〇	主として蓄電池取扱に從事する者の爲蓄電池製造の概略を叙するに其性質及使用法を詳解し取扱上の錯誤と危険を防止す	丸善
蓄電池の取扱	横尾榮	菊判洋裝 圖八三五頁 送價 一・一五〇	著者は電氣試驗所に勤務し専ら蓄電池を研究するに多年研究の熱心と造詣の深き斯學の第一人者である今其蘊蓄を傾けて本書を公す	電氣之友社





電氣計算問題解法 (上、下)	電氣工學計算問題集	電氣工學大意	改正電氣工作物規程	編電氣工作物規程	電氣材料	電氣事業研究	電氣事業法並附屬法規	電氣磁氣學	電氣磁氣測定及測定器
井上謙吉	工業教育會	岩山虎雄	電氣之友社	難波貞太	鈴木光勤	森右作	電氣之友社	山本勇	工學博士 高津清
二〇判 一〇頁 送價各二・五〇	三〇判 四八頁 送價二・五〇	二〇判 四四頁 送價二・〇〇	携帶型 送價 〇・一八	三〇判 一八〇頁 送價一・〇〇	二〇判 二〇〇頁 送價一・七〇	四〇判 一四四頁 送價一・〇〇	携帶型 送價 〇・二〇	五〇判 二七〇頁 送價四・五〇	五〇判 一五〇頁 送價四・八〇
三種程度の選試受験者の爲めに著せるものにして電氣工學解説例題として過去に現はれたる検定問題を引證したるものなり。	直交流各種問題の解答を系統的に記述し、ベクトル應用と公式の活用とにより修學を便したるもので、選檢受験者には好伴侶である。	電氣工學に關する専門的知識を簡明に了解が出来る様に各種機械を圖解し極めて平易通俗的に記述した良書。	本書は十四年十一月十三日改正せる最新版である。校訂の嚴密正確又製本は堅牢、至便なる小冊子。	二百條に近き規程の全文を暗誦するには原本では不便である。本書は工作物規程を本則細則と分類せず各種目別に編纂し直したるもの也。	本書は各種電氣材料の性質、製造及加工法に就き親切平易に叙述し是が電氣的性状及試験に關し計算並に公式を示した受験者の好資料である。	電氣事業を經營に關する方面と現業に關する研究とにわけて著者の經驗抱負を纏めて上梓せるもの電氣事業に關する大論文集である。	電氣事業法、同施行規則、電氣主任技術者檢定規則、自家用及官廳用電氣に關する規定等十數件を掲載したる法規教科書に適切。	著者は東京高等工業學校電氣科教授として電氣學を擔當し且最近歐米に留學して研鑽し得る處多く最新電氣磁氣につき精細に講述す。	定性的の上には定量的なるが科學の本領。電氣を學ぶ者の必讀すべきが本書。著者博士は我通信省試験所の現所長にて測定法の權威者。
オーム社	工業教育會	同	電氣之友社	オーム社	工業教育會	オーム社	電氣之友社	同	オーム社

電氣磁氣測定法 測定器具	電氣煖爐	電氣通論	電氣鐵道	電氣鐵道	電氣と火災	電氣と其間違	最新電氣の知識	改正電氣法令全書 (前篇)	電力輸送並配電
清水與七郎	大橋安三郎	村尾 栗	小川榮次郎	米澤政治郎	鈴木正一	鈴木正一	原田三夫	電氣之友社	森 秀
五〇判 一五〇頁 送價四・八〇	四〇判 一四〇頁 送價一・二〇	三〇判 九六頁 送價三・六〇	一〇判 一五二頁 送價一・五〇	三〇判 八一頁 送價三・二〇	四〇判 五六頁 送價〇・五〇	四〇判 一四六頁 送價一・〇〇	三〇判 三〇〇頁 送價二・八〇	携帶型 六五〇頁 送價一・六〇	二〇判 二五四頁 送價二・〇〇
電氣磁氣測定器具及測定法に關する歐米各國のあらゆる事項に就て詳細精緻に之を説く蓋し本邦斯學書中の最大優篇也。	家庭電化の本國たる米國に永住して一百に餘る電氣煖爐に就き詳しき研究を遂げ鮮明な寫眞を添へて美本とせるもの容量設計法もあり電氣工學の基礎となる事項を細大漏らさず詳述した講義録。電氣技術家たらん少壯の士は必ず一度は本書を讀了すべきもの。	軌道、線路、電動機、電車附屬裝置から運輸法に至るまで電氣鐵道全般に亘り難解の理論を避け實際的に極めて平易に解説してある。	本書は軌道、線路、電動機、電車附屬裝置、運轉法から車庫に至るまで電氣鐵道全般に亘り難解の理論を省き平易に詳説してある。	電氣と火災は今や社會人一般の問題となつた。此の時に著者は幾多の統計と數々の實例とから徹底的なる研究を遂げて之れを一書とした。	電氣の正體を明かにし其の數々の間違を徹底一讀直ちに電氣の智識を會得せしむるもの也。	世界文明の最大原動力たる電氣の一般的知識を多數の圖版を示し詳細に述べてあるから本書によれば何人も電氣の知識を得られる。	十四年十一月十三日改正電氣工作物規程を始め法令全部を網羅せる現行電氣法典。	本書が選檢受験者唯一の好伴侶である事は世に重なる事實が尤も雄辯に是を立證する。	既定評あり。尙大正十年六月以降既に十版を重ねる事あり。
裳華房	オーム社	同	工業教育會	オーム社	同	同	誠文堂	電氣之友社	工業教育會

電氣用英語	秀島清	菊判洋裝 一三〇頁送	一・二〇	資料の精選と着眼點の要領は本書の粹、されば譯文だけ讀んでも電氣に關する知識を得、同時に英語の實力は涵養されて行く。	工業教育會
訂改電氣用英語 (前編)	電機學校	菊判洋裝 一三〇頁送	一・三〇	歐米の新智識を一日も早く吸収するには語學が必須。電氣工學も元來輸入物で術語は多くは英語。それを速成、獨學し得るやうにする。	オーム社
電氣用英語 (後編)	嶺岸久治	菊判洋裝 三九二頁送	二・七〇	前編は入門書、本編は中等程度。電氣諸設備の仕様書や説明書を蒐集してある。従つて實務上には絶好の参考資料たること疑なし。	同
電氣用製圖學 前編	電機學校	菊判洋裝 一四〇頁送	一・四〇	工業家を航行するにコムパス(羅針盤)が要る。工業家もコムパスを使ふ術を知らねばならぬ。本書は製圖手ほどきとして絶好の羅針盤	同
新電氣用絶縁材料	齋藤正平	菊判洋裝 五八五頁送	五・五〇	學理と實際との蘊奥を極めたる著者が新たに筆を染めしものにて徹底せるを他に類を見ず電氣に關係ある者必ず一讀を要す。	同
電氣用設計及製圖	大森安象	菊判洋裝 一四五頁送	一・三〇	製圖用機械器具の構造及使用法、一般機械、電氣機械器具等に亘り其の設計及製圖法を懇切に説述した良書。	工業教育會
電信及電話	肥田丈夫	菊判洋裝 二〇一頁送	一・七〇	電信、電話の二編に分け其原理、構造及取扱方法等に就て數多の圖解を挿入し極めて叮嚀に初學者にも理解し得る様説述してある。	同
電信電話線路建築學	中野直信	菊判洋裝 上二〇〇頁送 下二二八頁送	上二・八〇 下二・一八〇	上巻は架空電線路、下巻は地下線土木工事及ケイブル工事に就て實地を主として詳述したるもの、一讀之が奥義に精通する事が出来る	鳳生社
電灯及照明	太田重廣	菊判洋裝 一八六頁送	一・六〇	本書は太田、關工學士が東京電氣會社に於ける廣汎なる實地研究に基いて完成した眞に類書中の最高權威、一讀直ちに其要を得。	工業教育會
訂再電灯及照明	福田豐	菊判洋裝 上六〇頁送 中四〇頁送 下四〇頁送	各四・〇〇 二・七〇	最近歐米視察の結果新學說を加へ電灯及照明の好師友として絶好の書ならしむべく渾身の熱血を濺ぎて全部稿を新にして完成せるもの	電氣之友社

最新電

話 (前編)

電氣事業技術者用電話學	若目田利助	菊判洋裝 二八一頁送	二・二〇	著者が歐米見學の最新學說と多年の經驗とに依りて成れる本書は電話の一大權威として電氣事業に附帶して通信事務の設備が肝要。設、取扱、經費等に就き明確に説いた良書。	オーム社
電話機の接續及裝置法	鳳生社編輯部	菊判洋裝 一三〇頁送	一・六〇	磁石式共電式の一切に涉り電話機の内部接續及裝置方法を極めて詳細に分りよく書いた圖面を集めて一冊としたものである。	鳳生社
特別高壓送電線路ノ研究	太刀川平治	洋裝 六四三頁送	二・四〇	學理實地の兩方面より送電線路につき精細な考察を遂げ我國情に適應すべき實際の設計及建築の順序方法を例示した。	丸善
發電所	藤澤久三郎	菊判洋裝 一二五頁送	一・二〇	本書は教科書、参考書の目的を以て簡潔に發電所の設備及運轉に就き詳述したもので研究受験者には最適の好著である。	工業教育會
發電水力	丸山秀三	菊判洋裝 一三〇頁送	一・三〇	如何なる初學者にも發電水力事業の概念が得られる様に懇切丁寧に解説したもので水車設計計算の例等は凡てメートル式を用ひてある。	オーム社
波動振動及避雷	鳳秀太郎	菊判洋裝 六〇〇頁送	八・五〇	失敗は成功の基。而かも失敗して後悟るは失敗せずして悟るに如かぬ本書は資本を要せずして貴き失敗の體験を得る實際家必携の書。	丸善
百故障失策 第一輯	オーム社	菊判洋裝 八四頁送	〇・六五	第一輯に於て失敗は成功の母なる所以を悟りし人は是非共第二輯の本書をも座右に備へて先人の覆轍を履まぬ様に自ら戒められよ。	オーム社
百故障失策 第二輯	オーム社	菊判洋裝 九四頁送	〇・八〇	通俗専門と銘打つたもの良否取まざるに於て無線書の中に組織的なる最新のもの多に於て優秀の参考書として定評あるものである。	同
無線電信電話	中野吉孝	菊判洋裝 五九七頁送	五・五〇	同	同

無線電話の基本智識	山本 勇	三〇七頁	洋裝	二・一八〇	著者は無線電話の基本智識につき著者なきを遺憾とし、渾身の熱血を凝して執筆し、本書を完成す。説明平易、挿圖豊富、尋常一様の著にあらざる。	電氣之友社
無線電信電話の理論と應用	坪内 信	一八二頁	洋裝	一・一七〇	坪内信氏は理論的方面を徹底的に解説して、快刀亂麻を斬つが如く、荒川大太郎氏は應用的方面に其の廣汎なる知識を披瀝せり。	オーム社
無線の栞	北村 政治	四六二頁	洋裝	一・一五〇	多數の無線書中において本書は一人其異彩を放つてゐる。	鳳生社
ラヂオの解説	藤木 源吾	四六二頁	洋裝	二・一五〇	単に組立の技術や断片的の理論を書いた書とつて、その類を異にし、秩序正しくラヂオ全般に亘つて、その知識を師について學ぶが如く記す。	目黒書店
ラヂオとは斯んなものさ	工學博士 箕原 勉	四六二頁	洋裝	〇・六四〇	ラヂオの原理を出来る限り之を簡単に、その要素を極く通俗的に説いたもの何れの家庭にも不可缺常識書。	電氣之友社
ラヂオの實地製作法	松平 道夫	一八三頁	洋裝	一・〇〇〇	初學のラヂオ研究者に取て尤も適當な平易なラヂオ組立書であつて、高級のもの本書に依れば作る事が出来る。凸版寫眞版七十四圖挿入。	文陽堂
誰にもラヂオの製作と原理	原田 三夫	二五〇頁	洋裝	一・一八〇	電氣や器械の知識のない素人のため、特に書かれたもの、それ故釘一本のうち一枚の裁ち方まで手に取つて教へる様親切に述べられてゐる。	誠文堂
誰にもラヂオの手製と組立法	林 甲子太郎	七五頁	洋裝	〇・一四〇	手製といふことに重きを置いて、あるから鑽石式受話装置のみで要點を的確に圖解と共に説明してある。所素人には最もよい(報知新聞評)	盛林堂
解り易い磁氣と磁鐵	關口 定伸	一四一頁	洋裝	〇・五〇〇	小學生にも讀める程、解り易く磁氣と磁鐵の働きを豊富な圖解を入れて講義してあり、然も其内容は權威ある實質を備えて居る。	城北堂

機械工學

渦卷ポンプ	宮城音五郎	三〇六頁	洋裝	三・一五〇	専ら渦卷ポンプの理論と計算を説いたもの、大槪の水力学者の一部の記述は、あるが本書の如く深く其根本理論と構造を精説せるは無し。	丸善
必らず營業自動車の經營法	清水 正巳	二二八頁	洋裝	二・〇五〇	營業自動車で何ぞかして儲けて見たいと思ふ人の爲に必らず儲かる營業自動車の珍らしい經營法を書いた自動車業者の虎の巻です。	つるや書房
自動車英語術語集	村田 發太	六一頁	洋裝	〇・三〇〇	運轉手に必要なる英語術語大略一千語を和英對稱し、最も重要な五百語を黒字としたもので、術語を知られば技師の話は解りません。	クルツア社
應用光彈性學	福原 達三	一七五頁	洋裝	二・一三〇	本書は斯學の世界的權威コーカー博士の下に、專攻せられた著者が斯學の現況及び今日に至る迄の経路を口語文を以て易説せるもの。	丸善
應用鐵鋼學	古賀 圓藏	四二〇頁	洋裝	四・二七〇	工業上使用する鐵材の成分と標準状態に於ける物理的性質の關係を記し、鍛鍊及熱處理の方法から之による物理的性質の變化を明す。	同
改版自動車運轉手	村田 發太	四六二頁	洋裝	四・二〇〇	運轉手に必要なる機械瓦斯電氣燃料自動車各部の構造作用操車法手工具英語術語試驗問題等の假名附圖解を添えたる全科目の講義録。	クルツア社
化學機械の計算法	吉川 玉吉	二五四頁	洋裝	二・一五〇	「化學機械の理論と實際」の姉妹編にして、化學機械の兩者を最も良く理論的に相ひ關聯し、工業上製造上の計算法を諸種の例と共に記述す。	工業日本會
熱機關第四	内丸 最一郎	五〇〇頁	洋裝	各三・一八〇	近時小工業の勃興に連れ、斯機關の研究と用途は殆んど普及し、最も時需的要素。	丸善
訂改瓦斯及石油機關	齊藤 信	五〇〇頁	洋裝	四・二七〇	瓦斯倫自動車の理論構造及び設計に就きて、論じたる書にして、流暢なる行文と數百の挿圖と相俟つて、最も容易に理解するを得べし。	太陽堂
設計瓦斯倫自動車	齊藤 信	五〇〇頁	洋裝	四・二七〇	定性分析を行ふに當り必ず参照する檢體の處、理法金屬及酸根檢出操作法等を一所に蒐集し、分類を明瞭にし、表さした頗る便利なもの。	丸善

機 械 減 摩 法	三井嗣喜	四六六頁裝送	五〇二七〇	減摩裝置に關し最新の學理と實際を述べたもの。減摩の問題を機械工學の一部門より更に化學的方面にまで押し進めて根本的に精査する。旋盤・齒車・螺子等を初め機械工作上總ての事項を最新の表と公式とを以て一覽直に水解する様子を記せる機械の技術家と學生の必携書也。	丸善
機 械 工 作 便 覽	大石聞三	二八〇頁裝送	一〇九二〇	旋盤・齒車・螺子等を初め機械工作上總ての事項を最新の表と公式とを以て一覽直に水解する様子を記せる機械の技術家と學生の必携書也。	養賢堂
改 訂 機 械 工 作 法	山内不二雄 山弘	二九四頁裝送	二〇三三五	發刊以來、早稻田大學、早稻田工學及工學具の教科書として、所記の點を特長とする。	工業教育會
改 訂 機 械 工 業 要 綱	關口八重吉 高島宗三	四二〇頁裝送	三〇二五〇	工業の基礎學たる機械工業の全般に亘り専門家の外、讀者に容易に理解出来るやう講述せられたるもの。挿入圖數百個。	天地書房
機 械 材 料	一色義寛 佐藤耕夫	一〇九二頁裝送	一〇一六八〇	機械工作及製作用材の各種の性質製造等を懇切丁寧に説明し、これが機械的性質及試験につき計算及公式を示した好著。	工業教育會
機 械 製 作 法	田中不二	二六〇頁裝送	一〇一八〇	第一編には機械製作工場木型と鑄造鍛造に關する知識を詳述し、第二編には各種工具及工作機械を多數の圖により簡約的實際的に説明す。	丸善
機 械 設 計 及 製 圖	佐久間未彦	二〇四頁裝送	二〇一八〇	本書は同種著述の如く設計にのみ重きを置かず、製圖に重きを置き、設計法から機械にまで及んでゐる。製圖指南の良書である。	工業教育會
改 訂 機 械 設 計 及 製 圖	内丸最二郎 田中不二	二〇九四頁裝送	二〇二七〇	前編には製圖法の一般を教へる。共に材料強弱實驗論や各種素の裝置と構造設計を述べ、後編には熱機關、齒輪、水車等の各設計法を細論す。	丸善
機 械 設 計 學	杉村伊兵衛	八〇〇頁裝送	三〇三六〇	現今最進歩せる機械設計上の理論と其應用とを總論。螺旋、銚接子、固定裝置、外十餘部等に分ち之に千餘の圖版を配し詳述せる大著。	養賢堂
機 械 の 素	淺川權八	四六六頁裝送	三〇二七〇	本書は諸機械を分解して之を最小部分の機械的運動に分類し、頗る簡明に其構造、作用、應用等を説明してある。	丸善

機 械 用 英 語	渡邊浩一	一八二頁裝送	一〇一六八〇	一語、一句併に一節毎に嚴密正確に模範譯文を掲げ、又難解の語句は勿論文法上の注意發音に至るまで詳細丁寧に講義してある。	工業教育會
汽 罐 上 下 二 卷	關口八重吉	菊判洋裝	七〇二〇	自動給炭機給水純良機人爲通風裝置の如き新奇の者は凡て網羅し汽罐の原理構造を付取扱法等の一切を例をあげて懇切に詳述せる者也。	弘道館
機 關 車 工 學 上 卷	瀨戸保	二〇〇頁裝送	九〇三八〇	本書上卷には代數幾何三角英語物理の諸問題を掲げて丁寧に親切に解説し、秩序ある研究に便す。	嵩山房
機 關 車 工 學 中 卷	松野千彦 松野千彦	四六六頁裝送 四六六頁裝送	七〇二七〇 二〇三六〇	吾國機關車工學の白眉として最も詳密なる機關車寫眞及要點圖說明を挿入したり。上卷(は緒論、機關車沿革(七章)近世機關車(八章)表を附す。中卷は第六篇バルブラギヤ(六章)を、第七卷以下汽罐十一章迄下卷は第十(二)篇機關車運轉、石炭又燃焼、熱及蒸氣以下修繕迄詳解せり。機關車員は素より斯術に携はるる人士の必讀すべき好著なり。	同
機 關 車 工 學 下 卷	松野千彦 松野千彦	四六六頁裝送 四六六頁裝送	二〇三六〇 二〇三六〇	二篇機關車運轉、石炭又燃焼、熱及蒸氣以下修繕迄詳解せり。機關車員は素より斯術に携はるる人士の必讀すべき好著なり。	同
船 機 關 の 効 率	島谷敏郎	二〇三〇頁裝送	三〇一〇〇	仔細に燃料消費の跡を見れば其浪費に歸すべきもの多なるを發見すべし。今此浪費を節約し有効に燃料を使用せんとせば本書を讀め汽機の原理構造を付法検査法等を例を擧げて親切に之を講述せるものにして、最新なる裝置活用に之を一切網羅して餘す所なし。	嵩山房
汽 機	關口八重吉	菊判洋裝	三〇一〇〇	汽機の原理構造を付法検査法等を例を擧げて親切に之を講述せるものにして、最新なる裝置活用に之を一切網羅して餘す所なし。	弘道館
機 構 學	丹羽重光	四〇四頁裝送	四〇二七〇	總論機械運動の圖式解剖轉がり接觸による傳動裝置齒車カム卷掛け媒介節に依る傳動裝置リンク仕掛並行運動裝置直線運動裝置を收む。	丸善
機 構 學	渡部寅次郎	二〇二頁裝送	一〇一七八〇	本書は、機素及機械運動に關する理論及應用動力傳動に意を用ひたる點を特長とする。	工業教育會

原動機	渡部寅次郎 三侯秀實 三三三頁裝 送價二・七〇	工業教育會
工作機械	關口八重吉 洋裝背革 九三六頁 送價七・二〇	弘道館
構造強弱學	近藤素高 未刊	丸善
材料強弱學	野口尙一 菊判洋裝 三一三頁裝 送價二・一八〇	工業教育會
自動車試驗問題集	村田發太 四二一頁裝 送價〇・二〇	クルツア社
實地工作術	池田辰衛 五六〇頁裝 送價四・一〇	信友堂
實用機械學	關口八重吉 菊判洋裝 三一四頁裝 送價二・〇〇	大日本工業學會
必携自動車學	巽築瀨 二九三頁裝 送價一・〇六〇	つるや書房
最新自動車工學	關口定伸 菊判洋裝 二〇二頁裝 送價六・二〇	城北堂
最新自動車工學	關口定伸 小形一枚折 三六八頁 送價三・五〇	同

最新自動車電氣學	巽清治 四六六頁裝 送價一・五〇	つるや書房
一番早く自動車の運轉手と成る手引	里見時太郎 二〇〇餘頁裝 送價一・五〇	二松堂
一番くわしい自動車の實際知識	加藤正澄 五五〇頁裝 送價三・一八〇	同
最新自動車の知識	中原辰二 四〇〇頁裝 送價三・〇〇	誠文堂
自動車問答	東京自動車 學校出版部 挿圖三六頁 價二・五〇 送料共	東京自動車 學校出版部
車輛一班	工學博士 松繩信太 二一五頁裝 送價一・〇〇	南郊社
趣味の發明界	松平道夫 菊判ク 三六〇頁 送價三・五〇	太陽堂
最近趣味の發明界	松平道夫 菊判ク 三六〇頁 送價三・五〇	同
熱機第一 汽罐	内丸最一郎 菊判洋裝 四〇餘頁裝 送價四・五〇	丸善
熱機第二 汽機	内丸最一郎 菊判洋裝 四〇餘頁裝 送價五・二七〇	同

訂改熱機第三 蒸氣タービン	内丸最一郎	菊判洋装 四三〇頁	送價 五・五〇	蒸気タービンに關し最も徹底的に講述せるも の各章悉くこれ歐米に於ける著名のタービン 工場にあつて實地指導を受くる感がある。	丸 善
水理學理論及應用	森慶三郎	菊判洋装 二三三頁	送價 四・八〇	水理學の一般的理論を易説し、算例、實例に の計算に不可缺る参考たり。	同
水力機	湯淺龜一	菊判洋装 三二一頁	送價 二・六〇	本書は中等乃至専門學校機械科の参考書であ るのみでなく、電氣科原動機参考書として記 述したもので、選檢受験の眞参考書である。	工業教育會
水力機械學	伊藤萬太郎	菊判洋装 六〇餘頁	送價 一・八〇	上巻には水力學流水、水路、水量、管裝置各 種水車の構造等を下巻には各種唧筒水壓器等 の結構を述べてゐる。	丸 善
水力事業論	栗原忠三	菊判洋装 四〇餘頁	送價 三・七〇	水力に關する應用の順序計畫の方法事業の種 類經營の得失を明らかに水利用の功を全うし 工業を振作せしむるが本書。	同
訂改水カタービン	内丸最一郎	菊判洋装 後三〇〇頁 前二五〇頁	送價 一・八〇	改訂新版は上下二冊に分ち水力の利用水車の 種類水車の運轉水車の作用等に亘り水車と水 の作用及其効率を説き新に諷ふる所頗る多し	同
陸用石油エンジン	淺川權八	洋装 三四二頁	送價 五・二〇	専ら實際に使用される諸種石油エンジンに就 て構造と取扱等を詳細に説明し且つ燃料及瓦 斯の性質を論究して實際と理論を明かにす。	同
實地應用 旋盤工必携	正木助三	菊判洋装 一〇〇餘頁	送價 〇・八〇	旋盤の使用法に就て實地の技術家たる著者が 多年の實驗に依りて日常仕事に肝要なる個條 を選び多數の圖版に依りて説明したるもの也	工學書院
せんばんにて ねちを切る法	田島義造	ポケット 一五〇頁	送價 一・五〇	旋盤の名稱、ネジの切方より換齒車の計算、 バイトの作方、取附方、ネジを切る順序等に 至るまで丁寧懇切に記載あり。	信友堂
タイプライターの 構造と使ひ方	各務忠方	四六判 一八〇頁	送價 一・八〇	近來益々盛んに使用せられて來たタイプライ ターの構造及使用法、練習方法を圖に依り 説いたもの。寫眞及凸版四十餘個。	太陽堂

鍛工法	田村百太郎	ポケット 二二〇頁	送價 一・七〇	鍛工用機械器具の使用法よりアセチリン溶接 電氣溶接テラミット溶接各種鋼材の重量表及び 材料伸縮早見表其他各種の表。	信友堂
ディゼル、エンジン	淺川權八	洋装 二八七頁	送價 五・二〇	ディゼル、エンジンを學ばんとする初學者に 概念的智識を與へ同時に實際の操作を指導 せんとする目的を以て著はされたもの也。	丸 善
岡鐵道工學	坂岡末太郎	菊判洋装 五八〇頁	送價 六・三〇	軌道論特殊軌道論轉轍器轍叉器岩石爆破論 道論道床築造論を記す著者多年豐富なる實際 と理論より説く事平明斯學唯一の著。	裳華房
電信機の働作と取扱法	篠田義夫	菊判洋装 三三四頁	送價 一・七〇	實際電信事務に従事する人の爲に通信方式の 働作や電信機械の取扱方及故障の際起る種々 の現象を詳説して電信従事者實務上の参考とす	南郊社
熱機	長澤寸美 小川芳太郎	菊判洋装 六三八頁	送價 四・一八	本書は、前編に汽鍋、中編に汽機及旋車、後 編に瓦斯及石油機關との三編に分ちて説述し た機關取扱者の好参考書として推薦する。	工業教育會
齒車表	田島義造	ポケット 型二六表	送價 〇・四〇	ダイアグラム、ピッチ及齒車と外經其他の寸 法を求むる式、其他諸表連載し工場勤務者及 斯業研究者の必携書なり。	大日本 工業學會
發動機圖集 第二輯 汽機	工學博士 關口八重吉	菊判洋装 三輯二六頁	送價 各一・三〇	機械學のオーソリテイ關口博士の著にして 發動機の汽機及汽鍋を各部明細に圖解し自修 者學生諸君及現在工場勤務者に至便の書なり	同
發動機燃料	三井嗣喜	菊判洋装 四一八頁	送價 五・二〇	現時歐米に於ける輕發動機と燃料の有りゆる 種類を尋究してゐる著者は本邦人に最も參資 となるべきものを紹介する。	丸 善
俗通 フォード自動車學	浪山五朗	四六判 一六六頁	送價 一・〇〇	此本さへあればフォード車は自由自在に運轉 でも修繕でもなんでも思ふままにすらすらと 出來ます而も振假名は問答體で説明してある	つるや書房
フォード自動車の 操縦と修繕	松平義雄	四六判 四〇餘頁	送價 三・一〇	判りよいと云ふ一言で全部を盡して居る本書 は初學者の爲に術語を自然に覺え得る様編輯 した著者の苦心をも見逃さぬ様に願ひ度い。	城北堂

平易なる自動車學	山田忍三	菊六八頁	判送價三〇〇・一八〇	山田自動車學校の甲種生徒に講義したもので、解り易いことはこの上もなく、圖解などは一目で會得するほどに出来てあります。	つるや書房
揚水機 第二渦巻ポンプ	内丸最一郎	未	刊		丸善
力學	淺野英次	菊判洋裝 二二三頁	送價一〇九〇・一八〇	一般力學から應用力學に論及し、高等數學に於ては、記述したもので、中等程度學校の教科書として、參考書として最適の好著。	工業教育會
化學理論と實際	吉川玉吉	菊判洋裝 四五五頁	送價四・五〇・一八〇	製造工業に於て至難は化學對機械の密接的研究なる事は、斯業者の叫ぶ處と著者は原理原則の實際化を多年歐洲に學び遺憾なく記述せり。	工業學會
探礦	地質調査所	幅二尺三寸 縱二尺六寸 全二枚	送價二・一〇〇	本邦及領土に於ける分布の状況を地質品質及埋藏量に依りて色別に示し、産出消費輸出入を地別若くは港灣別に数字的に色別を以て示す。	工業學會
工業鑛物	淺井郁太郎	菊判洋裝 四六八頁	送價三・一八〇	鑛業、建築石材類、工業用及光學用石類、窯業製品類、化學工業寶石類の六篇から成れる書で、其向きに必要なる良書である。	大日本圖書會社
最新鑛業智識	京大水曜會	菊判洋裝 五三〇頁	送價六・五〇・二七〇	京大探鑛冶金教室の教官十數名の各専門分擔を詳説す鑛業に關する所有智識を涵蓋する著書。	裝華房
鑛業分析 一、二、三	野村 堅	菊判洋裝 五〇〇頁	送價各三・五〇・一八〇	鑛業分析は探鑛冶金工場に於て日常取扱ふ試料例へは鑛石製産物操業上の必要なる定量的分析法を説明したる大分析書也。	工業書院
實用鑛業便覽 附誌	岡田孝一	菊判洋裝 三〇〇頁	送價二・一〇〇	鑛業上一般の重要な知識は細大洩さず恰も一の鑛業史の如く本書を座右に備へるべき必須の寶典。	工業書院

鑛山技術叢書	小池四郎	菊判洋裝 八〇餘頁	送價一・二〇〇	鑛山用の蒸氣罐の決定法、安全炭柱の取方、探炭夫八時間制労働實績と炭坑々夫坑内の働き振り等鑛山技術を通俗的に説述したるもの。	工業書院
坑内労働能率見分方	松永策郎	菊判洋裝 一〇〇頁	送價一・三〇〇	炭坑労働界の現況、坑内労働能率の單位、各單位に於て労働能率の標準を規定したるもの。	工業書院
川三探炭學 上卷	三川 一	菊判洋裝 五六〇頁	順次刊行	著者は多年歐米に留學し博く内外の學理と實際とを研究し現に三菱工業會社の要職にあり、本書は現下世界共通の懸案たる石炭問題の解決は探炭方法を改良し經費を節減し如何なる炭層と雖も遺留する所なく完全に探掘するの外途無きことより説き起し數多の挿圖と相俟つて精細に究明論述す是れ石炭問題解決並に炭坑改造の建論たり茲に最新刊たる下卷を刊行し上及中卷は順次刊行の豫定なり。	大倉書店
川三探炭學 中卷	三川 一	菊判洋裝 五六〇頁	順次刊行		大倉書店
川三探炭學 下卷	三川 一	菊判洋裝 五六〇頁	送價五・五〇・二七〇		大倉書店
實用探鑛法	工學博士 渡邊	菊判洋裝 二〇〇頁	送價三・二〇〇	近世鑛山學の泰斗たる渡邊博士が鑛山を見付る方法、鑛床を探る方法を講話體に書かれたるもので、博士が残されたる唯一の探鑛法である。	工業書院
水鉛	鑛業新聞社	菊判洋裝 六〇餘頁	送價五・一〇〇	水鉛鑛工業に關する最新最善の知識にして水鉛を研究する唯一の資料にして本書を手にしは其萬般の事項は釋然として解明せらるべし。	工業書院
石炭調査概要	鑛山局	四六倍判 三〇〇頁	送價二・一八〇	石炭の産出及消費類は一國の消長を卜する尺度なり、本書は本邦各炭田に就き多年實地に基き精密に調査したるもの炭業界唯一の好參考。	工業書院
撰鑛學總論	北澤武男	菊判洋裝 四〇〇頁	送價五・一五〇	本邦鑛業の實際に照らし實用に尤も適切なり、本邦鑛業の實際に照らし實用に尤も適切なり。	工業書院
撰鑛法草案	北澤武男	菊判洋裝 三〇〇頁	送價四・一〇〇	(一)手分離法 (二)比重分離 (三)同理論 (四)跳汰法 (五)陶汰法 (六)氣力分離 (七)磁氣撰鑛法 (八)靜電分離法等百餘の挿圖にて説明す。	工業書院

探礦用地質學	栗津秀幸	三〇餘頁裝送	二〇八〇	地質礦物岩石等の眞諦を極め、山探險の奧義を明かにし、鑛山發見後の試掘探掘上如何にすべきかを多數の挿圖に依りて説明したるもの	工學書院
銅冶金法 卷上	小室靜夫	三〇餘頁裝送	二〇八〇	銅は古來本邦主要鑛產物の首位に居り米國を除けば世界産銅國の冠者たるなり然も其製煉法の缺點から本著は尤精詳に説明す	同
土木工學					
近アスファルト舗裝	奈良原輝雄	二〇餘頁裝送	二〇二〇	アスファルト舗裝は幾多の經驗と學理を應用せる最近道路築造法の尤進歩せる施工法にて斯術に關する萬般の事項は釋然として解明す	工學書院
歐米都市鋪道の技術的觀察	山本亨	一八八頁裝送	二〇一八〇	世界各國の鋪裝道路は各々其構造を異にし夫々其特色を發揮してなる夫れを比較考覆したるのが本書で我國當業者が絶好の參考資料である	丸善
河海工學第一編氣象	君島八郎	三四〇頁判			同
基礎工學	山内喜之助	二六二頁裝送	三〇一八〇	土木工事の設計者及施工者が現在に當て直に活用し得る知識を十全に供給せんとするもの詳説盡到す	同
改訂 君島大測量學	君島八郎	二六七頁裝送	二〇二七〇	普通の計算用諸表と簡易な數學の大體を網羅して斯學を理解すべき基礎的準備としたる卷を通じて最近實施のメートル法を適用す	同
訂下 水道	鶴見一之	二八九頁裝送	三〇一八〇	完全な排水の設備を歐米に實地的範を求めて發表して説盡し、尙工費の精密な計算見積をも仔細に説盡す	同
近下 水道	森慶三郎	三〇餘頁裝送	五〇一八〇	各種の下水方式下水處分市街掃除屋內排水本邦及合衆國下水處分の諸要項に互り下水道に關し精細なる研究を披瀝す	同

最新道路工學	森慶三郎	四一五頁裝送	六〇二七〇	先づ道路及鋪道の築造維持に關する基本的原理を詳述すると共に著者多年の實験に基き努めて我國土に適應せる實例を歐米に採る	丸善
實用セメント學	西畑常	五六五頁裝送	三〇二七〇	本書中には幾多の學說並に實験上の研究を細大洩さず詳述せるセメント界唯一の寶典。卷中幾多の圖解と比較實験表を附す	同
實用セメント學	西畑常	五六五頁裝送	三〇二七〇	セメント學に關する一切の學說と試驗表及び圖解を以て著述せし本邦唯一の書なり、故に斯界の技術者及び實用家學生の寶典なり	大正商工社
近上 水道	森慶三郎	三三三頁裝送	五〇一八〇	現今都市計畫上の最大問題たる飲用水に付き好箇の解決を與へんとするもの	丸善
近上 水道詳論	森慶三郎	四三七頁裝送	六〇二七〇	上水道に關し物理的、化學的及生物學的方面に新研究を試みたるもので、特に急速砂濾過作業の如き複雑な機械裝置を頗る平明に説盡す	同
改訂 島測量學	君島八郎	四〇餘頁裝送	五〇二七〇	一般測量に就て其方法と機械とを理論と實地とを旨とし測量機械の構造より其検査整正使用法野業記帳法測量の積度等挿圖に依り説く	同
最小自乘法測量平均法	諸戸北郎	三〇一頁裝送	三〇一八〇	本書は最小自乘法を應用して諸種の結果を平均し且其精密度を比較する方法を、一々實例を擧げて説き明す	同
耐震強度計算の手引	中村達太郎	四一三頁裝送	一〇二〇六〇	耐震強度の要綱を平説す、主として圖表を以て容易に耐震耐風強度を了知される	同
地形施行法	岡崎平三郎	一三九頁裝送	一〇一八〇	建築工事、機械据付及木材石材施行法から鐵筋混凝土工に至るまで詳述したもので、建築家、機械技術者に最適の好資料である	工業教育會
改訂 築港 後編	廣井勇	二四四頁裝送	六〇二七〇	築港に關する學理及各國主要港に於ける施設を詳に記したるもの殊に本四版に於ては全部に増補改訂を施し以て斯業日進の發達を説述す	丸善



鐵筋混凝土計算及其資料	矢島 濟	菊判洋裝 二〇〇頁	送價 三・五八〇	鐵筋混凝土の實地的計算法を細述したものの、煩雜な算式を避けて迅速簡便且つ正確に算出するに如何にすべきかの實地問題に答ふ	丸 善
訂正鐵筋混凝土工學	阿部美樹志	菊判洋裝 六三五頁	送價 五・二七〇	著者が多年研究の結果を網羅し、確信ある論據の上に斯學の理論、應用及施行の方法を平易簡明に論述し、又計算圖表等を掲ぐ。	同
實鐵筋リコング構法	原田 碧	菊判洋裝 五四〇頁	送價 四・一八〇	主として省約を旨とし鐵筋コンクリートの設計公式を説明し、施工の梗概を述べ、	同
理論鐵筋混凝土設計法	岩崎富久	菊判洋裝 五五〇頁	送價 四・二七〇	本書は桁に關する公式の説明より擁壁、貯水池水、水槽、水道工事其他のものに列挙し設計施行の方法を實例を以て平易に解説す。	大倉書店
鐵筋混凝土の理論及其應用	日比忠彦	菊判洋裝 四六六頁	送價 上中下各八・〇〇〇 下四六・〇〇〇 上中下各三・〇〇〇	上卷には材料論、桁梁論、計算論を中卷には桁橋論、擁壁論、拱橋論、衛生工學論を、下卷には鐵筋コンクリートに關する所有知識を理論と實際との兩方面より親切丁寧に講述せる斯界の最大良書也。挿畫二百餘。	丸 善
鐵筋コンクリート早割出	中村達太郎	菊判洋裝 一四〇頁	送價 一・五〇〇	垂直荷重を主として柱梁計算につき精説し鐵筋コンクリートの基本的知識を平易に體得せしめん。	丸 善
鐵道工學大意	佐土原 勳	菊判洋裝 三三〇頁	送價 四・一五〇	鐵道工學の關係範圍の多岐なる土木機械電氣工學等の諸般に亘る本書は即ち綜合的に周匝なると共に各研究項目につき細説利す所無し。	同
土壓及擁壁設計法	吉田德次郎	菊判洋裝 三六〇頁	送價 三・一八〇	土木工學の實地應用として最も廣汎な土壓及擁壁設計の公式範例を統一し且つ理論及方法を最も平易に一々算例を示して釋いて居る。	同
土木工學	川口虎雄	菊判洋裝 下中上各六・〇〇〇 上中下各三・〇〇〇	送價 上中下各四・八〇〇 下四六・〇〇〇	上卷には解析幾何學、微積分學、大體靜力學、結構論、於ての應力水力學を中卷には材料力學、接合、連結等を下卷には土木土庄基礎を説いて居る。	同

鐵道工事編	西畑 常	菊判洋裝 四六六頁	送價 一・〇〇〇	十數年間辛さに苦戰して得た體験文獻。尾三電力時、鐵道工事、山陽鐵道、船坂鐵道工事其他參考資料を詳細に圖及表と説明を以て著す。	大正商工社
増補土木施工法	草間見一	菊判洋裝 二九三頁	送價 五・二七〇	如何に土木工事を施行すべきか、其方法を十記し次に其用法、結構、費用等を巨細に述べ。	丸 善
とんねる	田邊明郎	菊判洋裝 二〇〇頁	送價 五・一八〇	著者が學生の研究を吐露し斯工事を學理的に精密なる挿圖を多數挿入して實地的に解説す。	同
鐵道工事編	西畑 常	菊判洋裝 四六六頁	送價 一・〇〇〇	著者が疊々の體験より成る一箇の創作。施工設計、計算等一々既成鐵道工事の實際に照合して詳細する。	同
日本産土木建築石材	小山 一郎	菊判洋裝 三三〇頁	送價 三・一八〇	本邦産の土木建築石材につき豊富なる學識と多年の經驗に基きたる小山學士の心血を凝がれたる石材撰擇に關する唯一の資料なり。	工學書院
最新農林測量	内田繁太郎	菊判洋裝 一四〇頁	送價 上中下各三・五〇〇 下二七・〇〇〇	上卷に總説、測鏡測量、製圖法、平板測量、羅盤測量、地形測量、三角測量、外六章を記す。	養 賢 堂
建築學	高橋 鏡造	菊判洋裝 二〇〇頁	送價 一・一五〇	衛生及保安の設備を最要件とする現代式住宅の經濟的、便利な家の敷地の選定、家相、方位、採光等間取圖を挿みて丁寧に説明したるもの。	工學書院
英和建築語彙	智彌 達藏	菊判洋裝 一九二頁	送價 二・一八〇	建築學會の諸巨匠が十有餘年の精苦を捧げて外國の建築術語及熟語の邦譯を一定し、建築用語の根本的統一を計るが爲編纂されたもの。	丸 善
埃及の文化と建築	藏田周忠	菊判洋裝 一六〇頁	送價 三・一〇〇	エジプトの建築はあらゆる意味で立派な始源を語るの土は先づこの始源藝術の精華に即け	洪 洋 社



實用メートル寶典	岸原三郎	三判洋裝 一六七頁 送價 一〇五〇	本書はメートル法と在來の日本法と英國法との度量衡法を相互に組合せ凡ゆる場合の換算百八十餘種の表を算出し毎頁應用引例を付す	洪洋社
住宅と庭園の設計	林學博士 上原敬二	二判布裝 二八二頁 送價 二〇六〇	住宅と庭園の設計は國民生活の問題なり本書は専門的問題を離れて一般中流階級を標準とし設計者が根本に心得べき事柄を説明す	嵩山房
市街地建築物法に依る 瀟酒なる 小住宅圖案	繁野繁造	三判洋裝 附三圖 三圖 送價 一八〇	本書は成る可く手軽に建てられる小住宅の正面圖取圖に一々敷地及配置圖を附卷尾に建築申請屆書の實例を掲げたる新らき参考書を綜合し構造及材料を述べられし良書なり	建築書房
建築仕様見積	河津全三郎	三判洋裝 三四六頁 送價 二五〇	斯界の權威者たる河津氏吉田氏の博學深遠なる學識を協力し建築工事の一切を網羅し之を綜合し構造及材料を述べられし良書なり	工業日本
新傾向の住宅	洪洋社編輯部	四判布裝 八〇枚 送價 四〇〇	トニー・ガルニエ氏の藝術味豊かな作品で多くの裝飾を用ひざる端の清新さ立體美には何人も驚かされる混泥土建築の最適資料	洪洋社
新式規矩術 (便利なきがれつかひ)	大竹只八	四判布裝 四六枚 送價 二〇〇	指金に堪能なるものは構造物完成の第一歩なるが本書は種々なる難解に所し容易正確に解する圖式解にて一目瞭然遺憾なき良書なり	工業日本
寫眞新橋演舞場	菅原榮藏	四判布裝 原色版二枚 送價 四一五〇	伊東博士曰く「手法織にして煩雜の感なく悠揚にして粗漫の弊なく奇構人を驚倒し妙想人を魅殺す」と眞に我國現代建築の代表的作品	洪洋社
神社建築構造法	齊藤龜吉	四判布裝 洋四六枚 送價 三一五〇	各種の平面、側面、立面、工作圖、虹梁、割種割各部材料大さまで詳細に説を加へあり	信友堂
報知住家設計圖案	工學博士 佐藤功一	四判布裝 四六枚 送價 五二七〇	嘗て報知新聞社にて懸賞募集せる住家設計圖の優劣なるものに専門大家の實地に施行せる大中小各種の圖案を加へて壹百圖を收む	大倉書店
數寄屋住ひの一隅 下上	伊藤虎三	四判布裝 大和紙 送價 一五〇	雅致に富んだ瀟酒な手法で和風住宅の局部を圖示したる門支關或は床欄間手摺離れ茶室煎茶座敷等その他種々鳥の子表紙の箱入美本	洪洋社

素人に わかる 住心地よき住宅と庭園	菊地修一郎	二判上裝 二二〇頁 送價 二〇三〇	住心地よく無駄なき理想的の住宅を建築するは刻下の急務である、本書はその要求に應じ著はされたものである	二松堂
實用製圖講義	建築普及會	四判布裝 各六冊 送價 四二七〇	本講義は最も實用的なる和洋各種の製圖法を六回に分け速成的に説明を加へあり	信友堂
實用西洋家屋構造前	石川勝志	二判洋裝 二九六頁 送價 二二五〇	近年生活改善と共に洋風建築旺盛なるが著者は多年研究に尙外海代表書ミツケル、アダムス、キッター氏等の著書参照し著述の書	工業日本
西洋住宅設計資料	早稻田大學 住宅研究會	一判布裝 一七枚 送價 二二五〇	本書は早稻田大學建築學科の教材として編まれたもので最も多方面に亘りて蒐載し而も簡明適切住宅に關する殆ど全知を網羅してゐる	洪洋社
改訂大建築學(第一卷)	三橋四郎	八判布裝 四六頁 送價 六三〇	本書は本邦唯一無二の統合大成せる大建築學全部訂正増補し茲に漸く全四卷を完成するに	大倉書店
改訂大建築學(第二卷)	三橋四郎	七判布裝 四六頁 送價 六二七〇	至れり。本書收むる所和洋建築の全般に亘り地震火災建築東西建築史及び都市計畫等網羅し	同
改訂大建築學(第三卷)	三橋四郎	三判布裝 三三八頁 送價 八三〇	附録として最新建築法規を添ふ。小は一戸の住宅より大は官衙銀行會社工場別荘神社佛閣等に至る迄収録したれば凡そ技術專門家は素	同
改訂大建築學(第四卷)	三橋四郎	九判布裝 九八六頁 送價 七三六〇	より學生技師請負業大工職官衙會社圖書館學校及び一般人士は本書を顧問として理想的建築物を實現せられんことを切望して止まず	同
耐震耐火家屋	伊藤爲吉	二判布裝 二二二頁 送價 二五〇	濃尾大震災に鑑み著者の建築せるものが一昨秋の震災に大効を奏せしを以て耐震耐火家屋を望まると人々に頼たんの爲に成りし著なり	同
鐵筋混凝土 設計及 施工法	小川敬次郎	一判布裝 一〇〇〇頁 送價 二〇三〇	鐵筋混凝土の實際施工に就て著者多年の研究を説く實際設計監督に當る技術者にのみて最も斬新平明に記された本邦唯一の好著	裳華房

鐵筋混凝土の知識と建築の實際	瓜生康一	附建築關係法規	四六〇頁	送價	五・二〇	鐵筋コンクリートの建築をせんする者及一般技術者の爲に時代の要求に應じ讀むべき役	二松堂
店頭陳列棚意匠集	洪洋社編輯部	五〇〇頁	送價	二・五〇	巴里工藝博に出陳された各商店の店頭裝飾で他凡ゆる種類を含む現代商店計畫の絶好資料	洪洋社	
寸法床棚圖集	金子清吉	四六倍判三洋一圖	送價	二・〇〇	本書は日本住宅建築に當り何人も其意匠に苦む床棚圖案の實用向にして應用自在なるもの冊餘種を集め悉く寸法を記入せる好参考書	建築書房	
土木建築資料總覽	建築資料會	一〇〇頁	送價	三・〇〇	國産品の輸入品を問はず日本全土の總ゆる建築材料の實物寫眞に圖解を掲ぐ。米國のスキート、キヤタログに匹すべき大編纂である	丸善	
中村の建築構造	中村達太郎	四六倍判二〇〇頁	送價	二・三〇	簡易なる構造物例へば塙壁及擁壁などを捉へ來り之を詳説することに依りて構造設計の本筋を理解せやうと力めたものである	同	
庭本位の小住宅	大屋靈城	四六倍判二〇〇頁	送價	三・〇〇	都市田園郊外の三部に分ち居間本位の小住宅に庭を配し植樹を示す住宅建築者の参考とし稀有の大作多數の参考圖に説明を對照す	裳華房	
日本家屋構造	齊藤兵次郎	菊判洋裝上中下二冊	送價	五・〇〇	上巻(構造篇)木材使用各部雜作の仕口取付方中巻(製圖篇)建設に要する各圖面建地割木割下巻(參考篇)は各平面圖天井障子床棚附書院	信友堂	
改訂日本家屋構造	吉田全三	菊判洋裝二四四頁	送價	二・五〇	東京高工の教職に數十年目下斯界に巨星の如き氏が多數精密なる挿圖及形式を網羅し本文に對照させ一目瞭然日本家屋の代表的書なり	大日本工業學會	
日本建築規矩術	齊藤兵次郎	四六倍判假裝	送價	二・五〇	我國從來の曲尺つかひ方及西洋規矩法と對照し之を了解せしむる爲挿圖全部には書入れれし説明には不假名附せざる最良書なり	信友堂	
日本建築字彙	中村達太郎	四六倍判假裝	送價	三・三〇	本書は古今の建築物及び附屬品に就て其構成の部分を以呂波順序に排列して圖解詳説せるもの建築家史家考古學者文學者等の好資	丸善	

日本住宅百圖	遠藤於菟	菊判橫裝四四六頁	送價	四・七〇	本書は十坪以上五十坪内外の住宅の實地より選出したる圖面に住宅建築設計上注意すべき諸要件豫算書内譯書仕様書を附したり	大倉書店
日本名園記	龍居松之助	菊判布裝三〇五頁	送價	三・五〇	總論には日本庭園史の概観を記述し解説は室町時代の桃山時代江戸時代に大別して各庭園をそれぞれ位地沿革現狀を説く挿入圖版數十葉	嵩山房
破風造構造法	齋藤龜吉	洋四六倍判裝	送價	二・〇〇	本書は各種破風の正面、側面、工作圖等に對し各々地割木割其他を詳細に説明を加へあれば初心者も容易に理解し得	信友堂
表現主義建築圖集	森口多里	六〇〇頁	送價	三・二〇	現代世界的建築の手法は何れも表現主義的傾向である東都震災後の地上を覆ふ新建築は如何速に本書を備へて健實なる新思想を創れ	洪洋社
普通規矩術	山下太作	四六倍判假裝	送價	二・三〇	著者多年の經驗に基き普通作業上必要の規矩を圖解し不熟の徒らにても一見規矩を會得し幾多の割出方にも自在に應用し得る様著せり	大倉書店
文化村の簡易住宅	洪洋社編輯部	四六倍判假裝	送價	一・七〇	所謂文化住宅の實物標本を公開した第一歩の計畫が平和博の文化村であつて當時建築家達の眞劬味と世人の觀賞熱さが即ち本書の内容	洪洋社
分離派建築會作品(第三)	建築離會派	四六倍判假裝	送價	二・五〇	過去建築會より分離し眞に意義ある新建築會を創造せんがため世界に向つて宣言して起る分離派建築會の作品集第三回である	岩波書店
明快な中流住宅	大野三行	四六倍判假裝	送價	二・八〇	パンガローの家は隨に邦人の趣味性情に合したものである之れに日本人の好尚を極度に加へたらほんさうの吾等の文化住宅が出来よう	洪洋社
洋木造建築構造圖解	志賀龜之助	四六倍判假裝	送價	二・二〇	本書は特に建築構造圖解に對し實際的代表的設計圖の如く建築學及建築用語を入れ一目明細に掲げたる力著なり	大日本工業學會
洋風建築設計圖上中下	志賀龜之助	四六倍判假裝	送價	三・〇〇	本書が特に代表的理想的洋風建築が構造設計の部分圖解に最も力著せられしものにして斯界に指針たるの書なり	同

我家の暖房	柳町政之助	四六倍判洋装 三〇八頁送	三〇八	本書は日本在來の採暖設備から歐米の各種暖房装置を述べ其取扱方法に設備費と經常費との間取を温度と湿度に就て懇切に説いてゐる。設計の部百數十頁は新進有為な技術者の製作を附記したる斯道唯一の住宅間取図案なり	大倉書店
新和洋住宅間取圖案	金子清吉	四六倍判洋装 一〇〇頁送	五・八〇	實際に應用して便利なる日本住宅及西洋住宅の間取圖案五十種に説明及び最近の概算建築費を附記したる斯道唯一の住宅間取圖案なり	建築書房
住み心地よき和洋折衷	大野三行	四六倍判洋装 二〇七頁送	二・〇〇	設計の部百數十頁は新進有為な技術者の製作を附記したる斯道唯一の住宅間取圖案なり	洪洋社
化學工學					
獨漆ノ研究	眞島利行	四六倍判洋装 一六五頁送	五・〇〇	漆の一切を盡した獨文論文で、眞島博士が世界の化學界にその價値を問はれたもの。	丸善
液體空氣爆藥	大木利彦	菊判洋装 七六頁送	一・〇〇	最近鐵道省陸軍省工科大学等にて盛んに研究され鐵道省では上越線清水隧道掘鑿に此爆藥を使用する事になつた未來ある學術である。	南郊社
内織物組織及製造學	吉田喜一	菊判洋装 全二冊	一・八〇	全巻を通じて講話風の咀嚼し易き文辭に依り一般組織に關する理論と實際とを系統的に詳述し實技上の千變萬化的秘能を惜みなく披瀝す	丸善
織物分解及設計篇	飯野知次	菊判洋装 二九八頁送	四・五〇	本書は紋織物を學ぶもの、好伴侶で、在來一般の機型によらず専ら實物より織法の原理を説いてゐる。	同
最新化學工業試驗法	安藤中雄	菊判洋装 六三〇頁送	六・〇〇	本書は原料、中間品、製品其他補助材料等に對する試験方法を精叙し且品位判定の標準を示し以て査定不備に依る諸種の弊害を除去す	同
化學工業篇	西田博太郎	四六倍判洋装 一八〇頁送	五・〇〇	我工業界の元老西田博士がモニューメンタルウオークとして大成せられたる此大工業史の第一冊。	同

瓦斯分析	野村 堅	菊判洋装 三〇頁送	四・五〇	試料採集及收蓄法、收業瓦斯分工程一般法、吸み極めて懇切に説明せられたるものなり。	工學書院
活性炭素	荒木鶴雄	菊判洋装 三三八頁送	三・五〇	活性炭素は一體如何なるものか、其製法は如何なるか、其性質や應用を精究して周到な極め	丸善
直觀教室を離れたる化學	西澤勇志智	四六倍判洋装 三五頁送	二・〇〇	内容概目 火事の巻、花火の巻、雷公生捕、人造絹絲の巻、コークス、木炭、石鹼と用水、澱粉とコンニャク、鶏卵、牛乳外百數十項。	南郊社
絹絲紡績	森山二郎	菊判洋装 五七餘頁送	一・八〇	本書は紡績術に伴ふ機械製造法の優秀な目的をなす原料から紡績に至る全工程を著者多年の實驗と學理の兩方面から徹底的に述べ	丸善
原料と精練漂白法	佐藤善吉	菊判洋装 一六〇頁送	一・五〇	綿絹毛麻人造絹絲細紗製法から縮緬縮緬法竹精練漂白法迄細かく説いた最新實用の良書	文化日研會
増補工業常識	中村康之助	菊判洋装 三〇餘頁送	五・〇〇	工業及其發達工業の種類と技術工業勞動力工業機械工業の諸般に涉り百科全書的に述べ	丸善
工業電氣化學 全三冊	吉川龜次郎	菊判洋装 洋装	下中上 一・五〇〇 二・五〇〇 三・〇〇〇	電氣化學の範圍に屬する總ての工業に就き其概要を網領したるもの上巻には其一般法則を中巻には加工法を下巻には製造分析を説く	同
實工藝作物學	松田秀雄	菊判洋装 五〇〇頁送	四・五〇	棉・麻・楮・蘭・茶・珈琲・煙草・蠶子・薄荷・除蟲菊・落花生・漆・甘蔗・藍外卅餘種の品種・性状・栽培・加工等を實際的に記す。	養賢堂
工藝作物各論 第一卷	農學博士 吉川祐輝	菊判洋装 三七五頁送	五・八〇	本書は纖維作物武拾種につき主として其性状用途來歴品種氣候土地栽培肥料收穫調製等を詳述せり。	成美堂
増補酸性白土	小林久平	菊判洋装 四五四頁送	五・五〇	油脂其他製造工業上の脱色劑として應用汎き酸性白土に關する一切を詳悉する。	丸善









世界の農村組織	鈴木耕二	四〇〇頁洋装	送	一・八二〇	世界の農業國として有名なるかの丁抹國も其の他の世界各國の農村組織を最も解剖的に註釋したのが本書である地方農村の好参考書。	日本書院
施肥代 桑園の肥料と 綠肥法	鍵谷傳	二〇〇頁紙装	送	一・〇〇〇	肥料代の半減どころか1/3も難事でない而かも力ある桑葉が出來て喰べて立派な繭になる綠肥作物と問作作物に就て懇切に詳述す。	明文堂
炭酸肥料講話	林學博士 錦木徳二	四六判ク ロース装	送	二・〇〇〇	この革命的農法を滿天下の農林家諸君に推薦す。空理空論に非ず科學的根據あり然も目下盛に應用されてゐる農法である。乞ふ披見を。	甲子社書房
自給肥料 堆肥と綠肥	小松澤徳二郎	四二〇頁布装	送	一・〇〇〇	自給肥料は我が國農界の一大問題である。本書は著者が實地指導上より得たる生きた豊富な経験と研究とを、具體的に説述したる書。	米本書店
農村社 地主と小作人	天野藤二男 木村靖二	四二〇頁上装	送	二・一五〇	著者は多年内務省地方局に奉じ地主對小作問題の研究に没頭し各地の活資料を緯りて本書を大成す農村問題解決の絶好資料たりしむ。	二松堂
農藝 定性實驗	岡崎慶郎	四六判	送	一・〇〇〇	第一篇イオン反應第二篇主要有機化合物の實驗第三篇應用定性分析附録試藥の調製法等を叙述し文檢參考書として最も適當なもの。	明文堂
土壌學	明文堂編輯部	袖珍紙装	送	〇・三五〇	現時行はる、教科書中に記載の條項は悉く之を網羅し術語又は難解の文句は解説を施し且つ參照を附記せり農學生の豫習復習用必備書。	同
土壌學講義	大工原銀太郎	菊判布装	送	二・四五〇	土中兩卷に分ち土壌の生成日本土壌論腐植質土壌微生物土壌化學土壌理學に大別す。本邦新學書中唯一の大著。	裳華房
最新土壌學新教科書	農學博士 吉村清尙	菊判洋装	送	〇・九八〇	改訂三回特に文部省の教授要旨に依り最も適興味を誘發せしむる點にも甚大の注意を加ふ。	弘道館
わかりやすい 土壌鑑定の話	工藤齊	三判假装	送	〇・六二〇	土壌の基骨成分、鑑定の必要、母岩無機成分有機成分土層土地の傾き吸水力水通氣性温度色反應分類等による各種の鑑定法を細叙せり。	有隣堂

梨姫心喰虫に関する研究	春川忠吉	菊上装函入	送	二・〇〇〇	梨姫心喰虫の生態を極めて微細に巨つて研究したる實驗、觀察の結果を發表せる著者の博士論文農學研究者の見通すべからざる好資料。	同人社
日本稻作講義	農學博士 永井威三郎	菊判布装	送	七・三五〇	稻作の趨勢、氣候、豐凶、稻の形態組織、品種改良、遺傳、栽培法、肥料、病蟲害、米穀検査及鑑定等を詳述した斯學上の最高權威書。	養賢堂
日本農業史論	農學博士 石坂橋樹	菊判背革	送	五・二四〇	博士著に農業政策、農業經濟學の二名著あり本書は其の姉妹篇にして我邦農業の社會的經濟的歴史の講究に在り眞に學界空前の大著たり。	巖松堂書店
日本農民騒動史	木村靖二	菊判上装	送	四・二〇〇	時として百姓一揆となり明治初期農民騒動つたり小作争議となつて革命の觸角を現し來つたり其記録であり暗示である又研究である。	二松堂
農家經濟日誌	内藤友明	菊判上装	送	一・一〇〇	農家の振興は一家の經濟より始まる此の日誌は誰にも健全なる試みに試用せられんことをの財政が健全なる試みに試用せられんことを現代的に記述せられたもので業者必携の良書。	同
有利農家と副業	澤田寛人	菊判假装	送	〇・五〇〇	現代の農家はごうして完全なそして其土地に全國から募集した有益副業の實際談を收む。	米本書店
新農 業氣象學	農學博士 稻垣乙丙	菊判布装	送	三・二八〇	農業氣象學の密接なる關係は實を俟たず、その研究を農業氣象學として完成し、農家關係者の必讀資料ならしめし名著。	博文館
農業金融論	井關孝雄	四三〇頁上装	送	二・一五〇	我農家の疲弊は農村金融制度が不完全なるが故ならずや農村改造は農業金融の改造に俟たねばならぬ本書は歐米各國の實例を上げ説明す。	二松堂
農業經營管理の實際	有元英甫	四六判	送	一・二二〇	本書は農事園藝養鶏等苟くも農家の經營管理すべきもの一般指針として季節的の良書。實際的に記述せられたもので業者必携の良書。	廣陵社
農業經濟學	農學博士 石坂橋樹	菊判背革	送	七・二四〇	嶄新にして而も豊富なる資料を網羅し農業經濟問題に至る迄詳論細説して刺す所莫し。	巖松堂書店

農業經濟學	橫井時敬	菊判布裝 三九〇頁 送價	三・二〇	本書は農業經濟の各事項に關し斯界の最大權威横井時敬博士が年來の研究成績を蒐集され、たもの一般人も理解し得るやう詳述さる。	寶文館
農業振興と産業組合	佐藤寛次	菊判布裝 四六四頁 送價	二・〇〇	斯界の實際家として最高權威の承ある佐藤博士が「イー・エー・プラツト」氏の原著を骨子として最近の事例と統計とを合せて斯學を論ずる。	有斐閣
農業土木工學	井村實	菊判布裝 四八〇頁 送價	四・八〇	農業土木工學に關する所有事項を網羅し多數の圖版を挿入し灌漑排水及び材料施工の法を記す。この詳密蓋し本邦斯學唯一の書。	裳華房
生進農具の知識	井崎富太郎	菊判布裝 一九〇頁 送價	一・〇〇	現在我國農家の使用しつゝある農具五十七種を、全部圖解して其可否を懇切丁寧な説明を、農具使用購入に際し得る處大なるべし。	米本書店
農藝殺蟲劑	桑名伊之吉	菊判洋裝 一三〇頁 送價	一・〇〇	本書は害虫を驅除するに最も有効なる農劑の撰擇と藥劑の適量を適期に施行する方法を種々詳述したるものなり。	成美堂
最新農産製造化學	吉村清尙	菊判洋裝 五〇〇頁 送價	四・五〇	農産製造に關する著書は概ね製造方法の記述に重きを置き原理の説明は詳しからず。本書は特	同
訂增農産製造學	澤村眞	菊判洋裝 三九七頁 送價	三・五〇	本書は實地應用さふふ點に意を用ひて記述せられたるものなるが、さりて理論の説明を等閑にするものにあらず。諸子の一讀を乞ふ。	同
農産製造學教科書	鈴木	菊判布裝 二二三頁 送價	一・〇〇	農産製造學に就て一般の理解し易きやう講述せる農學校用教科書。	博文館
最新農産製造教科書	吉村清尙	菊判洋裝 洋菊裝 送價	〇・九七	本書は農産製造の如きは概略に止め其の理論の會得に努めたり然して各教材を季節により配列し實習上材料を採るに便あらしむ。	弘道館
補增農政問題研究	高岡熊雄	菊判洋裝 五九一頁 送價	四・八〇	本書の價値に就いては世既に定評あり。今回著者が歐米視察後起稿せし論文數編を加へ全く裝を新にして讀者に提供せられたり。	成美堂

農村經濟行脚	安東友哉	菊判上裝 二〇〇頁 送價	一・五〇	農村振興は何より先づ農家の經濟を計らればならぬ。本書は農家經濟の事項を徹底的に掘り碎いて實際的に説き話した有益の書である。	二松堂
農村研究講話	小野武夫	菊判上裝 二二八頁 送價	一・五〇	○緒言 ○基礎的研究の必要及び其綱領 ○農村問題とは何ぞや ○村落の研究 ○農家經濟の研究等。	改造社
農村厚生問題	石坂橋樹	菊判上裝 四三〇頁 送價	二・八〇	農村の振興は農村厚地をはかるにあり、この石坂博士の言本書は幾多の問題に對し迷へる農民への指示であり又羅針盤である。	二松堂
農村小話	山崎延吉	八三六頁 送價	〇・二〇	農村の振興、農事の改良に當る人々に精神的向上を勧め、且つ萬人の訓戒たるべき逸話、座右の銘等を書きつけたる趣味深き書也。	中央報徳會
現農村政策の新研究	秋野茂廣	菊判布裝 一九二頁 送價	一・〇〇	行き詰まれる農村を如何に救済すべきや政府自ら其政策に苦しみつゝあり農村研究者にして其實狀に精通し居る著者の論理はさうか。	米本書店
農村發展の基礎	小林鶯里	四六六頁 送價	〇・四〇	今日農村問題といへば枝葉のみ論議を下す傾きがある。本書は、根本的の問題をさらへ農村發展の基礎を述べしもの。	文藝社
農民生活の研究	木村靖二	菊判上裝 二二〇頁 送價	一・六〇	社會のドン底に流れる農民生活のミヅメさを、過去現在を策出描寫せるものである。	二松堂
農民に味方して	澤田寛人	菊判假裝 一〇三頁 送價	〇・五〇	熱心なる農民の應援者として著者は農民の苦境を叫び或は認め又指導し親切丁寧農民諸氏の羅針盤となる更に先覺者名士の意見を擧ぐ	米本書店
農民より社會へ	古瀬傳藏	菊判上裝 三〇〇頁 送價	二・〇〇	四千萬農民が社會に向つて言いたい事、訴へたい事等を農民實生活に精通せる著者が農民を代表して投じた爆弾的一大快著である。	二松堂
訂增農用昆蟲學講義	桑名伊之吉	菊判洋裝 四八〇頁 送價	四・三〇	本書の特徴とも云ふべきは記述する所皆著者多年の實驗に出で行文平易學理に偏せず又卑近に流れ、實地の應用を旨とせり。	成美堂

最新農用定性分析	農用藥劑學	百姓だつて人間だ	肥料學	肥料學	最新肥料學講義	最新肥料學新教科書	最新肥料學全書	
吉村清尚	野口郁三	古瀬傳藏	川瀬惣次郎	明文堂編輯部	難波	吉村清尚	吉村清尚	
菊判上装 二一〇頁 送價 二・一八〇	菊判洋装 四〇餘頁 送價 三・二七〇	菊判上装 三二〇頁 送價 二・一〇〇	菊判洋装 七二五頁 送價 九・三五〇	袖珍紙装 八頁 送價 〇・三五〇	菊判布装 一五六頁 送價 〇・七二〇	菊判洋装 五九九頁 送價 四・一八〇	菊判洋装 一八五頁 送價 九・二四〇	
分析術を研究せん欲する初學者の参考書として、も化學實驗を課せる實業學校の教科書として、も眞に無比の好著。各學校御採用。	病害虫の影響は二割乃至五割の減收を見る。此等の害を防止せんには、品種改良及栽培法の研究と共に病害虫の撲滅を圖らざる可からず。	四千萬農民の爲に百姓が人間扱ひにされぬ。不合理的な社會制度を打破論し先驅者として犧牲者となり農民の爲に一大獅子吼せる大快著。	今後の肥料學は肥料を如何に有効に使用し又如何に安價に供給すべきかを究むるべからず。本書は肥料製造に關し獨得の意見を述べ、農學校生徒諸君の豫習用復習用に編纂した。農業教員試驗の豫備試験用として最適の書。	肥料の知識を總轄して理解し易からしむるやう編纂せる農學校用教科書。	著者の肥料學の泰斗たるは世間周知の事也。肥料の功果方法應用調合作物との關係等を親切丁寧に説述せるものにして他に類書なし。	各肥料の成分、種類、肥効、鑑定、分析、製造法から作物園藝上の實際施肥法を通俗に詳述し農家、肥料製造家、販賣者の利益増大新説。	改訂七回發行部數幾萬冊全國農學校にて採用せざる所殆ど無しと云ふに見ても其の内容の如何に優逸なるかを立證して餘あり。	最新の學理に經驗に基きあらゆる新學說を參考し肥料に關する創說卓見一切網羅して餘蘊なし。近來世間絶えて無き有用の浩著也。
有隣堂	明文堂	二松堂	明文堂	同	博文館	弘道館	同	

わかり肥料計算の話	わかり肥料配合の話	應用肥料用諸表	米穀貯藏に關する研究	改良米作十二講	松川式稻作增收法	わかるに麥作增收の話	安全麥作多收法	模範村行脚
工藤 齋	工藤 齋	金澤 重	近藤萬太郎	久門盛三	松川佐三	高橋陸郎	久門盛三	松本 寛
三〇頁 送價 〇・五二〇	三〇頁 送價 〇・五二〇	二〇頁 送價 一・一五〇	三〇頁 送價 五・二〇〇	一〇頁 送價 〇・五四〇	一〇頁 送價 〇・四〇〇	一〇頁 送價 〇・七二〇	一〇頁 送價 〇・五四〇	二〇頁 送價 〇・八〇〇
肥料の三要素と其計算法、分析表の扱方、分量の配合量の計算法、肥料の廉否判定法等。かに、にも平明に手を取つて導く様に書いてある。	肥料を配合するわけから其の注意、酸鹽基鹽類、酸性反應、速効肥料、遲効肥料等を詳述せり。	本書は理論を實際化し而して經濟的合理的施肥法の普及徹底を計るべく著者が十數年間苦心蒐集せし資料により編纂せる斯界必備の書。	本書は最近十年間に於ける著者の米穀研究を精密なる統計を附して具さに記述したるもの。米穀貯藏に關する科學的實際的研究の權威書。	米作法の要諦を十二章に分ちて熱心に研究せしもの。説く處少なりと雖も必ずや農村諸彦に取れ得る處定めと多かるべし。	二十五年間福島縣の會津といふ雪國に於て研究を實験を續けた著者の確信ある增收法である。を獲るに至つた著者の確信ある增收法である。	最少要素率、麥の天性、種類の選定、採種、鹽水選冷水湯浸法、肥料地拵作、播種、踏壓土入法、手入、收穫調製病虫害等詳述。	米麥採種場主任として多年實際的に麥作增收につき研究し、今回安全多收の實蹟を本書に依り發表する頁數少なきも全文凡て是玉條。	日本の優良村を居ながらにして瞥見すること、も亦觀るべきが出来る。
有隣堂	同	明文堂	同	米本書店	東北書房	有隣堂	米本書店	同

理想の農家	石田傳吉	四六判ボ 五〇〇頁 送	二・五〇 一・八〇	理想の村の姉妹編著者は農村農家の實狀に通曉せる人本著は何人にも深い興味と實益を寄與する事を信じて疑はぬ。	泰文館
緑肥法	丸尾、佐藤	菊判布裝 四二八頁 送	三・〇〇 一・二〇	自給肥料中最も經濟的にして且つ最も有効なる綠肥に就て多年研究せる結果を發表す。農家の參考として其經濟に資する所少からず。	博文館
新らしき豚の飼方	永田厚平	菊判紙裝 一八八頁 送	一・八〇 一・〇〇	養豚は農家の副業として適應せるもの本書は種類審査繁殖飼料飼養管理豚舎及び運動衛生間に分類割切簡明其要を得たり。	長隆舎
兎の飼ひ方	河南休男	菊判洋裝 八〇頁 送	二・六〇 一・〇〇	家兎の種類、繁殖、種兎分挽、飼料、種類調屠殺皮剥法、管理、飼舎飼法年中行事、疾病、屠殺皮剥法、副業としての養兎等實地指導書	有隣堂
牛之裝蹄	兵頭芳太郎 奈長正久	菊判洋裝 一八頁 送	一・二〇 〇・四〇	兵頭は内地に於て奈長は朝鮮に於ての研究を合して公にせられたるもの、近來畜牛の改良使役増進上必要に迫られて著したる良書なり。	蹄學研究会
三家畜飼養學	澤村眞	菊判洋裝 三二九頁 送	三・五〇 一・八〇	本書は動物養の原理を論じ飼料の化學的性質飼料調製の理論を説き終に之が家畜飼養に於ける實際の應用を示せるものなり。	成美堂
増訂 家畜飼養用諸表	澤村眞	菊判假裝 一〇〇頁 送	一・二〇 〇・四〇	本書はオスカルケルネル氏の著作にかゝる家畜飼養並に澱粉價に關する諸表を澤村博士が譯述せられたるものなり。	同
本位 家畜と園藝	澤田寛人	菊判布裝 二〇〇頁 送	一・〇〇 〇・八〇	本書は著者が多年の研究と實地に依り、小面積で多量勞力を徒費せず、有利有益なる家畜と園藝を極めて親切丁寧に書いた物である。	米本書店
牛乳及加工學	高屋鏡	菊判布裝 四八二頁 送	四・八〇 二・七〇	各種乳製品の加工製造法を學理的實際的に詳述し最近乳製品に關する名著といつべし。	長隆舎

牛乳検査法實驗	津野慶太郎	菊判布裝 一九〇頁 送	一・八〇 〇・八〇	本書は牛乳の乳性及乳質を研究查察すべき方法即ち定性及定量分析法は勿論學術的研究は細大漏さず叙述しあり衛生警察上好資料なり	長隆舎
牛乳の新智識	上木竹太	菊判紙裝 五三三頁 送	四・五〇 二・二〇	牛乳は營養食料品の主位を占めて居る從て販賣業者飲用者共に牛乳に關しての智識を修得し置く必要は無論である本書は其最良なる物	同
最新競馬智識	沖作治	菊判洋裝 一四四頁 送	一・五〇 〇・四〇	競馬の見馬券を馬券の爲めに弊害を除き危険を妨ぎ馬の趣味を涵養せん爲に著はしたるもの、寫真十六と多數の挿圖ある最良本。	蹄學研究会
競馬と相馬	河邊立夫	菊判布裝 二四八頁 送	二・〇〇 〇・八〇	愛馬熱の勃興と馬券競馬の公許に伴ひ陸軍隨一の馬事專門技師が其造詣を傾けて競馬の善導を期し競走馬を相する妙技を説く。	博文館
現代の乳業	津野慶太郎	菊判布裝 二五九頁 送	二・五〇 一・八〇	乳業の商工的經濟方面研究資料として必要なるは定評のある所増補には煉乳及粉乳の製造及圖畫の加へあり模範的乳牛石版圖を附せり	長隆舎
増訂 最新産牛講話	木暮瑤吉	菊判布裝 二九〇頁 送	二・〇〇 一・六〇	飼養法、飼料、牧草の作方、使役調教、犢の疾病、牛舎、厩肥堆肥等産牛界の唯一羅針盤。	有隣堂
最新養豚全書	高山徹	菊判布裝 二九五頁 送	二・〇〇 一・六〇	種類、管理法、繁殖法、去勢法、飼養法、疾病治療法、屠殺及貯肉法、料理法等に別ち凡そ養豚に關する必要事項に悉く網羅してある	同
實地豚の飼方	大石嘉米太郎	菊判假裝 二二二頁 送	一・五〇 〇・六〇	立川養豚場主任成松氏の序に君の如く獨力を以て養豚業を経営し自らの汗の滴りを著書に公にせられたるは稀に見るさ本書を讀せらる	長隆舎
衣食 實地養兎指南	森悦五郎	菊判假裝 一〇三頁 送	〇・八五 〇・四五	内容は頗る懇切丁寧を旨とし幼き婦女子にも解易からしむる様振假名付とし詳細多數加へあり眞面目なる養兎有志者の良師益友。	同
相牛の理論と實際	上木竹太	菊判布裝 三八八頁 送	四・五〇 二・〇〇	畜牛の購買に當り外貌の研究鑑識は極めて必要なるものにて共進會品評會の審査に於て實際に應用する等當業者の指針典範なり。	同

畜産製造學	津野慶太郎	菊判紙裝 三七〇頁	送價 三〇〇	本書第一編は蛋白質工業第二編は血液工業第三編は肉工業にて畜産物を原料として加工する化学工業品の製法試験法及利用經濟を記せる屠畜の廢物利用は畜産製造學と相待て最必要なるもの本書は斃獸屍體の利用と膠及骨工業の重要事項を叙述したるものなり。	長隆舎
畜産副生物利用法	津野慶太郎	菊判紙裝 一〇二頁	送價 一〇〇	屠畜の廢物利用は畜産製造學と相待て最必要なるもの本書は斃獸屍體の利用と膠及骨工業の重要事項を叙述したるものなり。	同
改豚肉加工法	飯田吉英	菊判洋裝 三〇〇頁	送價 三二〇	本書は前後二十年間に於ける著者の豐富なる實驗研究と歐米諸國に於ける著者の加工の技術を詳細に説述したるものなり。	成美堂
用馬學	池松常記	菊判上裝 三三〇頁	送價 四〇〇	馬體解剖生理、蕃殖飼養管理、種類、相馬法、馬蹄及裝鐵法、病馬看護法、疾病等馬に關する事項を細大詳説、産馬家絶好の伴侶です。	有隣堂
飼草養豚秘訣	安田格	菊判布裝 二一〇頁	送價 一〇〇	養豚は有利だが一様に甘く行かないといふ理由が判つた牧草なくば家畜なく家畜なくば肥料なく肥料なければ作物なしの金言を味へ。	米本書店
獸醫學	勝島仙之介	菊判本裝 計一五〇頁	送價 上六〇〇 下五〇〇	獸醫學書中の大權威！	朝香屋書店
家畜內科學	板垣四郎	菊判洋裝 二四二頁	送價 二五〇	最新研究に基き畜産學に志す者の爲に執筆せるものに行文簡潔、寫眞及凸版圖壹百貳拾七を挿入せる美本なり。	蹄學研究會
獸醫學教科書	生駒藤太郎	菊判上裝 三〇〇頁	送價 二〇〇	これらから獸醫學を研究なさる方、試験を受けらる、方等には簡明適切な好著です。既に各學校の教科書にもなつて居ります。	有隣堂
獸醫行政及警察學	津野慶太郎	菊判布裝 三九〇頁	送價 三〇〇	本書は獸醫行政の綱要獸疫警察畜産行政並に家畜保險の要旨を説述され第二版には現行官制重要關係法規及畜産政策の變遷を増補せり。	長隆舎

新裝蹄學教科書	兵頭芳太郎	菊判洋裝 一九〇頁	送價 二〇〇	著者が本邦蹄學界の權威たる事は既に定評あり、本書は農學校獸醫學校の教科書又は免許受驗者の羅針盤として賣行き最も多き良書。	蹄學研究會
蹄馬體解剖圖	川田信平	菊判紙裝 四九頁	送價 一〇〇	解剖の疾病梗概等を研究する先決問題として蹄馬の解剖書の新書として牛馬羊豚犬猫等に類別し又内外科等に區別し迅速處理し得る様便利なる記述法に改めたる時代要求に適合せり。	長隆舎
獸醫ポケツト處方集	石山寛信	菊判布裝 二〇三頁	送價 一〇〇	獸醫調劑書の新書として牛馬羊豚犬猫等に類別し又内外科等に區別し迅速處理し得る様便利なる記述法に改めたる時代要求に適合せり。	同
養蠶	養蠶	養蠶	養蠶	養蠶	養蠶
式野蠶育蠶日誌	明文堂編輯部	菊判紙裝 三一頁	送價 二〇	本誌は主として蠶業學校農學校實業學校等養蠶に従事する人々も之を使用せば至便なり。	明文堂
蠶の遺傳講話	田中義麿	菊判洋裝 三六餘頁	送價 四二〇	本書は蠶に於ける遺傳の事實及理論と蠶の品種並に其改良法に關する問題を出来るだけ判り易く記述されたもので文献目錄も附録さす。	同
蠶の生理講話	田中義麿	菊判洋裝 三六餘頁	送價 四二〇	蠶の生理學は蠶に關する科學の中で最範圍が廣い又育蠶上の技術と最密接な關係を有する事も明である此書は新に増訂を加へ重版した。	同
改良條桑育蠶法	高橋伊勢次郎	菊判紙裝 二六〇頁	送價 一六五	養蠶家養蠶指導者蠶業技術者の爲に經濟的飼育法が其蘊蓄を傾け懇切に詳述せられしもの。	同
夏秋蠶改良育蠶法	高橋伊勢次郎	菊判紙裝 一六〇頁	送價 一六五	本書は眞に著述せられたる最新改良條桑育蠶法が全芽育に關し懇切平易に詳述せるもの。	同
夏秋蠶覆蓋飼育法	中村端	菊判紙裝 二一頁	送價 二〇	偶然的動機から須田技師が創始された該飼育法は安全簡便にして經濟的に極めて合理的な防ぎ生理的にも經濟的にも極めて合理的。	同

推蠶箱飼 壯蠶條桑	きつと當る育蠶法	鍵谷傳	一〇〇頁裝送價 〇五〇	本書は極めて通俗的に蠶兒飼育の急所のみを 作したる本書の要領に依つて飼育し年々々々豊 作したる著者は自ら誇りさしてゐる。	米本書店
桑品種圖說	蠶業試驗場	六〇〇頁裝送價 二一五〇	長野縣地方に栽培せらるる桑の代表的品種二 十六種につき各部の形態を撮影し之れに解説 を附し品種の選擇優良種の普及に努めたもの を本書は蠶業界の權威たる著者が蘊蓄せる學理 を應用し十數年間多大の犠牲を拂つて實験研 究の結果を國益の爲に公表せられたる名著。	明文堂	
通俗合理的有利育蠶法の原理並に應用	大森順造	四六三頁裝送價 四一五〇	本書は蠶業科受驗者に必要なる心得から試験問題 の規程など一切を詳述し又此等受驗者の爲に好適 な規程研究法等をも説く一般の研究者にも好適 な文獻研究法等をも説く一般の研究者にも好適 な規程研究法等をも説く一般の研究者にも好適 な規程研究法等をも説く一般の研究者にも好適	廣文館	
文蠶業科受驗指針	石川金太郎	三〇六頁裝送價 〇七五	本號には大正十一年度養蠶作柄に關する調査 及蠶卵人工孵化法に關する試験成績を掲載し 該調査は各府縣蠶業試驗場より得たもの。	明文堂	
蠶業試驗場彙報 第廿二號	農林省 蠶業試驗場	五四頁裝送價 〇四八	本號には埋條保溫法及紋羽病の驅除豫防に關 する試験成績を掲載してある。	同	
蠶業試驗場彙報 第廿三號	農林省 蠶業試驗場	二六頁裝送價 〇四三	本號は桑の品種試験成績其二にして前橋綾部 の兩支場に於て行へる同試験の成績を掲載した のである。	同	
蠶業試驗場彙報 第廿四號	農林省 蠶業試驗場	二五七頁裝送價 〇四八	本號には桑樹の簡易接木法に關する試験成績 を掲載したのである最も簡易なる良法である 栽桑學養蠶學の必讀すべき好文學である。	同	
蠶業試驗場彙報 第廿五號	農林省 蠶業試驗場	一九頁裝送價 〇四二	本號には農學博士勝木喜童先生の關係溫度早 見圖に就て又關係溫度表が掲載してある。	同	
蠶業試驗場彙報 第廿六號	農林省 蠶業試驗場	三九頁裝送價 〇二五	本號には桑樹の新害蟲に就て調査害蟲の研究 史その種類及び圖說圖版等を掲載してある。	同	
蠶業試驗場彙報 第廿七號	農林省 蠶業試驗場	九七頁裝送價 〇六四	本號には技術師大澤孝三先生の繭絲の織度に就 て織度の變異及び概括附表等を掲載してある	同	
蠶業試驗場彙報 第廿八號	農林省 蠶業試驗場	四一頁裝送價 〇三〇	本號には新に配付された夏秋蠶甲原種並其交 雑生理部舊支場出張所試育所に施行したるもの を本號に試験成績を掲載したものである	明文堂	
蠶業試驗場彙報 第廿九號	農林省 蠶業試驗場	四頁裝送價 〇二〇	本號には桑樹の簡易接木法に關する試験成績 を掲載したのである最も簡易なる良法である 栽桑學養蠶學の必讀すべき好文學である。	同	
蠶種學概要	石井彌平	二七〇頁裝送價 二一八〇	附種家養蠶家は蠶種問題の講究を一日も忽に 問題するべからず本書は幾多重要なことに興味多き 編纂したるものにして上欄には見出しを附す	同	
蠶絲業法並關係法規	明文堂編輯部	六〇餘頁裝送價 〇五〇	本書は蠶業關係者のために蠶糸業法並其の 關係法規、參照法規、公文書用字例等を輯録 編纂したるものにして上欄には見出しを附す	同	
實散種の製造と催青掃立法	東畑道夫	三〇餘頁裝送價 二一五〇	我國の蠶種製造が今又散種法に變らんとする 時從來の散種製造と催青掃立法の不完全の點 を補ひ學理と應用とにつき詳説せるものなり	同	
最新栽桑教科書	鈴木英亮	菊判洋裝送價 一〇〇三	本書は最新學術の進歩と本邦蠶業の現況とに 鑑みて從來の型を破り實験觀察を基とし生徒 に理解し易きやう工夫せる力作也。	弘道館	
學生蠶體解剖學	石川金太郎	三〇六頁裝送價 〇五〇	本書は少くない頁の中に能く斯學の綱要を收め 教科書の缺を補ひ内容豊富にして最も最新で ある學生諸氏の好みの習上の燈として奨む	明文堂	
袖蠶體解剖學	東畑道夫	袖珍紙裝送價 〇七五	蠶業農學其他學生諸君の豫習復習用及受 驗者諸氏の參考用として系統的に分類配列し 詳細に表解し學修の能率増進に努めたるもの	同	
學生蠶體生理學	石川金太郎	三〇六頁裝送價 〇五〇	一般學生並に篤學者諸氏の爲めに生理學の綱 要を説述し文章は簡單に少ない頁に記事は最 近の研究新發見等多くの事實を收めてある。	同	
實驗晚秋蠶簡易飼育法	石井彌平	二〇餘頁裝送價 一八五	日本養蠶業の生命は實に秋蠶にあり本書は如 何に飼育し得るかを極めて親切に説けるもの	同	

春夏秋 蠶應用	濕布育蠶法	渡邊 孫七	七〇餘頁 紙裝送	〇七五	濕布育とは如何なる飼育法なりや等に就き三節に別ち生理上にも經濟上にも最近の研究を説く	明文堂
條桑育の理論と實際	杉本 仁作	三〇餘頁 洋裝送	三〇八	〇一八	本書は條桑育の出生地たる靜岡縣に於て多年研究せられたる氏が學理と實地の兩方面より懇切に詳述せられたる書養蠶家の絶好指針。	同
人工孵化蠶の飼ひ方	片桐 董	一四頁 紙裝送	〇六四	〇四〇	人工孵化種とは何か特性選擇飼育室用桑蠶青族其他を廿八節に分ち解り易く述べたるもの	同
新製絲教科書	三室戸善光	菊判洋裝 送價	一〇〇三	〇〇八	本書は著者が斬新なる學理と經驗とを基礎に巧て編著せるもの教材の選擇排列表の新奇	弘道館
新製絲詳説	河東田辰雄	菊判洋裝 送價	三二〇七	〇二七	本書は著者多年の實驗と學理とを基礎として勿論一般蠶絲關係者の師友とすべき良書。	明文堂
生絲織度講話	卷島庄之助	一四六頁 送價	〇八四	〇四〇	生絲の最も大切なことは其平均織度が呼稱織度と一致するに在り本書は生絲織度の不齊の原因並に之が改良策等に平易に講述せるもの	同
生絲織不齊の原因	農林省 蠶業試験場	三八頁 送價	〇八四	〇四〇	緒言・各國生糸の織度状態・織度不齊の原因・調査・織度齊整法試験・原料・繭の生絲織度・整状態に及ぼす影響・浮沈半浮沈比較其他	同
全芽條桑育講話	水井壽一郎	菊判洋裝 送價	一〇二五	〇六五	著者多年の實驗に基き全芽條桑育に於ける遠策と矯正法とを懇切に詳述せられたる良書	同
煮練分業浮練法	田村熊次郎	九四六頁 送價	〇七五	〇四五	本書は浮練分業の各種煮練法を説くと共に著者の苦心到達したる煮練法を詳説し尙巻末に能率歩位多獲向上法を詳述せるもの	同
眠起の取扱給桑法	吉澤介一	菊判洋裝 送價	二二八〇	〇二七	蠶の飼育に於ける眠起と此の眠起の缺陷に對し給桑法の關係を天候の上から空氣の上からあらゆる方面から研究したのが本書である	同

新箱飼養蠶法	明文堂編輯部	菊判紙表 送價	〇四五	〇二五	箱飼養蠶法は桑業及勞力を節約し而も蠶兒を飽食せしむることを得る良法であつて一讀之を實施せば豐作を期し得ること疑ひない。	明文堂
養蠶業經營講話	根岸銀五郎	洋裝 送價	二一八〇	〇一八	今や養蠶業は經濟を離れては技術的研究も改良も何の權威も價値もない本書は經濟的經營に就て理論と實際の兩方面詳細に説く。	同
新養蠶教科書	農學博士 伊東廣雄	洋裝 送價	〇三五	〇八五	本書は學識經驗共に豊富なる著者多年苦心の内容に一大改訂を加へたる類書中の白眉なり	弘道館
養蠶日誌	明文堂編輯部	菊判紙裝 送價	〇三〇四	〇四〇	春夏秋何れの期節でも使用が出來絲繭原蠶業用であるから養蠶家にも蠶種家にも素人的に重寶全國各農蠶學校の實習用は多く本誌である	明文堂
廢物家庭養鶏	引田久太郎	菊判紙裝 送價	〇〇六	〇〇六	簡易なる養鶏の智識を與へ、且つ其飼養に光に養鶏の實用を主眼とせる本書の如きは、容易に養鶏の實行を導き得る絶好の参考書。	博文館
飼ひ鳥	鷹司信輔	菊判布裝 送價	五二八〇	〇二七	禽舎籠餌掃除法から病氣の手當法その他あらゆる取扱法を記す各論三百餘種の産地習性等を二百余の圖版十數枚の口繪により詳説す。	裝華房
此れからの養鶏	中村八郎	四六列 送價	〇〇八	〇〇八	著者十年間の深き實際經驗より利益の多き養鶏法の面白く解りやすく、親切詳細に説明せしものにて専門として副業として面白く	日實本業社
必らず成る三定式養鶏法	寺岡實博	菊判上裝 送價	〇二〇〇	〇〇〇	著者は多年鶏と共に生活し殆ど半生は養鶏事業に終らんとす其經驗と學理は眞に養鶏家の範とせり著者創造の養鶏法は誠に斯界の福音	博進堂
再訂實驗養鶏法附水禽	横山春平	菊判布裝 送價	〇二八〇	〇八〇	事業として又家庭の副業として養鶏の成殖を最も有利ならしむる各種の研究は收めて此一書にあり何れも實驗に基ける好記述。	博文館

副業利用 空地應用	實地養鶏法	白松鶏庵	一六〇頁 送價	〇・五五 〇・六五	著者十餘年の實驗を解り易く廢物の利用空地に記述しあり養鶏家必携の書なり。	いろは書房	
食用蛙養殖法	菅蒲治太郎	一五六頁 送價	一〇・四〇	農家の副業として最好適だ云はる、食用蛙の養殖法を詳しく書いた本。著者は多年來農林省で之を擔任せる菅蒲治太郎氏である。	水産社	水産社	
多産鶏の最新飼養法	中村八郎	一八九頁 送價	一〇・五〇 〇・六〇	一鶏一年の産卵数を五百にするには如何した鶏家の一大福音。	日實本業社	日實本業社	
養鶏十二ヶ月	松澤淳水	一三五頁 送價	〇・八〇 〇・四〇	一月から十二月まで夫々の月に必要な手當管理法繁殖法を述べ鶏舎種類餌料孵化育雛雄雌鑑別並に割勢肥育疾病の防除まで説いてある。	有隣堂	有隣堂	
改訂 増補	養蜂大鑑	駒井春吉 野々垣淳一	一七三〇頁 送價	五・二〇 二・七〇	本書は養蜂上の問題とせる事項は悉く網羅し殊に蜂王養成養蜂器具巢礎蜂蟻蜂蜜等の事項は著者苦心の結晶にして斯界の最新知識なり。	明文堂	明文堂
改訂 増補	水産學綱要	杉浦保吉	二六〇頁 送價	一〇・八〇 〇・八〇	水産業に對して絶大無二の天恵に浴せる我國に於ては水産學の發達は國富増進の第一策なり本書その先陣を務む。	博文館	博文館
最近	水産製造講義	伊谷以知二 小野辰次 木村金太郎	七八〇頁 送價	八・八〇 三・六〇	國際貿易品としての水産食品の本邦の地位から水産食品加工製造に關するあらゆる最も進歩せる方法に就て詳説せる唯一の典據。	裳華房	裳華房
水産養殖法講義	越田暮忠 日暮次郎	四四六頁 送價	三・〇〇 一・八〇	水産養殖界の大家たる越田農林技師と日暮水産技師の共著。鰻鯉貝類其他全部の養殖法が網羅されてる。	水産社	水産社	
漁網論	川合角也	六五〇頁 送價	三・二〇 二・七〇	本邦全部の漁業に就て漁具漁法其他を詳細に記述した斯界唯一無二の典據。當業者並に各學校の教科書として適切な本である。	水産社	水産社	
林産製造學概要	林學博士 三浦伊八郎	六〇〇頁 送價	五・三〇 二・七〇	本書は森林化學と林産製造學との關係及林産製造學並に木材化學工藝の一般を網羅せるものなり終りに和英兩索引を附せり。	成美堂	成美堂	
山林	山林	柴田榮吉	一五〇頁 送價	〇・八〇 二・〇〇	断面積計算法、伐採したる幹材積計算法、造林の積材粗算式、薪炭材積立木材積算式、造林の計算法を一々問題解答式に詳説したるもの。	有隣堂	有隣堂
立木尺×計算法	柴田榮吉	一五〇頁 送價	〇・八〇 二・〇〇	森林の苗木植付より伐採製材迄總ての作業を一々圖表公式に掲げ新製材の學理と實際とを詳述し本邦林學上に新記録を劃した空前の大著。	養賢堂	養賢堂	
森林施業學	寺學博士 寺崎博士	一三〇頁 送價	五・三〇 三・六〇	本卷は木材の性質及び木材の適用を詳論したるものにして終りに参考書目及び索引を附し特に讀者に便せり。	成美堂	成美堂	
訂改 訂改	森林利用學上卷	林學博士 上村勝爾	四〇〇頁 送價	三・二〇 二・七〇	立木、丸太、角材の石數又は尺を算出するに不便を除かんため詳細に表解したもので當該關係者諸君には手離し難い便寶です。	有隣堂	有隣堂
立木石數尺×早わかり	群馬殖會 獎勵會	三〇〇頁 送價	一・五〇 一・四〇	距離、對角線、繫線、垂直線、縱橫距、支距、角度、極角、基線、周圍、平板等の測量法から見取實測法、圖上面積計算法を収めてある。	同	同	
新最 新最	田畑山林測量法	柴田榮吉	二一五頁 送價	一・八〇 一・六〇	林業の經營は如何に合理的に、經濟的に爲すべきかを詳細に論述せる著者多年の研究也。	甲子社書房	甲子社書房
新最 新最	林業の經營	林學博士 上原敬二	四〇〇頁 送價	四・二〇 二・七〇	林業の經營は如何に合理的に、經濟的に爲すべきかを詳細に論述せる著者多年の研究也。	甲子社書房	甲子社書房







最新蔬菜園藝	柘植六郎	菊判洋裝 五三六頁送	四・三〇	農に好評を博せる蔬菜園藝新書を増補改訂せしものなり一般栽培法は勿論病害並害虫驅除法或ものには特に促成栽培法を記したり	成美堂
作の作り方	千葉高等園藝學校 草人社	菊判上装 五五〇頁送	三・五〇	和洋四季の作の作り方に就て種子を蒔く時期より蒔き方苗の育て方花の咲く迄全般に亘り其他病虫害驅除法花壇等最も平易懇切に説明	二松堂
増収 サフランと 黄蓮の栽培	中岡朝一	菊判假裝 一〇〇頁送	〇・五〇	著者多年の實際栽培経験其研究結果を發表せるもの收増大栽培簡易且つ如何なる荒地にも蕃殖し得るものなれば副業又は觀賞に尤好し	米本書店
種子及種苗店の研究	二川原久作	菊判假裝 三〇餘頁送	二・五〇	我が國の農園藝の歴史の古きにかゝらわらず進歩の跡大ならざるは栽培技術の方面にのみ主	明文堂
増訂 實験園藝講義	農學博士 恩田鐵彌	菊判布裝 六五〇頁送	三・二〇	果樹蔬菜の園藝全般に互り學說實験の兩方面より周到なる講述をなし實施家の參考書並に講習教科書として又教育家の必讀書	博文館
實験花卉叢書	野間守人	菊判假裝 裝送價各	一・八〇	菊の卷・蘭の卷(以上既刊)以下各花卉を三百頁より數十頁に互り各品種の形狀栽培法等を現時類書中最詳細完備に詳述した大著書	養賢堂
西瓜の栽培と其販賣法	米田榮藏	菊判洋裝 二五〇頁送	一・八〇	西瓜は清涼果であるばかりでなく消化利尿に特效がある農家の副業として最も時宜に適したものである此有利なる西瓜栽培を推奨する	明文堂
訂増 西洋草花	康樂園主人	菊判洋裝 三〇餘頁送	二・五〇	西洋の草花には賞観すべきものが少なくない此の書は其の下種の時期栽培の方法肥料の工合を説明し尙多くの精密な圖が示してある	六合館
西洋草花の作り方	石井勇義	菊判洋裝 二〇〇頁送	一・二〇	西洋草花の一般的栽培法即ち種子の蒔き方肥料の施し方灌水の心得土質の選び方挿木や取木の殖し方其他細大洩さず記してある	誠文堂
造園學概論	林學博士 田村剛	菊判洋裝 二五八頁送	三・七〇	本書は造園に親しむ一般人士の爲に造園の各方面を網羅して組織的に併も簡單平易を旨とし叙述されたものである	成美堂

實造園樹木	林學博士 上原敬二	菊判洋裝 五〇〇頁送	四・二七	庭園公園の樹木百數十種の識別法、樹形、適地、特徴、配植、繁殖、手入れ法等を精麗圖版を挿み平易實際的に詳述した類書中の最優書	養賢堂
ツケ造園便覽	林學博士 上原敬二	菊判洋裝 三七〇頁送	一・八〇	本書は庭園公園に關係ある者は勿論土木建築業者必備の寶典なり。樹木花卉蔬菜果樹、移植工程表、造園語彙、索引の五篇を收む。	甲子社書房
草花園藝	宮澤文吾	菊判洋裝 五八〇頁送	四・二七	和洋總ての草花を網羅し各其種類、形態、性質と最も最新で實際的な栽培法を精麗な圖版を掲げて詳述した花卉園藝上最優完備の新著	養賢堂
草花庭木の作り方	小林素軒	菊判布裝 二八〇頁送	一・八〇	現今流行の觀賞用草花庭木を網羅して花期を十二ヶ月に配列し其形狀性質種類は勿論培養法の秘訣を説きたるもの類書中の權威たり	嵩山房
草花露地園藝	鈴木清	菊判布裝 三〇〇頁送	三・二七	最も簡単に素人にも出来る露地草花の栽培に就て詳述す種子の蒔き方蒔き時株分けから鉢植やその他の栽培を著者の原圖を以て詳説せり	裳華房
訂改蔬菜學教科書	農學博士 恩田鐵彌	菊判布裝 二三〇頁送	一・二〇	蔬菜一般に就て最も要を得たる知識を與へ教科書としてのみならず蔬菜栽培の好參考。	博文館
實蔬菜栽培講義	富樫常治	菊判洋裝 五二〇頁送	四・二七	蔬菜園經營の方法より各蔬菜の品種、風土、播種施肥栽培法病害と著者獨特の増収法を平易實際的に詳述した類書中の最優書	養賢堂
實蔬菜促成園藝	市川實太郎	菊判洋裝 七二〇頁送	六・五〇	農業中最收多し各蔬菜の促成法、軟化法の採収販賣等獨特の秘法を記した新著の最優書	同
實蔬菜不時栽培法	恩田博士 喜田茂一郎	菊判布裝 六四〇頁送	四・六〇	蔬菜四十餘種を擧げて其促成、軟化、早熟抑興の不時栽培秘訣を遺憾なく説破す。近時の勃	博文館
實宅地利用法	市川實太郎	菊判洋裝 四〇〇頁送	三・八〇	農村宅地を最有利に活用する様に家庭園の構成法と之に栽培す可き果樹、蔬菜、花卉並に養雞、養蜂等を實際的に記せる地方繁榮の寶	養賢堂

最新 圖解 日本造庭法	最新 枇杷栽培法	最新 枇杷の栽培	最新 蘋果栽培法	最新 葡萄栽培法	最新 盆栽仕立秘法	最新 盆栽付鉢植花卉	最新 儲かる竹の栽培法	最新 和洋梨栽培法
杉本文太郎	池田憲司	賀來弘	農學博士 恩田鐵彌	内田郁太	柏翁春郊	宮澤文吾	大島甚三郎	恩田博士 草野計起
菊判特裝 三八六頁	菊判上裝 六五二頁	菊判假裝 一一〇頁	菊判布裝 三七四頁	菊判洋裝 四四〇頁	菊判紙裝 一八〇頁	菊判洋裝 三七〇頁	菊判紙裝 三〇〇頁	菊判布裝 四七〇頁
送價 五・五〇	送價 二・六〇	送價 〇・六〇	送價 三・二〇	送價 三・二七〇	送價 〇・六五	送價 三・二七〇	送價 一・八〇	送價 三・一八〇
著者研究に實地に從事する廿餘年本書は其結 晶にして机上の論と同日に非ず。平面圖十五 葉及寫眞三十一葉を以て應用自在ならしむ。 近來特に需要増加し隨つて巨利の伴ふ枇杷栽 培に就いて著者は幼時より枇杷園の入りなり 後恩田博士の下に研究を積める實地權威書。 枇杷栽培の利益、氣候、土質、品種、繁殖法 栽培法、整枝、剪定、肥料、病虫害、間作、管 理法、收穫法、荷造、收支計算等説明懇切。 興津園藝試驗場長として盛名あり、蘋果栽培 に造詣深き恩田博士が多年研究の實験に基 き手に取る如く栽培法を傳授せる好著。 葡萄の性態、品種、風土、植付、繁殖の確針 室栽培の肥培管理、採收荷造と著者の獨特の 寸小の樹木を陶磁の盆中に培養し、天眞の風 の趣味あり、今一切の仕上秘法を公開する。 盆栽二百餘の種類、形態、整形、土質、灌水 類は誰にも盆栽に仕立てられるから之を見れば 農家の副業として竹の栽培が有利である事は 云ふまでもなく、竹林栽培では日本一の著者 が必ず儲かる栽培法を公けにされしものなり 專業として副業として利得多き梨の栽培 は果樹類中病蟲の被害に悩まされ、こま多し 本書は之を防ぎて利益増進に資するを期す。	當年の露軍が金城鐵壁と頼んだ南山の堅壘を 僅か十六時間で粉砕したのは我軍の一大事蹟を で、ある其肉弾戦は本書中に溢れて居る。	並形(四六半截) 價・一五送・〇二。 小形(菊四半截) 價・一〇送・〇二。衛戍條令 を附す。	兵用圖書 社					

兵事

惡戰十六時間	鞍工教程	衛戍勤務令	衛戍病院服務規則	衛生材料格納保全法	衛生材料梱包要領	衛生材料取扱規則	衛生隊勤務要領	衛生法及救急法	海軍衛生法及救急法
原田中尉	陸軍省	陸軍省	陸軍省	陸軍省	陸軍省	陸軍省	陸軍省	陸軍省	海軍省
菊判 二五〇頁	菊判 四六半截	菊判 四六半截	菊判 四六判	菊判 四六判	菊判 四六半截	菊判 四六判	菊判 四六半截	菊判 四半截	菊判 四六半截
送價 二・九〇	送價 〇・五〇	送價 〇・二五	送價 〇・二五	送價 〇・三五	送價 〇・二〇	送價 〇・三〇	送價 〇・二〇	送價 〇・二〇	送價 〇・二五
川流堂	兵用圖書 社	同	同	同	同	同	同	同	同

海軍艦砲操式	海軍	省四六半截	送價	〇二五		同	會兵用圖書社
海軍軍歌	海軍	省菊半截	送價	〇一〇		同	同
海軍算術教科書	海軍	省四六判	送價	〇五〇	本書には卷三。卷四。及附録の三種あり。附録は價・四〇送・〇四。	同	同
海軍手旗信號法	海軍	省四六半截	送價	〇〇五		同	同
海軍須知提要	海軍	省菊半截	送價	〇二五	海軍兵の豫備教育書にして海軍志願者新入兵の必讀書なり。	同	同
海軍體操教範草案	海軍	省四六半截	送價	〇三〇		同	同
海軍讀本	海軍	省菊判	送價各	〇三五	卷五、卷六、卷七、卷八の四種あります。	同	同
架橋教範	陸軍	省四六半截	送價	〇六〇		同	同
看護卒教程草案	陸軍	省四六判	送價	〇五〇		同	同
看護長教程草案	陸軍	省四六半截	送價	一六〇		同	同

艦砲取扱教範	海軍	省四六半截	送價	〇二五	附録第壹は價・三〇送・〇四。附録第貳は價・二五送・〇四。	會兵用圖書社
騎兵機關銃射擊教範	陸軍	省四六半截	送價	〇二五		同
騎兵機關銃操典	陸軍	省四六半截	送價	〇二〇		同
騎兵射擊教範草案	陸軍	省四六半截	送價	〇五〇		同
騎兵操典草案	陸軍	省四六半截	送價	〇四〇	並形(四六半截)價・四五送・〇四。小形(菊四半截)價・五〇送・〇四。	同
騎兵通信教範草案	陸軍	省菊半截	送價	〇六〇		同
學生軍事教練	齊田仙太郎	壹判紙裝	送價	〇二五	中等諸學校で教へる軍事教練の教科書として作つたもの、ノート代用として極めて要領を得る圖解を施してあるので盛に採用された。	中興館
軍人の習字と書簡	黒柳綱吉	壹判洋裝	送價	〇二五	現役兵に必要な書簡文の例集と習字の手本とを合本にしたものに軍人として必要なる諸願書様式を附して示したものである。	川流堂
軍人文庫	波多野春房	菊半截	送價	〇三〇	第一編は郷里に送りたる兵士の書翰。第二編は名譽心の修養書なり。	同
軍隊衛生教程	陸軍	省四六半截	送價	〇二〇		會兵用圖書社

軍隊教育令	陸軍省 四六半裁	並形(四六判) 價・四五送・〇四。 小形(四六半裁) 價・四五送・〇四。	會兵用圖書社
軍隊內務書	陸軍省 菊四半裁	並形(四六判) 價・四五送・〇四。 小形(菊四半裁) 價・三〇送・〇二。	同
軍隊料理法	陸軍省 四六判	〇二〇	同
軍陣衛生學教程	陸軍省 菊	〇六〇	同
軍陣外科學教程	陸軍省 菊	〇六〇	同
軍陣防疫學教程	陸軍省 菊	〇九〇	同
軍馬衛生學教程	陸軍省 菊	〇五〇	同
軍馬傳染病學教程	陸軍省 菊	〇六五	同
軍馬二對スル兵卒ノ心得	陸軍省 四六半裁	送價 〇〇五	同
劍術教範	陸軍省 菊半裁 菊四半裁	並形(菊半裁) 價・三五送・〇二。 小形(菊四半裁) 價・二五送・〇二。	同

携帶天幕使用法	陸軍省 四六半裁	〇一五	會兵用圖書社
輕便鐵道教範草案 <small>(附錄共全五册)</small>	陸軍省 四六半裁	送價 〇〇八	同
現場檢水法	陸軍省 四六半裁	〇〇五	同
交通教範	陸軍省 菊四半裁	並形(四六半裁) 價・一八送・〇二。 小形(菊四半裁) 價・二五送・〇二。	同
工兵操典	陸軍省 菊四半裁	並形(四六半裁) 價・三〇送・〇二。 小形(菊四半裁) 價・二五送・〇二。	同
梱包積載教範	陸軍省 四六半裁	〇二五	同
刷此一戰	水野廣徳 四〇〇頁 送價	興國の興廢此一戦にあり、日露大戦の死命を完全に制したる日本海大戦の記録、眞に血湧き肉躍る快文字、百數十版を重ね。	博文館
三八式歩兵銃及騎銃取扱法	陸軍省 四六半裁	〇二〇	會兵用圖書社
手旗及單旗信號圖解	小林編輯部 四六半裁	〇一〇	同
四四式騎銃取扱法	陸軍省 菊四半裁	〇一〇	同

出征下士兵卒衛生心得	陸軍省菊半截送價 ●一〇二〇		會兵用圖書社
自動車操縦教範草案	陸軍省四六半截送價 ●三〇二〇		同
野戰重砲兵射擊教範 第一部	陸軍省四六半截送價 ●五〇二〇		同
車載式架橋器材使用法	教育總監部四六半截送價 ●二〇四五		同
銃工教程	陸軍省四六半截送價 ●五〇二〇		同
柔道教育參考書	陸軍省四六半截送價 ●二〇二〇	戶山學校に於て多年研究の上編纂され三百餘種の寫眞版を挿入して其動作を明解したる好參考書であります。	川流堂
職工具及荷造器具取扱法	陸軍省四六半截送價 ●二〇二〇		會兵用圖書社
食肉検査法	陸軍省四六半截送價 ●〇〇二五		同
兵食養價算定用食品及嗜好品分析表	陸軍省四六半截送價 ●〇五二〇		同
關東平野を舞臺とせる 新戦術の研究	井上昌基 四六半截送價 ●一五〇〇	國民軍事教育の新研究として關東平野を背景とせるあらゆる戦術を公開したる天下の秘書愈々公刊中大庭山梨橋本佐藤將軍の監修。	日本書院

新兵修身教科書	海軍省菊判送價 ●一五〇四		會兵用圖書社
赤十字條約解釋	陸軍省菊半截送價 ●〇一五二		同
戰時衛生勤務要覽	矢田軍醫正 菊半截送價 ●〇五四〇		川流堂
戰術戰史講話	伊藤政之助 菊判布裝送價 ●二一三八	國民戦争の今日、戦術の研究は一般國民の要務である、本書は斯界の權威たる著者が軍事教育として東京商科大學學生に講述したる者	同文館
葬儀要覽	小林編輯部 菊半截送價 ●〇二四五	人生最後の典禮として遺族に必要な諸届書様式、手續法、叙位、叙勳、叙爵、通知狀、禮狀其他諸規程を詳記してあります。	川流堂
操舟機取扱法	陸軍省四六半截送價 ●〇二二〇		會兵用圖書社
壯丁のために (海軍の部)	海軍省一〇〇頁裝送價 ●〇二二五	海軍に關する事項を蒐録し海軍在郷軍人の補修教育資料に供するに共一般國民に對して海に對する自覺を促さんと欲するものである	川流堂
壯丁のために (陸軍の部)	田中義一 一四〇頁裝送價 ●〇二二三	一般國民の知られればならぬ一と通りの軍事智識を與ふるのが主旨である故に入營者未入營者とを不論其智識を涵養する好參考書なり	同
體操教範草案	陸軍省菊四半截送價 ●〇四二二	並形(四六半截)價・四五送・〇二 小形(菊四半截)價・四五送・〇二	會兵用圖書社
擔架教程	陸軍省四六半截送價 ●〇三二〇		同

短剣術及應用剣術の研究	陸軍戸山學校 菊洋布 〇頁裝判	送價 一・八〇 一・二〇	陸軍戸山學校多年研究された短剣の用法と銃 劍格闘の際生ずる重なる應用動作を寫眞版に し解釋を記述してあります。	川流堂
鍛工教程	陸軍省 四六半截	送價 〇・五〇 〇・二〇		會兵用圖書
輜重兵馭法教範草案	陸軍省 四六半截	送價 〇・二五 〇・二五		同
輜重兵操典草案	陸軍省 四六半截	送價 〇・三五 〇・二五		同
築營教範	陸軍省 四六半截	送價 〇・一五 〇・二五		同
勅諭勅語寫	在郷軍人會 上菊倍裝判	送價 一・五〇 一・二〇	御勅諭と御勅語を集めた御紋章入の美本であ ります。	川流堂
調劑教程	陸軍省 四六半截	送價 〇・三〇 〇・二〇		會兵用圖書
重砲兵觀測通信法假規定 (全三册)	教育總監部 四六半截	送價 〇・七〇 〇・八〇		同
重砲兵操典草案	陸軍省 四六半截	送價 〇・四五 〇・〇四	並形(四六半截)價・四五送・〇四	同
陣營具定數表	陸軍省 菊布 〇〇頁裝判	送價 〇・九〇 〇・八〇		川流堂

下士陣中衛生心得	陸軍省 四六半截	送價 〇・〇五 〇・二五		會兵用圖書
陣中要務令	陸軍省 菊四六半截	送價 〇・四六 〇・四六	書入用大形(四六判)價・八〇送・〇六 並形(菊四六半截)價・五〇〇送・〇〇四 小形(菊四六半截)價・五〇〇送・〇〇二	同
蹄鐵術教程	陸軍省 四六半截	送價 〇・〇六 〇・〇四		同
敵塞の中から	吉田孫作 興判洋裝 一〇頁	送價 〇・四五 〇・六	「最後の一人迄死守せよ」ミカイセルが嚴命し て世界に堅牢無比を以て誇つた要塞も降伏開 城するに至つた青島俘虜の談話集である。	川流堂
電信教範草案 上、中、下附録	陸軍省 四六半截	送價 三・〇〇 一・八〇		會兵用圖書
傳染病及食中毒検査法	陸軍省 四六半截	送價 〇・一〇 〇・二〇		同
突撃作業教範	陸軍省 菊四六半截	送價 〇・二〇 〇・二〇	並形(四六半截)價・二〇送・〇二 小形(菊四六半截)價・三〇送・〇二	同
吊合戰 一名鑑の西比利亞	田所成恭 兵判紙裝 三七〇頁	送價 一・六〇 〇・六〇	西比利亞に兵を送り、支那のために義を効し たる我日本の働きぶりを、大佐が體驗の熱情 を傾けて描ける快著、一讀奮起を禁じ得ず。	博文館
坑道教範	陸軍省 四六半截	送價 〇・五〇 〇・四〇		會兵用圖書
爆破教範	陸軍省 四六半截	送價 〇・四五 〇・四五		同



馬術教範草案	陸軍省 四六半截	送價	〇・三〇	書入用大形(四六判) 價一・五〇〇 送〇・〇〇六 小形(菊四半截) 價一・五〇〇 送〇・〇〇六	兵用圖書社
馬事提要	陸軍省 四六判	送價	〇・八〇		同
馬匹感	佐々木一雄 一五〇頁洋裝	送價	〇・九〇	馬の心、戦争と馬匹、國民と馬匹、東京の馬匹、馬匹の歌、馬匹の中毒、馬匹の年齢、日本馬の種別、英雄と馬匹、古の馬政等詳記す	川流堂
被服手入保存法	陸軍省 四六判	送價	〇・三〇	軍服の名稱。日常の手入。汚損被服の手入。修理及洗濯法。被服害虫の注意。飯盒及水筒内の錆落法。被服害虫の種類及其概念等詳記	兵用圖書社
兵營の三百六十五日	荒城猛郎 三二五頁上裝	送價	〇・九〇	兵營のその日／＼を詳しく物語り、其の生活を寫し出したもの。有趣有益の書である。	磯部甲陽堂
兵役法要義	中井長太郎 二五〇頁判	送價	一・七〇	徴兵法規を組織的に講述して斯法の原理原則を研究せんとする者並徴兵事務當事者の好參考書であります。	川流堂
砲彈を潜りて	川田切 三一〇頁紙裝	送價	一・五〇	日露海戦砲彈下の偽らざる驗體記、何者にも驚びず真相を直寫せる秘史、この想像を絶した驚異と戦慄の連続的叙述なり。	博文館
步兵機關銃射擊教範草案	陸軍省 四六半截	送價	〇・三〇	並形 價・三〇 送・〇二 小形 價・三〇 送・〇二	兵用圖書社
步兵機關銃操典草案	陸軍省 四六半截	送價	〇・二五	並形(四六半截) 價・二〇 送・〇二 小形(菊四半截) 價・二五 送・〇二	同
砲兵馭法教範草案	陸軍省 四六半截	送價	〇・三〇		同

砲兵 <small>小銃</small> 射擊教範草案	陸軍省 四六半截	送價	〇・三〇		兵用圖書社
步兵射擊教範草案	陸軍省 四六半截	送價	〇・三〇	大形書入用(四六判) 價一・五〇〇 送〇・〇〇六 小形(菊四半截) 價一・五〇〇 送〇・〇〇六	同
步兵操典草案	陸軍省 四六半截	送價	〇・三〇	大形書入用(四六判) 價一・五〇〇 送〇・〇〇六 小形(菊四半截) 價一・五〇〇 送〇・〇〇六	同
步兵通信教範草案	陸軍省 菊四半截	送價	〇・六〇	步兵科のみ新に判定されたるもの。	同
步兵砲射擊教範草案	陸軍省 四六半截	送價	〇・三〇		同
步兵砲操典草案	陸軍省 四六半截	送價	〇・二五		同
磨工教程	陸軍省 四六半截	送價	〇・一五		同
木工教程	陸軍省 四六半截	送價	〇・五〇		同
野戦火工具取扱法	陸軍省 四六半截	送價	〇・三五		同
野戦築城教範改正草案	陸軍省 四六半截	送價	〇・三〇		同

野戰築城教範改正草案 <small>改正案の一部</small>	陸軍省	四六半截	送價	〇三〇	並形(四六半截) 價・四〇送・〇二 小形(菊四半截) 價・四五送・〇二	兵用圖書
野戰重砲兵操典草案	陸軍省	四六半截				
野戰砲兵火工教程	陸軍省	菊四半截	送價	〇三五		
野戰砲兵射擊教範草案	陸軍省	四六半截			並形(四六半截) 價・四〇送・〇二 小形(菊四半截) 價・四五送・〇二	
野戰砲兵操典草案	陸軍省	四六半截			並形(四六半截) 價・四〇送・〇二 小形(菊四半截) 價・四五送・〇二	
要塞火工器具取扱法	陸軍省	四六半截	送價	〇三〇		
要塞砲兵特種火砲操法	陸軍省	四六半截	送價	〇三〇		
要塞砲兵兵器保存法	陸軍省	四六半截	送價	〇〇五		
豫防接種心得	陸軍省	四六半截	送價	〇一五		
喇叭教程	陸軍省	菊四半截	送價	〇三〇	基本演習譜を附す。	

陸軍衛生全書	小林編輯部	三五判 一三〇頁	送價	二〇〇	衛生部員用の各教科書全部に陣中要務令、軍隊内務書、築營教範等を摘要として二十一書を合本とし携帯に便ならしめたものである。	川流堂
陸軍勤務演習規則	陸軍省	四六半截	送價	〇〇五		兵用圖書
陸軍々隊符號	陸軍省	四六半截			並形(四六半截) 價・一二送・〇二 小形(菊四半截) 價・一〇送・〇二	
陸軍刑法	陸軍省	四六半截	送價	〇一〇		
陸軍習令	陸軍省	四六半截			並形(四六半截) 價・二五送・〇二 小形(菊四半截) 價・三〇送・〇二	
訂正陸軍須知	滿田少佐	菊四半截 三〇〇頁	送價	〇八〇	長くも兩陛下の天覽を忝ふし攝政宮殿下台覽の榮を賜つた本書は陸軍各兵科員の心得、入營壯丁現役兵在郷軍人等の好同伴であります。陸軍の法規全集にして全四冊差換式になつてをり、改正加除の追録は毎月發行致します。	川流堂
陸軍成規類聚	陸軍省	菊四半截 二〇〇頁	送價	〇四〇		
陸軍懲罰令	陸軍省	四六半截			並形(四六半截) 價・〇五送・〇二 小形(菊四半截) 價・〇五送・〇二	兵用圖書
陸軍病馬看護法	陸軍省	四六半截	送價	〇二〇		
陸軍兵役法令	陸軍省	菊四半截 三〇〇頁	送價	一・一五〇	徵兵の事務は國軍建設上重要なものである。此法令を集めたのが本書であります。	川流堂



新ロシヤ・パンフレット第六編  
第二新ロシヤ美術大観

昇曙夢  
四六判  
紙装  
一〇五〇

今日西歐に於て驚異の標的となり、異常の成  
功を勝利を齎し得て新時代を劃せる、ロシ  
ヤ亡命美術家の傑作集。所載寫眞百二十八點

新潮社

近代繪畫史論

植田壽藏  
八二四頁  
圖版一三  
送價七三〇

十九世紀繪畫史の偉大なる姿及びその背後に  
味を窺ひしもの。

岩波書店

近代藝術十六講

一氏義良  
四六判  
五〇〇頁  
送價二八〇

近代藝術に就て繪畫彫刻建築音樂等藝術全般  
佛露に跨り各流の主張傾向を文化史的に説く

弘文社

近代の舞臺裝置意匠集

森口多里  
四六判  
四〇〇頁  
送價一〇〇

舞臺裝置の上の現はれた象徴主義的なもの幻  
想的なものと表現派の作品を集めたものである

洪洋社

近代美術十二講

森口多里  
四六判  
四〇〇頁  
送價三〇〇

ラファエル前派、印象派、後期印象派、立體  
派、ゾールテイズム、未來派、表現派、立體

東京堂

藝術概論

黒田鵬心  
四六判  
總布美裝  
送價一八〇

繪畫、彫刻、建築、文學、音樂、劇等藝術全  
般に涉つて流暢なる文章を以て最も通俗的に

弘文社

原始藝術集

田邊泰  
三六判  
三〇〇頁  
送價一〇五

石器時代青銅時代の藝術品を収む石器時代は  
人智の黎明期で幼稚な寫眞に終始し青銅時代は

洪洋社

比較人類學的藝術の始源

安藤弘七  
四二〇頁  
送價三二七

此書は客觀的美學的研究に於て在來の研究方  
法の不徹底を改良し、比較人類學的方法を採

岩波書店

現代美術

板垣鷹穂譯  
一六六頁  
送價三二七

本書は十八世紀末より二十世紀初頭迄の目覺  
極めて困難で且稀なる試みになし注目に價す

同

光悦會

半紙本  
一七五頁  
送價七二七

徳川時代初期の藝術史を飾れる光悦の正確な  
料を蒐集し光悦會之を編廣く世に推す所以也

芸艸堂

古鐔圖錄

工學博士  
大熊喜邦  
一〇〇頁  
送價三二〇

硬化せざる古拙豪宕の味は圖案藝術の妙諦で  
である美術工藝建築其他一般圖案家の好資料

洪洋社

色彩常識

池田元太郎  
一八〇頁  
送價二八〇

色彩に關する根本的の必須事を易説し、之に趣  
味的な解説、海の色さか空の色さか流行色等

丸善

支那上代畫論研究

金原省吾  
五六〇頁  
送價三二七

東洋的立場から見た東洋繪畫思想の研究書な  
り、支那畫を愛し美術を云々する人々に興味

岩波書店

支那南北記

木下李太郎  
五八六頁  
送價三二〇

透徹したる美術眼と之を表現するに適しい才  
筆を載せて支那及び朝鮮全土の古蹟名蹟を行

改造社

寫生畫と構圖

萬富三  
一〇〇頁  
送價二二〇

著者は多年圖畫教授に實際を有する人寫生畫  
及構圖の方法に就て多數の圖畫を以て懇切に

寶文館

絨繡圖案集

田邊泰  
三〇〇頁  
送價一〇五

絨繡は古來東洋のベサントアートとして傑出  
したるもの言はれてゐる本集は回教國地方牧

洪洋社

初代江都八十二景

大錦繪判  
一七六頁  
送價三〇〇

初代廣重の肉筆畫中傑作として定評ある織田  
子爵家所藏品を忠實丹念に手摺にて原圖同様

巧藝社

古渡印度更紗模様

白木屋吳服店  
一七六頁  
送價三〇〇

東京帝室博物館所藏の古渡印度更紗を極めて  
精巧なる木版及原色版を以て原品同様の色彩

同

一絲和尚遺墨集

倉光大愚  
四六四頁  
送價一〇〇

佛頂國師一絲和尚の書畫は氣品高逸にして古  
來珍賞せらるゝこと澤庵江月と同じく其遺

同

近古藝苑叢談	森 大狂	一六〇頁判送	三〇〇	元和以降一技一藝に達する美術家千余名の傳記及其特色逸話等を集録せるものにして日本美術鑑賞家に對し絶好なる参考書であります	巧藝社
信家鐔集	秋山久作	三〇〇頁裝送	五〇〇	幕府士中村覺太夫が集めた信家鐔の拓本百五十個について鐔の大家にして信家の研究家として權威ある著者が懇切なる註を加へたる書	南人社
推古より天平へ	木村小舟	五七〇頁裝送	五〇〇	是れ大日本美術史の第一編であつて諸家の考證研究に重きを置き我國美術の事に關しては細大漏らさず精巧なる多くの圖版をも加ふ	廣陵社
スケッチと漫畫自在	服部亮英	一五〇頁判送	一〇〇	日本漫畫界のオーソリチー、亮英氏が初歩のチキ漫画さばきとくもに書かれたもの、スケッチを高くするには其の資料無かるべからず是に本集の如き必要を見る	紅玉堂
西洋美術史	相良徳三	二五〇頁裝送	二〇〇	エチプトより現代に至る各國各時代美術の發達、特徴を平易に完全に叙したるもの、中等學校美術科の教科書として採用せられて居る	イデア書院
西洋美術史古代家具篇	森谷延雄	四六倍判送	六〇〇	著者は美術工藝研究の立場からエチプト・パピロニア・ピアフシリヤ・ギリク・ローマまでを鮮明な挿畫に依りて詳説す類書絶無	太陽堂
西洋美術史要	板桓鷹穂	二五〇頁裝送	四〇〇	西洋美術史全般に亘り系統的知識と理解を求むる人の唯一絶好の書圖録百二十餘頁を附し周到なる説明を以てす	岩波書店
裝飾文字意匠集	田邊 泰	三〇〇頁裝送	一〇〇	古典主義的手法の認められるもの又はセツシヨンの手法の類はれるもの或は表現主義的手法が自在に扱はれてゐるもの等數種を收む	洪洋社
續近代の舞臺裝置意匠集	森口多里	四〇〇頁裝送	一〇〇	本集は前輯を次げる蒐集である此の二巻を以て舞臺藝術上の過去約二十年間の過程を概観し得るやう編輯したものである	同

太陽を慕ふ者	矢代幸雄	二四頁裝送	一五〇	レオナルドに逢ふ日○悲しき眸○緑色の少年等	改造社
ダンテ神曲畫集	中山昌樹	四六倍判送	六〇〇	世界の詩と文學とに甚大な靈感を與へた神曲三巻を系統的に靈筆を以て描いたドレエの畫集にて繪畫一枚宛に神曲本文と解説を附した	新生堂
圖案化せる實用文字	藤原太一	一四九頁裝送	三〇〇	本書には著者独自の創造的廣告文字の多くに文字の形態の全部を網羅する稀有の好参考書	大鑑閣
圖按の意匠資料	小室信藏	一〇〇頁裝送	五〇〇	先づ古代の象徴標號より基教藝術に用ひたる標號を説き次に藝術上に用ひたる慣例傳説の由來を説き更に其考證に及ぶ	丸善
圖畫教育論	岸田劉生	一〇〇頁裝送	三〇〇	(一)圖畫教育私見(二)我子への圖畫教育(附録)慶應義塾幼稚舎に於ける圖畫教育(附圖五十四)	改造社
圖畫講話資料	東京美術學校 錦 荖 會	一六八頁裝送	一〇〇	文部省主催の講習會に於ける講演にして日本建築(大澤三之助)、鑑賞と作品(白濱徹)日本工藝美術(奥田誠一)の諸名篇を訂正編纂した	大日本圖書會社
自由教育 圖畫指導の實際	若林連二郎	三八〇頁裝送	三〇〇	自由教育の立場より圖畫指導の方法を實際的に詳叙せられたるもの、實に圖畫教授上に新自由畫運動の起した大きな波紋はその行くべき所まで行きついで新しい生氣ある圖畫教授は建設された。本書はその精細を説く	寶文館
圖畫の新指導	山形 寛	五〇〇頁裝送	三〇〇	自由畫運動の起した大きな波紋はその行くべき所まで行きついで新しい生氣ある圖畫教授は建設された。本書はその精細を説く	目黒書店
鐵格子意匠集	田邊 泰	三〇〇頁裝送	一〇〇	鐵格子は門扉、柵、手摺等廣く利用され何時の時代でも建築發展と同じ道を通つて意匠及製作技巧は進歩する本集は最近の優秀作品集	洪洋社
電燈裝飾意匠集	田邊 泰	三〇〇頁裝送	一〇〇	同じ表現主義的作品中でも量の大なるより小なるものに却つて自由輕快な意圖の動きを見らる本集は此言葉を立派に裏書する云へやう	同

刀劍雜話	室津鯨太郎	四二〇頁	三〇八〇	刀劍を文獻的に學術的に研究したるもので、在來の目録書と選を異にした新研究書既に學界から多大の稱賛を博して居る。	南人社
刀工總覽	本阿彌光遜 室津鯨太郎	五五〇頁	三〇八〇	大同年間から大正の今日に至るまで二萬七千の刀鍛冶の時代系統住所其他の關係を一目に分る辭書にして刀劍の戸籍簿として好評の書	同
富岡鐵齋先生遺墨集	横七尺三寸七分	和二三〇	三〇〇〇	明治四十三年以後先生の命に撮影せしもの内二百枚を選び且つ印譜百三十余額を精巧玻璃版にす作畫の進展一目瞭然にして珍なる畫集	坂本書店
東洋畫概論	金原省吾	三八六頁	二一八〇	支那古來の畫論を整理し之れを組織的に論評したる者東洋特有の水墨畫の價值傳統的的精神の由來等を可成り詳しく要領よく説いてある	古今書院
南宗畫法	繪畫研究會	附二解說 二百枚	二〇〇〇	南畫は素人藝術の上乗である、本書は四君子より山水迄の作例圖の秘法と口傳を示せる南畫手引の完璧書である	興文社
少年藝術史	木村莊八	三五〇頁	三〇〇〇	西洋美術の話を歴史の順につれて古代中世近古近現代に分けて分り易く書いた名著で挿畫名畫寫眞版多數挿入した美本である	新生堂
誰にも出来る日本畫の描き方	橋本春陵	一四五頁	一〇八〇	一通りの日本畫を誰にも描ける様になるまで最も懇切に説明し、師なくして自由に描くことの出来る斯道唯一の入門書である	崇文堂
日本美術史	相良徳三	三二〇頁	二二二〇	本書は天平の太古より現代に至るまでの我が美術の歴史、又百數十點の精巧なる挿畫は我が國名畫彫刻の一大展覽場である	イデア書院
自由表現	横井曹一	三〇〇頁	二二〇〇	小學校に於けるベステル畫の描寫を基調とし由な個性を自然環境の中に指導したるもの	目黒書店
花を取扱へる意匠圖案集	森口多里	四〇〇枚	一〇一五〇	英吉利の家具意匠はゴシック時代のものは勿論表面的に受入れる事なく堅實な床しさを持つ	洪洋社

ピアズリ裝畫集	森口多里	四〇〇枚	一〇一五〇	彼の作品の大部分は黑白二色の裝畫であつて何れも典麗な線と點で而も沈靜な情調を特色とする本集は彼が生涯の代表作を収む	洪洋社
美術工藝大觀	美術工藝大觀 刊行會	四六四頁	三〇〇〇	三卷あつて百廿葉を一巻とし彫刻漆塗金工陶磁器染織等古來の名作を網羅せるもの玻璃版二度刷を主とし原色版數葉を加へた高級圖録	同
表現主義の工藝美術集	森口多里	四〇〇枚	一〇一五〇	獨逸に於て最近製作された工藝美術品は意想外な清新さを見せ居る是れ等表現主義的の匠は繪畫と異つて輕やかな鮮やかな氣分に富む	同
表現主義版畫集	田邊泰	三〇〇枚	一〇一五〇	後期印象派發生の裏面に日本古來の木版畫の影響が認め得られそれが又表現主義の新藝術にも可成りな成功を収めてる事は興味がある	同
表現主義版畫集	板垣鷹穂	一八九頁	三二八〇	○ギリシヤ思潮の推移と神像の變遷外四篇(附圖四十葉)	改造社
表現文様集	高梨由太郎	一〇〇頁	三〇〇〇	今や一大勢力をなせる我が表現主義的文様は建築工藝界は勿論店頭裝飾ホスター圖案其他一般廣告用カットの圖案資料として適切無比	洪洋社
ファンホッホ論	赤松義麿	三六〇頁	二一五〇	感傷家、徒らなる感激家の空疎なる議論、そよ此偉大なる畫家の眞の空疎なる遠く。本書によりて讀者は彼の全貌を窺ひ知るであらう。	岩波書店
ペン畫の描き方	榊島勝一	四六六頁	一〇一五〇	我が基礎としてペン畫の第一人者榊島氏が多年の経験初學者の爲に親切丁寧に説いたペン畫手ほどき	弘文社
ポスター圖案集	田邊泰	三〇〇枚	一〇一五〇	ポスターの圖案は他の裝飾美術のやうに傳統的の型にも云ふべきものがないので夫れだけ他のものに自由ささ清新さが窺はれる	洪洋社
マヤ藝術集	田邊泰	三〇〇枚	一〇一五〇	古代埃及の文化の時代に於てメキシコ土人中の一種族マヤは埃及に劣らざる大藝術を持つてゐた近代圖案にも參考すべきものが多し	同

漫畫人物描法	下川 四天	四六判洋装 挿入原色版	一・五〇	漫畫界の第一人者下川氏が初學者の爲に人物肖像の描法を説いた。挿入原色版に於ては、人物の描き方を詳しく解説し、その筆致もよく描かれている。挿入原色版は、人物の表情や動きをリアルに表現している。挿入原色版は、人物の表情や動きをリアルに表現している。	弘文社
漫畫スケッチの描き方	吉岡 鳥平	四六判洋装 拾圖	一・八〇	本書は漫畫を學ぶ人々の爲に、初學者に最も興味ある漫畫スケッチの本質より描き方に就いて挿入原色版に説いた。挿入原色版は、人物の表情や動きをリアルに表現している。	同
ミケルアンゼロ及ミレ	ロマン・ロラン 木村 莊八	六〇〇頁 真装	三・五〇	ロランの靈筆は此の二大天才を評傳して讀者の眼前に生ける人の如く躍如たる。挿入原色版は、人物の表情や動きをリアルに表現している。	新生堂
鳴鶴先生叢話	井原 雲涯	三七八頁 真装	五・〇〇	學書苦心談書の沿革書學者の指針和漢名蹟談。明治大正の翰墨場裡凡十六卷附卷頭年別別作品の肖像寫真卷末小品文詩并印譜三百八類。	昭文堂
メストロウイツ子彫刻集	森口 多里	四六判洋装 刷入原色版	一・〇〇	セルピヤのロダンと呼ばれるメストロウイツの作品は、瞑想的な静穩さ、快く單純化され、柔かに引伸ばされた肉體の輪廓を特徴とする。	同
木工製玩具製作圖集	千葉 憲雄	三四葉 真装	一・五〇	圖は凡て正面面及平面を現はし寸法を明記し、尙一々必要の工具材料等詳しく製作上の要項を付す。感化院小學校工業學校等の手工用教材。	同
モリス圖案集	森口 多里	四六判洋装 刷入原色版	一・〇〇	藝術論と藝術社會主義とで有名なウヰリアム・モリス氏の意匠を、タイル壁紙、絨織、タペストリ、繪硝子、刺繡、書籍等優秀圖案を収む。	同
新用器畫法詳解講義	大村 周二	四五頁 真装	一・八〇	初歩から説明して平面幾何圖法でも、投象圖法でも有らぬ種類の圖法を網羅して、一々鮮明な挿入原色版に入れて詳解してある。模範的好參考書。	金刺芳流堂
レオナルド・ダ・ヴィンチ	グロナウ 板垣 なを	九〇頁 真装	二・三〇	扱はれてゐる對象に就ての充分な把握と正確な洞察とを、尊敬すべき眞面目な態度を伴つて無駄のない叙述に表現されてゐる。	岩波書店

書畫 (法帖)

遺香畫集	谷口 香喬	全一冊 一五〇圖	二・五〇	本書主に歴史畫百五十圖收むる所何れも遺墨展覧會に出展せられたる諸家の逸品にして、畫伯一代の傑作なり。敢て歴史家に推薦す。	芸艸堂
春翠畫譜	山元 春翠	大形本鳥 全六冊	一・五〇	明筆の思致俊爽の筆墨は、恰も嵐翠の如く眉睫を撲ち來る。而も他の諸體一として兼具ならざるは、なほ廣くその座右に置かれん事を希ふ。	同
栖鳳畫譜	竹内 栖鳳	大形本鳥 全八冊	二・〇〇	畫伯多年の快筆本畫一度縹緗、温雅、麗其他に接する如く、其畫の豪宕奇警、温雅、麗其著者が數年苦心して寫生せられたる精巧なる原色版に印刷し、其の眞を寫したるもの各學校及美術工藝家の座右必備の好參考書なり。	同
虫類百姿	西澤 笛畝	刷入原色版 一〇枚	二・六〇	藤原時代より江戸時代に至る衣服文様の逸品百種を選び、精巧なる厚色版及二色版に附し、實物を手にするが如く、斯業家美術家唯一の良書。	同
花小袖	山鹿 清華 岸本 景春	刷入原色版 一〇枚	一・〇〇	彌次郎兵衛喜太八の兩人が江戸は日本橋を振出し、東海道五十三宿に至る所得意の滑稽を演出して行く圖は、又其解説によつて笑はず也。	同
膝栗毛畫帖	十返舎 一 爲信 畫伯	刷入原色版 全二冊	三・五〇	彌次郎兵衛喜太八の兩人が江戸は日本橋を振出し、東海道五十三宿に至る所得意の滑稽を演出して行く圖は、又其解説によつて笑はず也。	同
水彩畫	横井 曹一	三判洋装 三色版	二・〇〇	油繪の先生横井曹一の名は學校間に知られてゐる。本書は、經驗のゆたかな先生の學習法と繪具の作り方を記してある。	目黒書店
油繪・水彩畫・素描の描き方	鶴田 吾一 曾宮 一 念郎	三判洋装 挿入原色版	一・七〇	油繪水彩畫素描を學ぶ初學者の爲めに、洋畫界の權威たる兩畫伯が多年の經驗を基礎として、親切丁寧な説いた。唯一の洋畫手ほどきである。	弘文社
自由クレイヨン習畫帖	クレイヨン 研究会	四六判洋装 挿入原色版	二・〇〇	本書は手本とし、又練習帖を兼ねる兒童の好參考書である。編より十二編迄を平易なるものより上級なるものに分類せり。	網島書店

自由由クレイヨンスケッチ (一より八まで)	丸山 晚霞	四六判 二二頁 送價 二〇〇八〇	研究會 形送價各 一〇〇二〇	網島書店
寫眞のカメラ辭典	櫻井 篤磨	菊半載 三二〇頁 送價 一五〇二〇	藝術寫眞は近來の流行物である。流行におくれば、心掛けるのは亦必要なる事である。本書通俗に寫眞に關する知識を網羅す。	日本書院
忽ち上 實習寫眞術	松山 思水	菊半載 二二〇頁 送價 一〇五〇六〇	露出の速度、現像の仕方、焼付方、引伸法、其の他便利な附屬用具の拵へ方、機械やレンズの撰擇法など、實際的なのが特長。	日實業社
寫眞小話	醫學博士 須藤 憲三	菊判洋裝 二七頁 送價 四一七八〇	コロタイプ刷口輪十六葉、挿圖百三十二個、寫眞に關する理論を説き、且つ實行方に最も丁寧親切なる解釋を施せり。	瓜生濟生館
最新寫眞製版術	鎌田 彌壽治	菊判布裝 四九二頁 送價 四一〇八〇	オフセット印刷とグラデュア印刷をばじめ最近に發達せる高等版術に關する權威的著作技術家にさつては無二の参考書。	博文館
通俗寫眞の原理	ミリス博士 森芳 太郎譯	菊判洋裝 二九六頁 送價 三〇一八〇	ミリス博士の名著を譯述す書冊手頃、シカモ其の基礎的知識が網羅されてゐる。	丸善
藝術趣味の寫眞術辭典	幸内 秀夫	洋珍本裝 三〇餘頁 送價 一〇三六〇	本書は實用的な良小辭典がないから初學者の爲めにイリフ會社發行の寫眞辭典を基として編纂したるものなり。	文祥堂書店
素人寫眞家の坐右へ	高島 恭之助	菊半載判 一六六頁 送價 一〇四六〇	英國チエスタウイリアム・ローズの原著古い問題を新しく説明したものでカメラの使用を以て終始する人に無くてならぬ良師好伴侶。	大日本圖書會社

通俗寫眞術

菊池 勉  
袖珍形裝送價  
六〇六〇

寫眞に關するあらゆる注意諸機械の扱方等を平易簡明に解説したもので何人にも分り易く又技術上に悟入し易きが此の書の特色である

六合館

音樂 歌舞

歌ひ方十講	東京ケイジ夫人 協會 四六判 二六〇頁 送價 二〇八〇	聲樂の大先生であるマルケイジ夫人が自ら其の全譯で非常有益な書物として好評を博す	岡田日榮堂
音樂教育の諸問題	青柳 善吾 菊判 四一四頁 送價 三二八〇	文化と音樂教育、德育唱歌、民謡の教育的主義、兒童の自由作曲等二十六章より成る著者等未解決の諸問題を明快透徹に斷案せる名著	廣文堂
音樂教養への序説	大澤 章 一六判洋裝 一二六頁 送價 一〇〇六〇	嗜好を持ちながら指導者を持たない人の爲の序説で小さい割合に纏まつた深い考察に富んだものでアマチュアにとつても役立つもの	古今書院
音樂巡禮	兼常 清佐 四六判 四六〇頁 送價 二二二八〇	音樂の故郷、ベートヴェンの國、パッサの國で若き日の著者が何を思ひ何を感ぜしかは時代と趣味を同じうする者に興味あるは疑ひなし	岩波書店
音樂概論	田邊 尙雄 四六判 四〇餘頁 送價 三〇一八〇	西洋音樂に關する正確な知識と、音樂の全般基礎的なる知識を與へんと欲する人々の爲に	京文社
唱歌法及發聲法	草川 宣雄 三三〇判 三三〇頁 送價 二〇一八〇	如何に唱歌すべきか、如何に發聲すべきか、この問題に對して最も科學的に合理的に研究せる書、聲樂研究者の唯一無二の好師友	同
詩と音樂と舞踊	小林 愛雄 三三〇判 三三〇頁 送價 二〇一八〇	古今東西の民謡童謡其他の歌謡、叙情曲舞踊曲等に涉り、三者の反撥と融合とを重ねた史的事實と、其の交渉の美的考察を詳述せる書	同
音樂叢書第八編 ヴィオリン奏法の研究	佐藤 謙三 三三〇判 三三〇頁 送價 三〇一八〇	著者の弓の持方すら知らなかつた時代よりの自己の経験を基礎とし、専門家にさへ良師たり好伴侶たる書を提供せんとして完成せる書	同





唱歌・軍歌

歌の唱ひ方	馬場二郎	菊天金函入判 最新美裝	送價 三〇八〇	テトラツイニ原著でその著How to SINGの全譯である。我が國音樂批評家の第一人者たる馬場二郎氏の努力の結晶である。	目黒書店
檢定唱歌集	田村虎藏	菊判布裝 三一〇頁	送價 三〇二〇	文部省檢定濟諸唱歌集から優良なる教材二百種も併せ録す。他に高等科用も編纂せらる。	松邑三松堂
檢定唱歌集	田村虎藏	菊判布裝 三一〇頁	送價 三〇二〇	他に尋常科自一學年至六學年用の出版せらる。本書は其姉妹編なり。文部省檢定濟の諸唱歌集から最も優良なる教材を撰擇せるもの	同
全國校歌寮歌・應援歌	出口競	四音譜六判 二〇〇頁	送價 一三六〇	全國各專門學校高等學校の校歌寮歌應援歌を網羅し、各地中學校の校歌も編入し音譜を附し歌の起源や註釋等も面白く、學生の必携書	文行社
尋常小學唱歌	山本壽	菊判美裝 全六冊	送價各 〇二四五	實際教授の際に「これだけはせよ」教材中であつてほしい。さおもふものに作曲したもので各學年に適當なるは論をまたない。	目黒書店
小學唱歌集	文部省	和四六裝判 三卷	送價各 〇二七〇	文部省音樂取調所の編纂にして全國の小學校て和氣麗々の徳風を涵養す。	大日本圖書會社
大正少年唱歌	葛原貞輔	菊判美裝 九集	送價各 〇二二五	教材の適否は唱歌教材の死活問題である。歌曲の題材を教科書に聯關させ日常生活に接せしむる等好評又好評の歌集。	目黒書店
大正幼年唱歌	葛原貞輔	菊判美裝 全十二冊	送價各 〇二二五	幼稚園と小學校との兒童のために亦さない師友である。こんど十二冊合本が出来ました。定價金二圓五十錢郵税十八錢です。	同
新模範教育唱歌集成	東京音樂會	菊判洋裝 二〇〇頁	送價 〇〇八〇	教材摘要の曲は勿論新しい童謡及新曲等凡て二百三十曲を集めたもの極めて平易に編纂してある。こゝ營利を隔れた機性的の出版なり。	泰文館

洋樂

ついたのやさしい唱歌	厚生閣編輯部	菊判美裝 一一五頁	送價 二〇八〇	作詩・作曲・振付・共に斯道の大家を網羅し兒童が容易に理解して自由に歌ひ、自由に踊り得る作品を特選したものである。	厚生閣
唱歌劇之研究	山本正夫	菊判凡 一〇〇頁	送價 〇〇四〇	唱歌劇が學校教育に必要欠くべからざる理由より説きて作り方演技法等の講義がある其上實習曲「女王冠」等掲出著者は我國歌劇創演者	音樂社
邦樂 ヴァイオリン手びき	町田櫻園	菊〇二倍 八〇頁	送價 一〇〇四〇	從來の樂書とは餘程編纂ふりが變つてゐる本書はむづかしいと躊躇せらるゝ方早く長唄や端唄及洋曲をも味つて見たいと望む方の好著	盛林堂
オーケストラ講話	ヘンダーソン	特裝函入判 三〇〇頁	送價 二五八〇	本書は日本に於て最初に現はれた最も詳しいオーケストラ解説書である。本書を讀まなければ新時代の合奏音樂を知ることは出来ぬ。	岡田日榮堂
ベートン教授の研究	山本正夫	菊〇判 五〇頁	送價 〇〇五二〇	唱歌指揮法即ちタクト棒運用法の解説書で著者は日本の唱歌教授で卒先としてタクト棒を探用し研究した人で説明は最も通俗的の頁書。	音樂社
マンドリン教則本	東京協會	菊倍大判 七四頁	送價 一〇九八〇	世界的に著名なマンドリン教則本の譯本である。第一巻は既に二万部を賣り盡し、第二巻が此度出来ました。各巻同値です。	岡田日榮堂
絃樂器論	山口常光	特裝函入判 一三三頁	送價 二〇〇八〇	ヴァイオリンを始め凡ての絃樂器に關する全般的の事項(歴史、構造、取扱方、奏法等)を多くの寫眞と圖解とを入れて説明せり。	同
作曲法	スタンホード	特裝函入判 三〇〇頁	送價 三〇〇八〇	眞に作曲法らしき作曲法の名著にして在來の無責任極まる小冊子ではない。音樂全般に亘つて詳細に作曲の理論を説いた學術書である	同
シユーベルト	門馬直衛	特裝函入判 一六一頁	送價 一〇一五八〇	古今不出生の歌謡の大作作曲家シユーベルトの全傳である。其名は殆んど知らない人はないが彼の全人格を知つてゐる人は稀だ乞一讀。	同

シユーマン	門馬直衛	四六判洋装 二〇〇頁送	二〇〇	浪漫派の大家シユーマンの全傳。熱烈なる戀の闘争を續けた大作曲を爲し、最後遂にライン河に身を投じた彼の生涯は血と涙である	岡田日榮堂
ハーモニカ奏法	宮田東峰	四六判洋装 一〇二頁送	一〇二	斯界の第一人者たる著者がハーモニカを極く初心の人にも判るやう親切に書かれたもの。	雄大辯會
ハーモニカ妙曲集	町田櫻園	菊半美装 九一頁送	〇五〇	初學者の爲に編纂せる本書は解説丁寧親切に尙ほ最新なる洋曲舞踏曲進行曲等數多を集録し、價額低廉にして美装せり獨學者の理想書。	盛林堂
ピアノ獨奏二十曲集	小笠原良造	菊二倍美装 四二頁送	一八〇	本書は初學者の爲に小笠原先生が特に編纂されたもので、最も適切な獨奏曲二十を選んだもの、必備愛用あれ。	廣文堂
ピアノ聯彈十二曲集	小笠原良造	菊二倍美装 二八頁送	一八〇	本書は初學者の爲に經驗深き小笠原先生が最も適切なピアノ聯彈十二曲を集めたもので、あつても斯學研究者必備玩用の自習良書。	同
ベートーフェン	門馬直衛	菊判洋装 一五〇頁送	一五〇	本書は著者が多年樂聖の傳記と作品の研究に基き從來日本人が只漫然と知れるベートーフェンをハツキリと知るやうに書いたもの。	岡田日榮堂
謡曲評釋	大和田建樹	菊判紙装 二五〇頁送	〇八五	題目をいろは順に並列して全九冊約二千五百頁の中にも添ひ得る用意を盡してある。謡曲目録にも添ひ得る用意を盡してある。	博文館
俗曲	町田櫻園	半紙半装 各四〇頁送	〇二五	節附長唄(十二冊)に續いて本集を出版する運びになり、またお稽古なさる方の備忘もなる様朱入の合の手入り歌は全部假名石版刷。	盛林堂

俗曲文庫	海賀變哲	各四〇頁送	〇二〇	長唄集、常磐津集、義太夫集、清元集富本、端唄及都々逸集、歌澤小唄、を收む。	博文館
節附長唄全集	町田櫻園	半紙半装 各四〇頁送	〇一五	本書は初學者の爲に編纂せる本書は解説丁寧親切に尙ほ最新なる洋曲舞踏曲進行曲等數多を集録し、價額低廉にして美装せり獨學者の理想書。	盛林堂
節付口三味線長唄名曲集 第一篇	小谷青楓	半紙半装 一三〇頁送	〇六〇	猿蓑の如く優美なる假名文字石版二度刷にして猿蓑川五大力ながき夜石橋の十篇を採録す	いろは書房
節付口三味線長唄名曲集 第二篇	小谷青楓	半紙半装 一三〇頁送	〇六〇	第一編の姉妹篇にして、老松、鞍馬山、よひはま、春雨傘、賤機帯、絶頼道行、忍車、ひ安宅の松、娘道成寺、の九篇を採録す。	同
節付口三味線長唄名曲集 第三篇	小谷青楓	半紙半装 一三〇頁送	〇六〇	第二篇の續編にして、鶴龜、若菜摘、小鍛冶外八編を採録す。	同
節付口三味線はうた名曲集	町田櫻園	半紙半装 各四〇頁送	〇二五	節附長唄、清元の姉妹編として出版しましたはうたの地唄を採録したもので、純端唄と小唄と其の上の地唄を採録したもので、純端唄と小唄と歌詞は全部優美なる假名文字石版刷として節廻しの一冊を示し、前弾き合の手口三味線を朱刷にして現示し、歌詞の傍に漢字を掲ぐ。	いろは書房
尺八講義	宇田川孝童	菊判美装 二〇〇頁送	二五〇	近時長足の進歩をなして一躍隆盛の域に達した本邦樂壇の權威たる尺八界に一革新を與へた管家の羅針盤たる抱負を以て編纂する。	教文書院
尺八手びき	宇田川孝童	本送價 一〇〇	〇四〇	自然の儘の數節の竹で妙なる旋律を奏する尺八を解り易く説明せる初學者の最良の手引書	同

琵琶

愛吟 正曲 錦心流琵琶歌獨習	山田流 生田流 琴うた講話	正薩摩 薩摩 圖式の曲譜	薩摩 薩摩 圖式の曲譜	妙曲 大正十五年大改訂 琵琶歌	妙曲 大正十五年歌譜訂正 琵琶新作品集	教育 舞踊 青い目の人形
長井金升	浅尾芳之助	琵琶歌研究会	南波李庵	琵琶歌研究会	琵琶歌研究会	野口雨情作歌 本居長世作曲 眞島睦美振付
中形和装 二七〇頁 送價	菊大和綴 二九二頁 送價	菊判ボケ 二八〇頁 送價	二色六刷 一六六頁 送價	菊判ボケ 三二〇頁 送價	菊判ボケ 三二〇頁 送價	菊判美装 入振付寫眞 送價
●九〇 ●六〇	二五〇 一八〇	●三〇 ●四〇	●六五 ●四五	●四五 ●四五	●四五 ●四五	●〇〇 ●四〇
宗家永田錦心氏の校閱福澤輝水氏の譜附にて なれば初學者にても直に演奏なし得べし。 琴歌は故事に富み難解な爲演奏者概情調を誤 る本書は初手中奥の主要曲三三の解題字解通 釋と曲中人物の物語を古典に據り面白く詳説 益々研究なき素人も自在に愛吟し得る様略 譜附とあれば初めて琵琶手す人の手引草なり 櫻井驛、墨繪を収む。 櫻井驛、墨繪を収む。	櫻井驛、墨繪を収む。 櫻井驛、墨繪を収む。	櫻井驛、墨繪を収む。 櫻井驛、墨繪を収む。	櫻井驛、墨繪を収む。 櫻井驛、墨繪を収む。	櫻井驛、墨繪を収む。 櫻井驛、墨繪を収む。	櫻井驛、墨繪を収む。 櫻井驛、墨繪を収む。	櫻井驛、墨繪を収む。 櫻井驛、墨繪を収む。
網島書店	日本社	河内書店	文陽堂	河内書店	河内書店	大倉書店

童謡 舞踊 十五夜お月さん	赤い鳥 童謡 自第一集 至第八集	赤彦 童謡集	第二赤彦 童謡集	雨情 選作叢書	民謡集 うり家札	お伽歌劇 第一編 舌切雀	お伽歌劇 第二編 足柄山	お伽歌劇 第三編 二ツ團子	お伽歌劇 第四編 花咲爺
野口雨情作歌 本居長世作曲 眞島睦美振付	弘田龍太郎 成田爲三	島木赤彦	島木赤彦	野口雨情	時雨音羽	町田櫻園	町田櫻園	町田櫻園	町田櫻園
菊判美装 入振付寫眞 送價	菊判洋装 各二八頁 送價	端麗装 送價	端麗装 送價	菊判二曲 宛出來六 送價	二〇頁 送價	菊二倍判 入美装 送價	菊二倍判 入美装 送價	菊二倍判 入美装 送價	菊二倍判 入美装 送價
●〇〇 ●四〇	●〇八 ●二〇	●一八 ●八〇	●一六 ●六〇	●〇一 ●一五	●〇八 ●六〇	●一八 ●六〇	●一八 ●六〇	●一八 ●六〇	●一八 ●六〇
本書は十五夜お月さん歸る燕七つの子の三童 謡に眞島先生の振付けせられたもので藝術味 豊かな獨創の新しい舞踊書であります。 所謂童謡の創作と作曲とを創始した、輝ける 童の創作にかゝる三色版挿畫二葉づゝ入り。 子供には子供らしい眞面目さと質實さと根強 さがなくてはならぬ子供のための童謡を集めて立 つて眞に文學と藝術とを兼ねた童謡集である。 感傷的な甘さに訴へたり末梢神經を刺撃して 上江の興味を挑発するやうな童謡は避けられ ばならぬ本書は亡びざる眞の童謡集である。 野口雨情の童謡と民謡中より素朴優麗の作品 を撰み作曲各家の作曲を附して連続出版す る童謡と民謡の新しいパンフレットです。 熱心な民謡の研究家である著者の作品の中から 百廿編を雨情先生の抜粋して賞つたもので書 中うり家札の如きは得難き作であるこのこと 昔々の舌切雀重いと經のつゞららるる處 の群にさうく婆が改心する迄 好評の歌劇 まさか力やらついで金太郎が鯉退治ついで れ山姥と別れを告げて山を下る迄苦心の編曲 轉がる團子と轉げぬ團子二人の爺は同じ鼠の 洞穴でござんた待遇を受けたであらうかお伽大 家久留島氏作歌から脚色して賞讃を得た新曲 お殿様のお花見も折角の花が咲かず面白い踊 りも見度うないさ仰やる所へ自作さモ一人 黒作さいふ老爺花の咲かせ競べの結果や如何	黒作さいふ老爺花の咲かせ競べの結果や如何	黒作さいふ老爺花の咲かせ競べの結果や如何	黒作さいふ老爺花の咲かせ競べの結果や如何	黒作さいふ老爺花の咲かせ競べの結果や如何	黒作さいふ老爺花の咲かせ競べの結果や如何	黒作さいふ老爺花の咲かせ競べの結果や如何	黒作さいふ老爺花の咲かせ競べの結果や如何	黒作さいふ老爺花の咲かせ競べの結果や如何	
大倉書店	赤い鳥社	古今書院	同	米本書店	同	盛林堂	同	同	同

お伽歌劇 第五編	二人浦島	町田櫻園	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一八〇	龜に乗つて龍宮に行き玉手箱を土産に歸つた 前の浦島は是から皇國の譽を擧げに船出をせ んとする後、浦島は面白物語の曲の様々	盛林堂
お伽歌劇 第六編	瘤取り	町田櫻園	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一八〇	最近花月園少女歌劇に上演して大好評、瘤を 取られた佐平爺の喜びその舞振りには苦心の神 樂の一曲、グロテスクな鬼の唄、共には非一奏	同
お伽歌劇 第七編	日の丸柿太郎	町田櫻園	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一八〇	桃太郎ならぬ柿太郎、日本お伽の五大噺を巧 に織込んだ面白愉快な歌劇、是も花月園を巧 其の他少女歌劇に上演して評判を得たものや	同
お伽歌劇 第八編	雪姫	町田櫻園	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一八〇	雪の谷の雪姫は花の都の虚榮にあつたが鳥の 後を慕ふて来たが果して幸福であつたらうか 女生の公演に適した好教訓劇である	同
お伽歌劇 第九編	文福茶釜	町田櫻園	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一八〇	化けた茶釜に驚く納所坊主いで一打の所を助 曲に浮かれた浮かれた無邪氣な歌劇、の嘶子の	同
お伽歌劇 第十編	橋辨慶	町田櫻園	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一八〇	千本目の太刀を得ん、五條の橋に佇む辨慶 快絶な旋律は聞いただけで御存じのお勇壯 來かゝる牛若丸の打合は心躍るばかり	同
お伽歌劇 第十一編	眠り王子	町田櫻園	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一八〇	寝てもくもく眠り足らぬ王子家來の心配を安め て中々起らない、遂に王子は覺めた如何して 可愛いらしく歌劇はこれ！大黒様の御家來の	同
お伽歌劇 第十二編	チューチュー小鼠	町田櫻園	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一八〇	可愛いらしく歌劇はこれ！大黒様の御家來の 來るやうにチューチューから起つた、惠比壽が 鳴呼忠臣楠公訣別の場面より下は湊川の奮戦 一度上演の方々から非常の讃言を寄せられた	同
お伽歌劇 第一編	楠公	町田櫻園	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一八〇	南朝の忠臣高徳が誓固の武士の眼をかすめ櫻 樹に題する二句の詩、夜明けの後、主上の御微笑 その物語を興味ある様公演に適する様脚色す	同
お伽歌劇 第二編	二句の詩	町田櫻園	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一八〇	多門天に祈願する牛若丸に打つてかゝる數多 の小天狗事もせず追拂ふ借天狗は誠の天狗 ならず抑唯ぞ鞍馬山の壯快な曲	同

お伽歌劇 第三編	鞍馬山	町田櫻園	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一八〇	亡き父の首級を見た正行があはれや自刃見え 敵討取らん、かゝる奮起した小楠公が假定の 先づ悲みに嘆く老父母の場面に筆を起し續い て尊が策略につれ八岐の大蛇を退治する凄絶勇 壯の場は曲につれ歌につれ興味津々	同
お伽歌劇 第四編	小楠公	町田櫻園	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一八〇	讀んで面白く演じては尙更面白いのはこの 兒童劇の特色です。しかも有合せの品です ぐ應用出来るやうに仕組んであります	同
お伽歌劇 第五編	八岐の大蛇	町田櫻園	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一八〇	情操的教育の資料として特に國定教科書に連 絡ある題材を採り各學年の兒童に演出せられ る様興味も亦豊富なる様作つたものです	同
學校劇	劇	町田櫻園	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一八〇	學校劇の問題は新教育が當然に創造した大き な獲物である。現代知名の藝術家の總合的 批判意見の結晶を掲げ参考としたものである	盛林堂
學校劇の研究	研究	坪内	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一八〇	本書は著者が兒童の教育と藝術との境地に立 つて音楽その内の律動とを綜合的に振付け られた獨創の童謡舞踊書でありまして在來の 遊戯と云ふ幼稚な気分を離れた藝術味豊かな もの、その上巻はては切に説いてあります	大倉書店
童謡	學校舞踊上	中山晋平作曲 眞島睦美振付	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一五〇	最早兒童に無味な體操訓練を強ひるべきでな はい。舞踏への新生面を開かれねばならぬ。本書 はその要求に應じて熾烈な好評を受くるもの	同
童謡	學校舞踊下	中山晋平作曲 眞島睦美振付	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一五〇	最早兒童に無味な體操訓練を強ひるべきでな はい。舞踏への新生面を開かれねばならぬ。本書 はその要求に應じて熾烈な好評を受くるもの	同
體育	學校舞蹈三十四講	小瀬峰洋	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一五〇	最早兒童に無味な體操訓練を強ひるべきでな はい。舞踏への新生面を開かれねばならぬ。本書 はその要求に應じて熾烈な好評を受くるもの	厚生閣
簡易童話劇集	劇集	町田櫻園	菊二倍判 入美表装譜判 送價	●一五〇	第一編靴の主、第二編はだかの王様、さんさ 第五編幼兒の爲に、第六編にやん太郎の失敗	盛林堂

学校劇集(第二編)	鑑賞童謡集	人買船	一つお星さん	青い空	赤い靴	夢と	子守唄	お人形さんの夢	ペンペン鳥
照井猪一郎	田中末廣	野本口居	野本口居	野本口居	野本口居	野小口松	野本口居	野本口居	小松耕
四六倍判	四六判	菊判木版	菊判木版	菊判木版	菊判木版	菊判木版	菊判木版	菊判木版	菊判木版
送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價
●六〇	●三五	●六〇	●六〇	●八〇	●八〇	●八〇	●八〇	●八〇	●八〇
眞に子供らしき教育的の描き方になつた劇で愛の清き世界ユーモアに富む滑稽味も豊かに包まれて、子供の琴線に觸れる作である。廣く全國に其の優秀作品をあさり此が批評と作法と鑑賞とを暗示せる學年制の良著である	人買船。青い目の人形。九官鳥。日傘。歸る燕。十五夜お月さん。	一つお星さん。七つの子。いたちと雀。鶏さん。象の鼻。四丁目の犬。	青い空。燕。雨夜の傘。でんく蟲。雀の酒盛り。呼子鳥。	赤い靴。山彦。三ヶ月さん。姥捨山。朝鮮館屋。眠り龜の子。	夢さり。おじやれ椿。つげ子。十と七つ。雲雀の水汲。雀の機織り。	子守唄。櫻と小鳥。乙姫さま。葱坊主。藪の下道。はぐれ鳥。	お人形さんの夢。釣鐘草。啼いた雉子。芒の穂。お馬のお耳。草遊び。	ペンペン鳥。螢のお使。仔牛。赤い小馬車。紅がら蜻蛉。さみだれ。	
集成社	同	金の星社	同	同	同	同	同	同	同

金の星童謡曲譜集(9)	あの町この町	金の星童謡曲譜集(10)	名所めぐり	金の星童謡曲譜集(11)	夢のお国	児童劇十八篇	児童の王国	学校劇集(第一編)	首途の前	家庭小公子	スクールダンス	
野山口晋	野山口晋	野本口居	野本口居	野藤口井	野藤口井	三宮浦川	三宮浦川	澤柳禮次郎	川上四郎	眞島睦美	眞島睦美	
菊判木版	菊判木版	菊判木版	菊判木版	菊判木版	菊判木版	菊判木版	菊判木版	菊判木版	菊判木版	菊判木版	菊判木版	
送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	送價	
●八〇	●八〇	●八〇	●八〇	●八〇	●八〇	●八〇	●八〇	●八〇	●八〇	●八〇	●八〇	
あの町この町。雀踊り。木の葉のお船。高野山。鼠のお母さん。證城寺の狸囃。長柄の橋。柱ぐり。阿彌陀池。宮城野の萩お乳給。石山寺の秋の月。夢のお国。櫻の歌。沙の数。兎が来い。銀の鈴。猫さんお手まり。讀方教育は劇化のための方便ではないが然し劇化によつて教材は一層に輝く。著者の苦心に成つた本書は蓋し小學教育界の一大收穫。幼稚園、小學校の児童達に適した、無邪氣で上品で、可愛らしい、而も家庭で簡単に出来る児童劇十八篇。	児童劇の教育的價值及心理的根據が本書に依りて極めて鮮明に述べられ有名なスタンレー・ホール博士の推薦おかげで著者として名高い。劇作家として教育の實際より著者がかの桃太郎鬼島征伐の門出一時間前の勇まじき光景を描き出した興味ある學校劇である。	斯道の大家眞島先生が國定讀本の唱歌に動作遊戯を振付けられたもので各學年に分つて説明と競争遊戯、補綴、行進遊戯を附したり。米國女流作家バネット夫人一代の傑作小公子を翻譯して家庭劇に仕組み家庭の讀物として家庭的の観物として興味深きもの。	歩法・遊戯ダンス、競技ダンスダンス用語解説を施す振付研究家の見逃すべからざる好著									
金の星社	同	同	同	同	同	厚生閣	日實業社	集成社	同	大倉書店	日本書院	櫻木書房

童謡の鈴	河野伊三郎	一六六頁	送價	一・六〇	奈良女高師附屬小學校にて出した雑誌「伸びて行く」等に掲載された童謡をとり、一々鑑賞に必要な解説及び批評を加へたもの。	イデア書院
創作遊戯と童謡曲	日本児童音楽協会	四六六頁	送價	〇・四〇	寫真入で動作の各順序を説明し共に挿入し、それに童謡曲と対象し何人にも直ぐ會得出来る様工夫されたもの。	集成社
花子さんと鳥	町田櫻園	本譜略譜判入美表装	送價	〇・四〇	なまけ者の花子さん、今日も學校休まうか、足なげ出した草原へカアカア鳥が二羽三羽、ごんな事から學校へ行きますか此の曲々々。	盛林堂
燈臺守の娘	町田櫻園	本譜略譜判入美表装	送價	〇・四〇	吹き荒れる風さ波、あれ難波船から叫ぶ聲、ポトを漕ぎ出す可憐の少女その手に助けられた水夫の喜び、先づ本書を取つて唄ひ賜へ	同
雪の森	町田櫻園	本譜略譜判入美表装	送價	〇・四〇	本曲は矢張り可憐の少女姉妹の無理を無理とせず踏み分けて入る雪の森十二月の神前に出逢ふさいふ少女向きの好対話劇。	同
なまけ雷	町田櫻園	本譜略譜判入美表装	送價	〇・四〇	雷にもなまけ者が居るさ見えます、折角夕立に当たってまんま落ちて上も出来ず、からかされてペンなかく滑稽なかも面白い歌曲	同
狐とかかし	町田櫻園	本譜略譜判入美表装	送價	〇・四〇	歌劇に上演して多大の賞讃を博した喜劇、山田の中一本足のかかしがノコノコ動き出して狐を捕へるそのか、こは誰でしやうか。	同
俄人形	町田櫻園	本譜略譜判入美表装	送價	〇・四〇	少女方の試演に好適の書です。お友達の人形留守の間にノコノコ動いて眠つてしまつた。	同
黄金の斧	町田櫻園	本譜略譜判入美表装	送價	〇・四〇	二人の樵夫それは白と黒とも云ふべき老爺正直な方は黄金の斧慾張爺は元の通り水の神様蛙の活躍少年少女方の御會合には非上演を。	同
兎と狼	町田櫻園	本譜略譜判入美表装	送價	〇・四〇	兎をねらふ狼さてこわや、そのねらはれた兎は如何して助かつたか折角ねらつた狼は何故兎が捕れなかつたかイソツツア物語を脚色。	同

魔の池	町田櫻園	本譜略譜判入美表装	送價	〇・四〇	魔の池、何んさいふおそろしい池、鬼が出る夫は本當でしやうか主人を欺す従者が果して欺し終つたか、少年少女教訓的唱歌劇。	盛林堂
鳩の宮	町田櫻園	本譜略譜判入美表装	送價	〇・四〇	やさしい小娘、哀れな小娘、此の小娘に救はれた鳩と老婆をして小娘は鳩の宮へ、あ、樂が響く、樂が響く、鳩の宮から、曲よ歌よ。	同
猿の裁判	町田櫻園	本譜略譜判入美表装	送價	〇・四〇	肉を拾つたワン、二匹づつちも慾さ慾の鉢合せ所へこれ悪智恵の猿が赤い面を出してその裁判その滑稽さ面白さおかしさの歌曲。	同
梟と鶏	町田櫻園	本譜略譜判入美表装	送價	〇・四〇	夜見えぬ鶏書はめくらの梟、こゝから話が始まります、梟のいたづらは曉の空に共にかたきなさらる御子さま方の會合の際餘興劇。	同
小鳥の宿	町田櫻園	本譜略譜判入美表装	送價	〇・四〇	かわいそうな小鳥さん、羽をいためた小鳥さん、お宿をさがしてあるいたが、どの木もどの木もおこぼしは、どこで一夜を明すやら。	同
お伽集 チャンケン國	澁澤青花	本譜略譜判入美表装	送價	〇・二〇	本書は圖書館協會よりの推薦の児童書で、歌劇集である。	日實業社
童謡踊小雀	町田櫻園	本譜略譜判入美表装	送價	〇・一四〇	小雀の他櫻散る夜、ピョンピョコ蛙の二編の童謡民謡がある何れも實際に演じて好評を博せるものなり、各種の會合には最適の踊。	盛林堂
童謡劇(第一集)	篠崎徳太郎	本譜略譜判入美表装	送價	〇・七〇	著者の實驗に基けるもの。徒に机上の空論に的に取扱れて居るかが正確に窺はるべし。	三共出版社
童謡劇(第二集)	篠崎徳太郎	本譜略譜判入美表装	送價	〇・八〇	童謡劇第一集の公刊せらるゝや全國各校より更に斯道識者の批判を請ふことなれり。	同
童謡教育論	野口雨情	本譜略譜判入美表装	送價	〇・四〇	童謡と教育との一致に基礎を置いて童謡についてありやうな方面に考察を與へたパンフレットであります童謡作法講話も出來せり。	米本書店

童謡新曲 第二集	童謡新遊戯	童謡と綴方	童謡と童心藝術	細目式童謡名曲の教へ方	童謡遊戯 第二集	童謡遊戯 第二集	日本童謡選集	入繪 ねんねの小雀 童謡と其味ひ方																					
葛原耕輔 四六倍判 送價 一・二〇	久保富次郎 菊判洋裝送價 二・五〇	千葉春雄 菊判洋裝送價 一・八〇	野口雨情 菊判洋裝送價 一・八〇	小林花眠 菊判洋裝送價 一・九五	時高庸紀 菊判洋裝送價 二・七〇	葛原耕輔 菊判洋裝送價 一・五〇	一流大家 菊判洋裝送價 一・五〇	久保田宵二 菊判洋裝送價 一・二〇																					
第一集なくした鉛筆ばう 送價各一・二〇	第二集お月さん遊ばう 送價各一・二〇	第三集お山は赤い 送價各一・二〇	上品優雅な表情遊戯で學校教材として情操教育に理想的遊戯書各曲にピアノ伴奏曲譜を添ふ	現代兒童が藝術への憧憬を失ひつゝあるを慨し彼等の純なる人間性を擁護する爲、情操教育たる童謡と綴方の新意義を指導提唱した。	童謡の本質たる童心藝術の極致に説き起し自家自選の童謡を鑑賞の材料としてあげて童謡に關聯せる他の一切にまた説き及んでゐる	童謡の歴史的發展を述べ童謡の本質並に教育に導くまでの關係を論じ童謡の初歩教授より獨創に學校の唱歌教授界が、多數の歌曲を提供し究收録して教材選擇の標準を示せる書である	葛原氏最近の傑作に小松氏の名曲を添へ印牧氏特有の輕快なる振付を百餘の寫眞版を挿入して說明を施したるもの幼兒教育家の必讀書	葛原氏最近の傑作に小松氏の名曲を添へ印牧氏特有の輕快なる振付を百餘の寫眞版を挿入して說明を施したるもの幼兒教育家の必讀書	純眞なる童心より流露せる詩趣洵に掬すべき選されしもの。野口、西條、葛原四氏の嚴	童謡とはなんぞものか！之を最もよく味ひ又た兒童は勿論論教育者父兄の一讀に値するもの	本樂譜は月々第一集宛發行して行く、毎集野口雨情、濱田廣介兩氏及作曲は成田爲三、中山晋平、山本正夫氏が執筆する作曲集。	童謡の正しき觀念を造り童謡を自由に創作し得るまでに導きたる兒童に對する唯一の手びき而して作曲は有名なる松島養子先生の名曲	古代希臘舞踊よりタルクローズに至る西洋の舞踊と舞樂より舞臺舞踊に至る日本の舞踊史とを述べた及歌劇全般に亘つて説く挿畫豊富	童謡劇「三つの願ひ」は「狼の教訓」等六篇より成る何れも舞臺裝置の略圖を添へてある。たゞ讀んでも面白い。	我國津々浦々にまで歌はれてゐる三名曲に振付をなしたる名著動作は優美な日本舞踊に西洋舞踏の長所を加味し尋常高學生に適當す	少年少女劇に多年の經驗を有する著者が最近の傑作集で對話十一編、お伽歌劇八編を收め、巻頭に草川信先生の作曲を添ふ。	柔道原理を説き、傍らに其形全般の連續技術を寫眞版にて闘技の實際を説明しあれば初心者及び研究者に取りては絶好の良書なり。	一高式野球!! 精神的!! 猛練習!! 其意氣に於て敵に勝つての意である。本書は一高式野球の精神修得書と見るべきもの。	表情の變化を示す多數の寫眞は解説と相俟て理解を易からしめ遊戯教本として今迄にないもののです學校家庭に是非一本を必要とする。	目黒書店	教文書院	厚生閣	同文館	博進館	京文社	櫻木書房	同	日實本業社	松陽堂

童謡新曲 第一集	童謡の雲雀のやうに	舞踊及歌劇大觀	童謡劇 三つの願	名曲舞踊	對話と歌劇集 森の月	遊戯	遊藝	有馬柔道教範	一高式野球	遊戯動 をさなごのうた
成野田爲三 四六倍判 送價 一・四〇	小林花眠 菊判洋裝送價 一・九〇	坪内士行 菊判洋裝送價 一・二〇	小山内薫 菊判洋裝送價 一・六〇	室崎季雄 菊判洋裝送價 一・三〇	瀧澤青花 菊判洋裝送價 一・五〇			有馬純臣 菊判洋裝送價 一・三〇	中野武二 菊判洋裝送價 一・四〇	茂木由一 菊判洋裝送價 一・五〇
小學之友社	博進館	東京堂	イデア書院	櫻木書房	日實本業社			河内書店	文陽堂	教文書院



教育 遊戯 クロス・ワード教本 (上級版、家庭版、少年少女版)	本山桂川	四角版 八頁送	五〇四	世界的の智的遊戯であり、懸賞問題の解決は 勿論、家族主義の課外育兒資料として、眞に 圓滿そのものの教本であります。	崇文堂
クロス・ワードの 考へ方と作方	本山桂川	一〇頁送	〇〇六	クロスワードパズルの意は、交叉した考へ物 は、其正則を説ける智慧の泉源。	同
クロスワード練習カード (第一、二、三輯)	本山桂川	二角版袋入 四頁送	〇三〇	クロスワードの練習用として、其答案と新題 の作成に絶好の師であり友であり、殊に動 物知識を兒童に授ける趣向があります。	同
圖解 劍舞術新教範 附 劍道極意教範	河内義光	三〇餘頁送	〇五〇	武士道精神の教養に柔道劍道續きて劍舞術あ るが、現代青年よ祖先が國家堅城築きける詩想へ 養ふ現代青年よ祖先が國家堅城築きける詩想へ	河内書店
最新 銃 獵 網 要	鈴木俊行	四〇餘頁送	二五八	銃獵に關する總ての事實を理論と實際とに巨 銃獵に關する總ての事實を理論と實際とに巨 銃獵に關する總ての事實を理論と實際とに巨	二松堂
銃 獵 秘 訣	菊地修一郎	二七六頁送	〇二四	銃獵に興味を持つ人、銃獵に上達せんとする 人の必讀書、銃獵の知識より始めて獵犬の訓 練法に至るまで圖解を附して詳述す。	博文館
スキーとスケート	鐵道省	二九八頁送	〇五八	休日行樂者の爲にするスキー地、スケート地 の案内書として編纂せられ、スキー、スケ トに關する一般知識の解説をも十分にす。	同
四十八 手圖解 撲 道	江東園主人	一〇餘頁送	〇三〇	本書は我國の國技相撲道四十八手の手捌を圖 解にて解釋しあれば初めて學ぶ者にも此書 で平易に相撲道へ入門し得る教養の良書なり	河内書店
壯快なるスキー術	近衛直麿	一五五頁送	〇三〇	本書の著者は華胄界の新人スキーの練達者、 細懇切、初歩の人にも良く解る好手はごき。	日實業社

茶 道

茶道と香道	水原翠香	三六四頁送	〇二八	家庭百科全書第五篇、婦人の嗜みとして心得 べき事ながら容易に入り難き感ある茶道と 香道も本書一冊あれば立派に通曉し得る。	博文館
-------	------	-------	-----	--	-----

生 花

投入花と盛花	近藤正一	三和紙和装 二〇頁送	一五八	新時代の華道の粹は投入花と盛花に蒐まれる の観があり、本書は其習ひ方觀實挿方實例 など所謂師匠の奥儀を不殘公開したものです	松陽堂
花の生け方	子爵 松平宗圓	四六頁送 三〇頁送	二〇〇	著者は前の昌子内親王及房子内親王の兩殿下 珍重せられる松平不味流を公開せられ、世に最も	日實業社

圍 碁 將 棋

圍碁襲撃戦法	瀨越憲作	一和紙 〇八頁送	二〇〇	瀨越六段は敵陣を襲撃して之を突破する戦法 を創定せられ、其機略縦横の秘術に依り戦敗を 轉じ勝利を得せしむる快著である。	大阪屋號
原理 圍碁定石講義 實用 實戰鬼手録	廣瀬平治郎	二美濃 一八四頁送	二三八	互先定石の變化を著者獨特の精細に講解し又 實戰上唯一の『鬼手録』を合卷せるものなり。	同
新圍碁はめ手	瀨越憲作	一和美濃 〇三頁送	一五〇	圍碁の定石以外に奇計なる手段を順序を逐ふ やう詳細に説明し初心者に其變手段にカ、ラマ な規定の知らない方への圍碁の憲法である。	同
打碁と要領	野澤竹朝	二二冊紙 三三頁送	二二八	定石や配陣の通でも其定石の目的使用の機 會、着手の意義、利害の岐る、所の最も必要	同
極意 置碁互先定石	鈴木爲次郎	一和紙 三四頁送	〇二四	本書は圍碁を知らざる初心者にも圍碁の定石 一般が直ちに會得されるやう親切丁寧に講述 したるものなり。	同

極意打碁	鈴木爲次郎	一和半紙	一〇〇頁	送價	一〇〇	四〇	本書一巻にて九子局より先子局の著者實戦をものの両者の秘録なり。	大阪屋號
布石置碁必勝法	雁金準一	一和美濃	一五五頁	送價	一	二八〇	置碁の本源四子五子局の兵法を講解して布石より戦争の進んで攻合ヨセに到る迄の戦法を三百圖に解説したるものなり。	同
自六子上手の泣手附實割篇	小岸壯二	一和美濃	一〇〇頁	送價	一	〇四〇	初學者にも名人大家に必勝容易なるやう著者陣容法より攻守の自六子局至九子局に至る各陣容法に解説したるものなり。	同
舊幕府御秘藏碁戰	本因坊秀哉	八和美濃	四〇頁	送價	一	〇〇〇	舊幕府御秘藏に成られる碁戰に本因坊秀哉師が懇切に解説評して名人大家の棋風を初學者にもよく分るやう説明せしもの。	同
現名家碁戰	本因坊秀哉	各和半紙	二〇〇頁	送價	第二	二八〇	現今の名家が各得意の得意を發揮せる妙策の碁戰に本因坊秀哉岩崎健藏中川龜三郎氏の講評を附してある。	同
將棋此の一手	關根金次郎	一和美濃	一五九頁	送價	一	〇〇〇	將棋の平手より、左香落、角落、飛車落、二つて勝敗の岐る、棋法の極秘を圖解せり。	斯文館
口傳實戰虎の巻	雁金準一	一和美濃	一三六頁	送價	一	一八〇	互先の奥儀口傳を講解せるもの第一四隅に於る黑白兩軍攻守の軍略、第二全局面に於ける兩軍の配備と攻防の定理、醜戦中の侵略手段	大阪屋號
秘傳草薙の巻	雁金準一	一和美濃	一五九頁	送價	一	〇四〇	實戰虎の巻の姉妹巻にして置碁の定石の極意を説明せしものなり。	同
將棋必勝法	木見金次郎	一和美濃	一七四頁	送價	一	〇〇〇	必死法、必死逃れ、兩必死、詰物、實戰棋譜の棋譜に木見八段が講解を附せるもの。	斯文館
將棋百戰百勝	川井房郷	一和美濃	一五四頁	送價	一	〇八〇	將棋定跡の六枚落、五枚落、四枚落、二枚落、飛車落、飛車落、角落、香落より平手に至る迄各流各種定跡通の川井七段が講解せるもの	同

珍手將棋はめ手	將棋新報社	一和美濃	一〇八頁	送價	一	〇八〇	敵が定跡以外の變手段にて來りたる時又は敵に奇計手段にて對局せんさせば先づ「はめ手」によりて其秘法を知らざる可らざるなり。	斯文館
定跡將棋秘法	土居八段	全和美濃	一〇一冊	送價	一	〇五〇	此書は土居八段が熱心なる新研究に依て古人以外の名法良案等を披瀝し此一巻全部にて駒落だけを講述せられし程の詳細懇切の者なり	文祥堂書店
初習將棋道しるべ	土居市太郎	一和美濃	一〇七頁	送價	一	〇七五	將棋は素人同志で無筋に戦つては幾年たつて舞ふ故に本筋の研究が第一本書初心者の手引	同
互先定石新法全	中川龜三郎	一和美濃	一七六頁	送價	一	一六〇	置碁定石には大斜、頂、挾、互先の定石には高目、高懸、目外、小目挾等に詳細なる解説を加へ附録三子二子先子局の著者實戦等	大阪屋號
三子新式布石講話	中川龜三郎	一和美濃	一四七頁	送價	一	一八〇	互先局に亞いで廣地にして變化最も多い二子局(四十七局)三子局(二十二局)を初學者の爲めに各著者の意味より明快に説明せり。	同
新進爭覇戰	瀨越憲作	一和美濃	一〇三頁	送價	一	〇九〇	本書は加藤小岸小野田藤田岡向井等現代新進の碁客が全力を傾注せる血戦記にして之れに瀨越六段の講評一手々々明快に附せり。	同
碁先手必勝法	鈴木爲次郎	一和美濃	一〇三頁	送價	一	〇八〇	先手必勝は名人なり、本書は先手の最も面白き戦法を講解せる高等棋書なり。	同
定創大斜定石法	野澤竹朝	一和美濃	一〇三頁	送價	一	一八〇	碁聖秀策師の大斜秘傳を基礎とし野澤五段が五ヶ年苦心の研究に成れる大斜の神秘を公開せる大著述なり。	同
名家詰將棋妙手選	將棋新報社	一和美濃	一〇八頁	送價	一	〇七〇	實力養成に最も必要なる詰將棋にして本書には名人大家の傑作、大作、正扱、奇法、巧緻、異例、曲詰、形象等の珍局百番を精選せり。	斯文館
口傳手ぬきの巻	本因坊秀哉	一和美濃	一〇六頁	送價	一	〇八〇	奇策縱横の裏を搔く手ぬきの口傳(くでん)名人本因坊秀哉師の獨創にかゝる新道革命の妙手説き盡して餘蘊なし。	大阪屋號

圍碁 獨習速成法	野澤竹朝	一和半 〇二紙 頁裝判 送價	〇九 四〇	著者が日常教授の口述碁形を其儘揚げたもの で之から碁を覚えやうとする人又は極く初 學者の獨習速成法であります。	大阪屋號
圍碁 中の定石	鈴木爲次郎	七和半 七紙 頁裝判 送價	〇七 四〇	六目以上の必勝定石であつて、中央の置石を 保持するのみでなく隅の地をも活かす新法で ある。	同
圍碁 此の一手	高橋清致	一和半 一五紙 頁裝判 送價	〇九 四〇	著者多年苦心の餘漸く成れる圍碁勝敗の魂た る極秘の一手を其變化も初學者に分るやう 丁寧に説明せしものなり。	同
平手相懸定跡奧義	大橋柳雪	和四 六裝判 送價	〇八 四〇	名人宗英師の相懸集が既に大歡迎され居る處 に此奥義は其裔孫柳雪師が一層精密の研究を 重ね門外不出の秘書としてありしものなり。	文祥堂書店
平手相懸定跡集	大橋宗英	和四 六裝判 送價	〇八 四〇	將棋定跡の第一名著たる家元宗英師の本書は 凡そ勝敗の秘訣は一手でも見通す處が無い。 互先局の極めて難解なる戦争法を最初の布石 法より説明して順次戦争、更らに進んで攻合 法、ヨセに到るまで親切に説明せられたり。	同
圍碁 布石攻合法	中川龜三郎	一和半 七二紙 頁裝判 送價	〇二 二八〇	互先局の極めて難解なる戦争法を最初の布石 法より説明して順次戦争、更らに進んで攻合 法、ヨセに到るまで親切に説明せられたり。	大阪屋號
圍碁 布陣挑戰法	中川龜三郎	美濃 二冊 九六頁 函判 送價	二二 二八〇	布石攻合法の續篇にして八十餘局の布石法よ り進んで挑戰法更に進んで進撃猛襲突破等精 細に説明せるもの。	同
撞球 たまつき術	小和田嘉一	四三 二頁裝 送價	一〇 四八〇	本書一冊讀めば撞球の興味と上達と俄に促進 せらるゝだらう、圖解にも歐米書に見ない獨 創の説明を加へてあるものが多い。	博文館
撞球 玉の撞き方	東山昌川	四三 三頁裝 送價	一〇 二〇〇	總て平易なる文章で寫眞凸版百餘個の圖解を 以て説明解釋したるが故に如何なる初心者 にも必らず上達する事極めて容易なり。	博進堂

家政

愛兒入學後父兄の用意	加藤末吉	四一 九〇頁 函入 送價	一〇 五八〇	愛兒の入學前の用意として二十八項に亘り細 説し、入學後父兄の用意として二十七項を舉 げ、附録として、まゝ親まゝ子の教育を論ず るの種類、子供の性質、矯正者の實力、積極 的に誘導、矯正者心得十項、研究の必要等につ いて詳説されたもの。	日實 本業 社之
愛兒の學力を進む工夫	加藤末吉	四一 九〇頁 函入 送價	一〇 五八〇	讀本の實力養成、算術の實力、綴方書方の實 力を試験準備、特殊の兒童等を説き附録とし て愛孫の躰け方を説く。	同
愛兒の躰け方	加藤末吉	四二 〇四頁 函入 送價	一〇 五八〇	こつつけの手はじめ、親の實力、癖性と思慮、 養ふべき感情、言葉づかひ、慰安の仕方、興 味の轉換等につき親の心得べき事の總を説く。	同
我子の躰方叢書第八篇 愛兒の躰け親のたしなみ	加藤末吉	四二 〇六頁 函入 送價	一〇 五八〇	愛兒を善良に躰けるには親は如何なるたしな みを持つべきかに就いて世の親達に與へた立 派な参考案である。	同
新らしい應待の仕方	樋口麗陽	四二 〇〇頁 函入 送價	一〇 五八〇	外交をするにも人と交際するにも商賣をする にも何れも相手方の心理を掴み人情の機微に觸 れた巧妙な應待辯舌座談の秘訣は本書にあり	二松 堂
嫁入 育兒の巻	醫學博士 加藤照磨	四二 〇〇頁 函入 送價	一〇 五八〇	哺乳兒の榮養、小兒の衛生、初生兒の疾患、 神身病、消化器病、呼吸器病、泌尿器病、腦 神經病、傳染病等の總に亘つて細説す。	日實 本業 社之
爲めに 歐米を訪ねて	田子靜江	四二 〇〇頁 函入 送價	一〇 五八〇	本書は田子靜江女史の新著で、愛兒の爲に彼 地の家庭、育兒法等を詳細に調べて來られた ものなり。旅行記を兼ねた愛兒教養の好資料。	寶 文館
親ごころ子ごころ	田中芳子	四三 〇〇頁 函入 送價	一〇 五八〇	親の命は子供で、子供の命は親である。この 大切な關係は何時始まつて、何時終るか、子供 に盡す親の義務就中子供を育てる眞髓を説く。	同 文館



婦人衛生の巻	母子	日本女禮式大全	田園家政學研究	女中使ひ方の巻	生活改造問題批判	生活改善の研究	生活改善講演集	これからの室内裝飾	娯樂の巻
醫學博士 相馬又二郎	文學博士 下田次郎	坪谷善四郎	片岡重助	加藤常子	佐々木吉三郎	文部省主催第一輯 講習會	文部省主催第一輯 講習會	森谷延雄	齊藤鹿山
四六判 洋裝函入 二一〇頁	四六判 洋裝函入 二一〇頁	菊判布裝 五九〇頁	四六判 洋裝函入 二一〇頁	四六判 洋裝函入 二一〇頁	四六判 洋裝函入 二一〇頁	四六判 洋裝函入 二一〇頁	四六判 洋裝函入 二一〇頁	四六判 洋裝函入 二一〇頁	四六判 洋裝函入 二一〇頁
送價 一〇五〇	送價 一〇五〇	送價 二一四〇	送價 三二五〇	送價 一〇五〇	送價 一〇七〇	送價 一〇八〇	送價 一〇八〇	送價 三二五〇	送價 一〇五〇
婦人一生の衛生を説く。幼児より少女時代、結婚生活から妊娠分娩に對する正確なる知識、又は花柳病や更年期の衛生を説く。	『胎教』の姉妹篇で、『母の意義』、『母の情』、『子の思ひ』、『子女の教養』などに分説して母の自覺を喚起してあります。	結婚葬祭大禮より日常の瑣事に至るまで凡そ儀禮式の標準書と稱せらる。	内容田園の住居、田園の食物、農民の衣服、田園の衛生、田園に於ける育兒、養老、農村の家政、田園の文化的施設、田園の社會生活	下婢の地位、昔の女中、今の女中、女中仲介を説き附録として一家の年中行事を説く。	高遠の眼界精緻の識見を以て國民に愛國愛世の生活難問題に立るに解決を見ん。	生活改善には婦人の覺醒を要するとの見地から講演せられた學校主事や斯道大家の說を収録したもので婦人必讀の書である。	文部省主催第一輯の講演集であつて各専門家が俗的に論じたものである。	支那から臺所までどこをどう裝飾し設計したならぬ本書は此の意味で成れる良書挿繪豊富	まづ園藝より説き起し、繪畫、琴、尺八、三味線、室内遊戯、旅行、小鳥、金魚の飼養等を説く。
同	日實本業社	博文館	教佑社	日實本業社	同	同	大日本圖書會社	太陽堂	日實本業社

婦人の力と帝國の將來	増補模範家庭	藥局と實驗てすぐ出来る化粧品製造法	理想の家庭	禮式と作法	禮法の巻	愛らしい子供服	新しい子供服の裁縫	新しき裁縫
中川謙二郎	鳩山春子	山添長四郎	小林篤里	佐方鎮子	下田歌子	西村光惠	尾崎芳太郎	奥田艶子
菊判洋裝 三〇〇頁	菊判洋裝 二六四頁	菊判洋裝 一六〇頁	四六判美裝 一〇〇頁	菊判和裝 三三八頁	四六判洋裝函入 三〇六頁	菊判布裝 三〇八頁	菊判函入 二〇二頁	菊判布裝 前後二冊
送價 一七〇〇	送價 一〇二〇	送價 一〇二〇	送價 一〇四〇	送價 一〇二〇	送價 一〇五〇	送價 一〇五〇	送價 一〇八〇	送價 各一〇六〇
大正の女大學新時代の婦人訓として凡ての家庭に備へて婦人修養の絶好指針となり婦人問題に對する好参考となり。	本書は英國女學校の家事教科を女史の才筆にて譯出したるもの英國の樂しきホームの善美を知らんとする者は一讀を要す。	著者が多年實地製造の虎の巻であつて、製造方法は勿論製造に要する費用まで詳述しあるは、從來巷間になき良書といつて憚らない。	家庭一般に心得べきことを網羅し、新時代に適合するやう婦人を善導するものにて家庭の組織より日常處世に至り詳述す。	家庭百科全書第九篇、時代の勢ひにさかか閑却されがちな禮式と作法を説いて婦人の品格を立派に維持する手引草となる好著。	禮法の主要より、公式、社交の禮、食禮、吉事の禮、凶事の禮、旅行、慰問に關する禮、書信の禮、點茶、挿花の禮等について細説す。	著者が十數年の間、數人の男女兒の爲めに作つた種々の服裝の作り方に就ての知識と経験を發表したもので挿繪を澤山挿入してある。	最近親しく歐米の裁縫界を視察して歸つた著者が、日本の子供のために新時代に適した子供服の必要を説いたものである。	著者奥田先生廿年間苦心研究最合理的に改善された奥田式裁縫を平易に著した數多の裁縫書中無類の良書是非御一讀を乞ふ。
富山房	大日本圖書會社	三圭社	文藝社	博文館	日實本業社	日實本業社	同	奥田裁縫女學校出版部

新らしい和服の裁縫	尾崎芳太郎	菊入美装判 二五頁	送價 三〇八〇	裁縫方でも縫ひ方でも因襲から一歩も踏み出さずして、在来の和服の改良について、本書は實に先覺的の良師である。	日實業社
裁縫全書 裕綿入の部	東京女子専門 女学校裁縫部	一〇頁	送價 二〇〇	単衣の部に續いて裕綿入に關する一切の裁縫方等を網羅し詳細を極めたものである。	東京裁縫女 学校出版部
家事裁縫科問題解答集	東京裁縫 女学校	三三九頁	送價 五〇〇	家事裁縫の文檢受檢に本書を讀まないのは航海に羅針盤を持たぬに同様に於て、二十三年四月分は増補として發行各一冊壹圓送料同	同
新家庭洗濯とクリーニング 附洋服取扱法	五十嵐健治	四六頁	送價 一〇五〇	京都市社會課大阪毎日新聞社婦人見學團等に於ける著者の講演録言々悉く二十年研究の結晶なり女学校最良の教科書家庭常備の寶典。	東京家事 研究会
裁縫全書 高等裁縫及び雜の部	東京女子専門 女学校裁縫部	四〇〇頁	送價 三二五〇	これは普通和服以外多數の和服と特種の和服が澤山書かれて詳説である世間に類の無い	東京裁縫女 学校出版部
家庭で簡單に出来る 子供洋服の裁方と縫方	古川辰藏	一三〇頁	送價 一五〇〇	素人にも商賣人にも極めてわかり易く一々圖解說明せり標準寸法假寸法及割出法等は尺曲尺メートル、インチ四種の表を以て示す	泰文館
子供洋服裁縫講義	花輪しのぶ 加藤しんり	二五〇頁	送價 一八〇〇	未だ一度も洋服など縫つた事のない人でも容易に手縫でも出来る男女子供洋服一切の裁方縫ひ方及び着せ方迄も詳説した良書です	大日本文化 研究会
訂正 裁縫おさいくもの巻上	伊藤藤文 久錠文子	二四六頁	送價 二一三〇	別に面倒な道具を用ひず誰にも裁縫の心得ある者は容易に出来るおさいくもの裁方作方法は實物大の原形圖にて説いてあります	大倉書店
訂正 裁縫おさいくもの巻下	伊藤藤文 久錠文子	二四六頁	送價 二一五〇	上巻は小袋、飾置物、飾綴、巾着、手提袋其他七十三種下巻は小袋、針刺、脈付、ペン、玩具延掛其他八十三種を懇切に説明してあります	同
裁縫科新教授法	吉村千鶴	一七三頁	送價 二二〇〇	著者は裁縫教授界の權威者である従つて獨特なる點が多々ある本書は恐らくは類書中の白眉であらうと信ぜられる。	東京裁縫女 学校出版部

裁縫教授改善資料	渡邊滋	一八四頁	送價 二〇〇	著者が獨得の裁縫論詳細緻密と意見の審省的なるを以て研究のなる等恐らくは裁縫界の一異彩であらう斯界に在るもの、必讀の書。	東京裁縫女 学校出版部
月刊裁縫と家事	東京裁縫女 学校出版部	送價 〇〇	送價 〇二〇	裁縫家事に關する新研究を以て満されて居る執筆者は當代の第一流の人々であるから中小学校の教員諸君家庭にある主婦諸君の書。	同
裁縫指南	喜多見佐喜子	二九六頁	送價 一〇二〇	家庭百科全書第三篇、我國の婦人の必ず修得すべき裁縫に就て技術と理論の兩方面から行届いた解り易い説明を加へた指南書。	博文館
裁縫のおけいこ	井上大塚、高梨齋藤、平尾	三三六頁	送價 〇六〇	有觸れた裁縫の本と違ひましてごなたにもよく解る様に書いてあります例ば赤ん坊の襦袢の裁縫でも十九頁餘も書いてありますから。	六合館
手早く出来る裁縫のしかた	志摩野司	二〇六頁	送價 一〇五〇	從來閑却された用布の整理、用具の準備等から、時間と裁縫の出來る秘訣を説いた新書。	婦人之友社
手ほどき裁縫の知識	高山貞子	三四四頁	送價 一五〇〇	裁縫全般の知識を師なくして誰にも解かるやう説明し、裁縫の出來る秘訣を説いた新書。	崇文堂
文庫裁縫の巻	喜多見さき子	三〇八頁	送價 一〇五〇	出産準備、男女小供着物、男女衣服、男女袴の整理等につき一々圖解を以て説く。	日實業社
裁縫と編物	吉田調子	二六四頁	送價 一〇六〇	裁縫と縫物の知識を最も手軽に頭に入る、共に容易に技術の進歩するやう説ける良書讀んだ一頁がすぐ役に立つ。	博文館
裁縫筆記録	高橋イネ	一〇〇頁	送價 一〇六〇	教授の統一、成績の増進、教授上の便に供せんが爲め高橋教授多年の経験により考案された筆記帳也洋服裁方寸法メートル換算表添	文書堂
實用裁縫全書	小岩井規太郎 鹽田眞三	二七二頁	送價 一〇〇〇	本書一冊熟讀せば裁縫に關する一切の知識を得らるゝと共に、裁縫に上達する方法をも併せ習得せらるべく、家庭必備の参考書なり。	博文館



婦人 子供	洋服裁縫大全	西島芳太郎	菊判洋装 三七〇頁送	三・五〇 二・七〇	親しく講習會に出て手を取つて教へられるやうな丁寧な講義に満ちた洋裁縫に關するあらゆる知識を網羅せる現代婦人必携の洋裁縫書	婦人之友社
洋食の食べ方と洋服の着方	横山正男	菊判布装 一八六頁送	一・三〇 〇・六〇	満鐵大連ヤマトホテル支配人である著者が在歐中の経験と多年ホテルに於ける實際上から洋食の食べ方と洋服の着方を懇切に説明す。	大阪屋號	
栄養食物料理法と食餌療法	服部茂一	菊判布装 四五〇頁送	三・五〇 二・五〇	永井博士外八博士の指導によつて重症時の食物全快期の食物健康體の營養食物等に分ち其料理法と食餌療法を分りよく親切に述べてある	坂本書店	
おいしい漬物	龜岡有	菊判布装 一六〇頁送	〇・九〇 〇・四〇	學理や論說を避け最も實用向に且家庭的に團圓應用が出来る。	川流堂	
美味しい洋食の拵へ方	アグネス・アルキン	總布函入判 四三二頁送	一・二〇 〇・一〇	洋食の拵へ方につき、初歩より何等不安なくである。立派な洋食を造り得るのが本書の特色	日實業社	
家庭的にお菓子の拵へ方	巽鐵男	菊判洋装 二八一頁送	一・五〇 〇・六〇	家庭でお菓子を拵へれば、第一やすく出来、好きなやうに拵へられ、新しいものが食べられ又趣味として結構です。	同	
菓子製造法	未耆庵 梅田嬌葉	菊判布装 三八四頁送	一・八〇 〇・一八〇	著者が祖先以來繼承し又多年間實地に研究し十種を極めて實用的に述べたものです。	大倉書店	
家庭西洋料理	櫻井ちか子	菊判並装 三三四頁送	一・二〇 〇・六〇	安價に手軽に出来る西洋料理の調理法を實際的ないたものであります。洋食に少しの経験のない方でもすぐ出来るのが特長です。	日實業社	
家庭西洋料理	遠藤愛子	菊判並装 三四〇頁送	一・〇〇 〇・二〇	和洋各種の料理に涉り迂遠なる理論を避けて卑近平易に實際的記述を試み初學者にも経験家にも豊富なる資料を供給するは本書の使命	寶文館	

家庭 牛乳料理	津野慶太郎	菊判假裝 八〇頁送	〇・八五 〇・四五	古今歐米の牛乳料理中より方法簡易費用少なくなに先生が實地研究を試みられたるものを選び更に鶏肉鶏卵料理書として類のない良書で未だ料理人さへ知らない物が餘なくありませぬ附録として支那料理法六十餘種を説いてあります	長隆會
家庭 鶏肉鶏卵料理	赤堀峯吉	布三六判 二八〇頁送	一・五〇 〇・一六〇	本書は一年三百六十五日毎日三食の献立と料理法を記し祝祭日・五節句・來客・精進等の各料理及菓子製法を詳述しあり料理界の寶典	大倉書店
家庭 献立と料理法	西野みよし	菊判上装 四五〇頁送	二・五〇 〇・一二〇	本書は一年三百六十五日毎日三食の献立と料理法を記し祝祭日・五節句・來客・精進等の各料理及菓子製法を詳述しあり料理界の寶典	文弘堂
さつま芋お料理	近中定吉	菊判和装 一五〇頁送	〇・五〇 〇・四〇	皆様の好きなお料理の仕方が悪いからですか本に於いては有りますのは上戸や下戸も喜びます	六合館
四季料理	石井泰次郎	菊判和装 三二六頁送	一・二〇 〇・八〇	家庭各科全書第二篇、春夏秋冬の各季節に分用いて各種の料理法を説き家庭に於て直ぐに應用して得る庖刀の研を見えてゐる。	博文館
實用西洋料理法	宇野彌太郎	菊判布装 二六〇頁送	二・五〇 一・八〇	専ら實用を主として内容を献立料理及一品料理の二部に分ちて懇述す災前宇野實用料理法	大倉書店
訂正 西洋料理法大全	宇野彌太郎	菊判布装 九〇〇頁送	六・八〇 三・六〇	四十餘年の庖厨の経験と東洋歐米各地の限り其特色を研究し最新調理法を網羅す茲に訂正増補内容を一新して出来せり。	同
實用日本料理法	宇野彌太郎	菊判布装 二五〇頁送	二・五〇 一・八〇	専ら實用を主とし内容を献立料理及一品料理の二部に分ちて懇述す災前宇野實用料理法	同
實用料理法	藤本藤蔭	菊判和装 三〇〇頁送	〇・八〇 〇・六〇	親切に解説す、安いのを甘く食へる研究は本書を臺所に備ふるにあり。	博文館
手經な 支那料理	本田清人	菊判美裝 一〇〇頁送	一・五〇 〇・一八〇	美味、衛生、營養、家庭團樂、何れの點に於ても世界一です。今や世界的流行の機運にあるのは當然です。家庭になくてならぬ常識書です。	大阪屋號



素人に 出来る	支那料理	山田政平	一五五頁	洋装	一〇二〇	支那料理五十種に就て材料の買入から料理法まで詳しく説明し調味料香料用語等行々い た解説を加へてある故素人にも直ぐ出来る	婦人之友社
食行	脚 (東京)	奥田優曇華	二〇一頁	洋装	一〇〇〇	著者が腹に鉢巻して、百數十軒の老舗、名舗 の店を、選りあげたものが此の書である。	協文館
食通の喜ぶ	豆腐と玉子の珍料理	服部茂一	二〇〇頁	洋装	一〇〇〇	豆腐と玉子を主材料として拵へる料理三百種 の調理法を初心の方にも容易に出来る様に説 いてある。家庭のお臺所に一冊はよい本です。	坂本書店
食通の喜ぶ	日本支那西洋珍料理	服部茂一	三〇〇頁	洋装	一〇〇〇	食通家も驚かす著者が自信してゐる珍料理の料 理法をよく述べてある。著者が幾度か試み たものゝみで出来ないものは無い質問券も有 る。	同
常	西洋料理	ボーカー	一九二頁	洋装	一〇〇〇	實用に適する外人編纂の西洋料理法にして名 稱等は英譯ありて對照に便にし女學校 の教科書等に推奨す。	出版文部館
家庭	西洋料理法	赤堀峯吉	五三二頁	洋装	二一五〇	専ら實用向に何處の土地にても得易い材料に 入れて調理せられる西洋料理數百種を多數の圖を 入れて分り易く説明してあります。	大倉書店
増訂	西洋料理法大全	宇野彌太郎	三六八頁	洋装	六三六〇	家庭百科全書第十篇、料理の中でも日常の蔬 菜料理には主婦として誰しも苦心するもの 本書を座右に置けば何よりの相談役となる。	同
惣菜	料理	赤堀峯吉	三〇〇頁	洋装	一〇二〇	本書は何處の土地にても求め易い海河の魚、 貝、野菜其他鹽物、卵、乾物等の材料で手軽に 出来る料理法三百五十種を説いてあります。	博文館
惣菜	料理	赤堀峯吉	一九八頁	洋装	〇八四〇	お婦人の一番大切なお仕事は毎日の煮たきで 料理法一つで美味に成ますのは知れたこと。	大倉書店
惣菜	料理	嘉悦孝子	二一五頁	洋装	〇五四〇	料理法一つで美味に成ますのは知れたこと。	六合館

楽しい我が家のお料理	惣菜料理五百種	櫻井ちか子	三〇四頁	洋装	一〇五八〇	一家の主婦の爲めに、四季さりざりの料理か ら西洋料理、支那料理まですべて家庭的なる ものを紹介し、一年中の献立表を添付す。	日本書院
漬物おけいこ	四季の惣菜料理	井上秋工	一七四頁	洋装	〇五四〇	此頃は漬物には好時節又漬物のないお宅は有 りません。この本は其時節を美味にする漬方です。 別に費が掛かる譯でなく極く手軽に出来ます。	六合館
四季の惣菜料理	四季の和洋料理	服部茂一	二〇〇頁	洋装	一〇二〇	春夏といわす秋でも冬でも何時この土地で 種も何人でも容易に調理する様分り易く述べ る。	坂本書店
豆腐お料理	豆腐お料理	しのぶ川主人	二〇〇頁	洋装	〇五四〇	豆腐に大層な滋養分が有る事は申迄もない事 この本には料理の数が百九十種材料は僅か一 丁のお豆腐で料理は皆違ひます實際のお惣菜	六合館
趣味と 實用の 日本料理	日本料理	水町たづ子	二〇〇頁	洋装	一〇五八〇	「お献立」に「お惣菜」に分ち一月より十二月 まで季節々々の魚鳥野菜の料理法四百種一々 實驗を経たもの故安心して作られます。	婦人之友社
家庭 日本料理法	日本料理法	赤堀峯吉	三〇〇頁	洋装	一〇〇〇	斯道の大家赤堀先生が日常得易い材料を以て 菓子製法等數百種を説明せられたものです。	大倉書店
美味 求真	美味求真	木下謙次郎	八〇頁	洋装	〇二七〇	從來料理は庖厨裡婦女子の細技として取り扱 的位を與へ新學問を創設したるは本著なり	啓成社
病人食物調理法	病人食物調理法	宇野彌太郎	四一八頁	洋装	二一五〇	本書は極めて手軽に出来る病人の食物調理法 に至る迄詳細に圖解と共に説明してあります	大倉書店

家庭 實用	珍らしい お鮭の拵へ方	洋食 洋食五百種	洋食 洋食のおけいこ	禮式 洋食の食べ方	嫁入 料理の巻	家庭 和洋菓子	和洋 和洋菓子製法	辨當 料理法の數々
料理研究會	服部茂一	赤堀吉松	松波女史	東西料理會	赤堀菊子	編人之友	龜井まき子	西野みよし
四一〇頁	二〇〇頁	二二〇頁	一七四頁	三三〇頁	三三〇頁	一八八頁	三三〇頁	二五〇頁
二〇八〇	一五九〇	一〇二〇	〇五四〇	〇六〇	〇五八〇	〇二六〇	〇二八〇	〇六四〇
美味しく手軽に有合せ品にて直ぐ間に合ふ四季の和洋支那料理お菓子の拵へ方等極めて解り易く書きた主婦の相談相手として絶好の書。	全國の珍らしいお壽司の二百種を選んで素人の拵へ方も直ぐ作れる様に材料の選り方味の附方内省に永らくあつて其巨腕を示した赤堀三先生がおいしい料理を専門に素人によくわか様に書き記された重寶無二の書。	此本が大層賣升わけは材料が牛肉や豚肉に限つた丈でなく費が少なく手輕に出來十三四の饅様にでも解るお申わけでお客に出來迄有升	正しい洋食の食べ方一方に就て委しく分りよく書いたもので本書を一讀して置く儀式の時でも一寸した會食にも恥をかかなくすむ。	日本料理、西洋料理の二篇に分ち、日本料理は春夏秋冬の四季に分ちて細説し、洋食は家庭向なるもの、一般を説明す。	日常家庭用として一般向な手輕に出來る和洋菓子七十種に付その手順と方法を詳細説明す秘傳呼吸まで公開してあるのも大きな特色。	種々家庭百科全書第四編、菓子の製法を和洋二百親切に巨りて材料の選擇調理の仕方に至るまで親切に説明し家庭ですぐ應用できる。	著述の方法が組織的に至極懇切ですから前後易く通讀すれば編物の初歩から最高技術迄を易々として秩序正しく習得する事が出來る。	著述の方法が組織的に至極懇切ですから前後易く通讀すれば編物の初歩から最高技術迄を易々として秩序正しく習得する事が出來る。
聚英閣	坂本書店	日本書院	六合館	坂本書店	日實業社	婦人之友社	博文館	文弘堂

手藝 (編物)

あみもの	編物指南	嫁入 編物刺繡の巻	増補 家庭編物全書	毛絲 あみもの百種	家庭 最新紋染法	刺繡 圖解	刺繡 術指南	實用 編物集	
鳩山春子	石井みみ子	吉田たけ子	森本義子	石本静枝	小栗逞治	加賀谷伸子	磯村大次郎	成田みゆき	
四六判	三〇二頁	四六判	三三〇頁	四六判	二六六頁	菊判	菊判	菊判	
各一八〇	一〇二〇	一〇五〇	二六〇	一〇八〇	一〇〇〇	一〇二〇	一〇二〇	二七〇	
著述の方法が組織的に至極懇切ですから前後易く通讀すれば編物の初歩から最高技術迄を易々として秩序正しく習得する事が出來る。	家庭百科全書第七篇、少時の時間を利用して意匠の美を編み出す楽しみは編物に及ぶものなし。本書を讀めば進歩上達目に見る如し。	家庭百科全書第七篇、少時の時間を利用して意匠の美を編み出す楽しみは編物に及ぶものなし。本書を讀めば進歩上達目に見る如し。	本書は數多い編物全書の内模範的の良書として推薦を受けてゐるもので實用を旨とし編物全般に亘つて叮嚀親切に述べてあります。	毛絲の知識から起して、幼兒用品、子供用編物全部寫真版凸版入りにて説明す。	無責任な翻譯物と異り、そのまゝすぐ役に立つ赤坊より大人まで百種を、一々鮮明な寫真版と精密な圖解を入れ親切叮嚀に説明す。	家庭に於て直に應用し得る絞染の方法を實驗的に詳述せるもの、最新流行の各種絞り型の説明及び圖解をも豊富に記載せり。	學校及家庭にて應用する初學者に尤も判り易き様説明を附してありますからその説明で圖中の糸の運び方をたゞれば誰にも出來る。	家庭百科全書第八編、家庭に於ける手藝として又収入を助くる一法として最も興味深く且重要な刺繡の技術熟達する指南役。	著者が十年前から外國の書をも参照し日本人の體格生活状態にシツクリ適合する様な編方を工夫された殆んど獨創的な新書。
松邑三松堂	博文館	日實業社	大倉書店	日實業社	博文館	米本書店	博文館	丸善	

家政 (手藝・編物)

實用染色工藝	富田輝夫	菊判布裝 二六六頁送	二・一六〇	著者が多年の研究と深酷なる教授上の経験に基いて、女學校及家庭にても容易に行ひ得る様懇切丁寧な説明せられたるものである。	大倉書店
續編物指南	石井さみ子	菊判和裝 二九四頁送	一・二〇〇	家庭百科全書第十二篇「編物指南」に説かれたる以外の編物の仕方は本書に洩れなく收めてある。二冊相俟つて完全無缺。	博文館
摘み細工指南	山田與松	菊判和裝 二九六頁送	一・二〇〇	家庭百科全書第十一篇、高尚にして興味多き手工藝として漸く世人の注意を惹いて来た摘み細工につき實用を主として指導せるもの。	同
毛糸 手ほどきから 仕上まで	加藤芳子	菊判洋裝 二六〇頁送	二・一三〇	從來澤山世に出物た書物のやうに、外國書物から轉載したるものや、雜誌の切り抜きでない、全く創意された苦心の作さんな初歩の人も分	文祥堂書店
ビーズの手藝	長井エルザ	四六倍判 一〇餘頁送	三・一五〇	容易く出来て美術的なビーズ編物キャンパス刺繍の方法を四色三色寫真版數十葉の外に綿密な圖解を添えて懇切丁寧に指導説明せり。	婦人之友社
新趣 袋物の拵へ方	中村興湖	菊判ク 一四六頁送	三・一五〇	六ツ袖、銀貨入、舞扇、袋、宮入形手提、桔梗形手提、シーズンバック等總ての袋物について説明し、實物大の型紙を付す。	日實本業社
模様編と新型 スエター編み方	大高千代野	四六倍判 一〇二頁送	一・一八〇	初心の方々は編み方の手ほどきと毛糸に關する知識を、既に御経験の方にはより美しく藝術的な編み方を平易に説いたもの。	同
國民叢書第一編	小林篤里	四六倍判 一〇二頁送	一・一八〇	堅實なる常識正確なる知識の必要は云ふ迄もない。本書は此の目的を貫徹せん爲に全般の事項に亘つて眞面目に平易に叙せるもの。	文藝社
新しき修養	小林篤里	四六倍判 一〇二頁送	一・一八〇	固苦しき修養より脱して知らず識らず身を修りて人の履むべき道を叙べたもの。	同

國民叢書第一編	小林篤里	四六倍判 一〇二頁送	一・一八〇	人類の存する所必ず宗教あり。本書は世界の宗教中より十大宗教を選び、教祖、教義、今日の状況を叙べたもの。一讀宗教の全般を知るの良書。	文藝社
國民叢書第二編	小林篤里	四六倍判 一〇二頁送	一・一八〇	早くものにならんとする人のため社會のあらゆる方面に亘つて、立志より成功への近道を説明したるもの。青年子女に絶好なる讀物。	同
國民叢書第三編	小林篤里	四六倍判 一〇二頁送	一・一八〇	國民の一人として必ず知らねばならぬ事を選んず一讀すべき良書、一讀大道を潤歩せよ。	同
國民叢書第四編	小林篤里	四六倍判 一〇二頁送	一・一八〇	新聞は社會の教科書、讀まざる者は一人もな出來ない事がある。本書はその基礎を説明す	同
國民叢書第五編	小林篤里	四六倍判 一〇二頁送	一・一八〇	文明國民は經濟生活を營まなくてはならぬ。由來我國民には科學的知識乏し、本書は吾人日常の科學現象を詳述し科學知識の普及を計らんさせるもの。先進國民の必備書である。	同
國民叢書第六編	小林篤里	四六倍判 一〇二頁送	一・一八〇	古來の科學現象を詳述し科學知識の普及を計らんさせるもの。先進國民の必備書である。	同
國民叢書第七編	小林篤里	四六倍判 一〇二頁送	一・一八〇	古來の科學現象を詳述し科學知識の普及を計らんさせるもの。先進國民の必備書である。	同
國民叢書第八編	小林篤里	四六倍判 一〇二頁送	一・一八〇	古來の科學現象を詳述し科學知識の普及を計らんさせるもの。先進國民の必備書である。	同
國民叢書第九編	小林篤里	四六倍判 一〇二頁送	一・一八〇	古來の科學現象を詳述し科學知識の普及を計らんさせるもの。先進國民の必備書である。	同
國民叢書第十編	小林篤里	四六倍判 一〇二頁送	一・一八〇	古來の科學現象を詳述し科學知識の普及を計らんさせるもの。先進國民の必備書である。	同
國民叢書第十一編	小林篤里	四六倍判 一〇二頁送	一・一八〇	古來の科學現象を詳述し科學知識の普及を計らんさせるもの。先進國民の必備書である。	同

國民叢書第十二編 思想善導	國民叢書第十三編 文化生活的基調	國民叢書第十四編 青年の進むべき道	國民叢書第十五編 論理學早わかり	國民叢書第十六編 野球の話	國民叢書第十七編 斯の如き人は成功する	國民叢書第十八編 心理學の話	國民叢書第十九編 婦人の進むべき道	國民叢書第二十編 理想の家庭	國民叢書第二十一編 教育學の話
小林篤里	小林篤里	小林篤里	小林篤里	小林篤里	小林篤里	小林篤里	小林篤里	小林篤里	小林篤里
美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價
〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇四〇
思想善導の急務であることは多言を要しない。六ヶ敷く堅苦しく主張してゐる秋ではない。本書は平易にその目的を果さんとす。	文化生活の高唱せらるる今日世人はその基調を本書はその基調を解し易く叙べたもの。	國家の中堅さも云ふべき青年が如何なる方面に進むべきかを述べたもので、迷路にある青年の爲めに其の進路を示したものである。	演説にも、談話にも、文章に常にも論理學は基礎をなすものである。文章の如く平易に述べれば論理學は決して難解のものではない。	現時如何なる山間の地でも野球の行はれて居る。野球を見る人の爲に始めて野球の行はれて居る。野球を見る人の爲に始めて野球の行はれて居る。	成功すべき人はどこかに人に秀でた性質を持つべき性質を抽象して述べた物。成功者の福音。	吾々はまづ自分自身を知らなくてはならぬ。に叙述して國民一般に心理學を平易に解させ得らる。	古來の習慣にのみ因はれて來た婦人は一日も早くよき道に向つて進まなくてはならぬ。	外來思想の消化に苦しむ國民は家庭の改善を怠らんとする傾向がある。本書は新しき理想的家庭を建設するの好資料として著したものである。	文明人に取つて教育は大切な仕事はない。然るに教育の何であるかを知らぬ人が多い。其の人々に教育全般の知識を授けやうとしたもの。
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

國民叢書第二十二編 倫理學の話	國民叢書第二十三編 平凡道徳	國民叢書第二十四編 精神修養	國民叢書第二十五編 向上發展の基礎	國民叢書第二十六編 佛陀の福音	國民叢書第二十七編 基督の福音	國民叢書第二十八編 無線電話早わかり	國民叢書第二十九編 無線電話の知識	國民叢書第三十編 世界の格言と警句	國民叢書第三十一編 家庭科學の話
小林篤里	小林篤里	小林篤里	小林篤里	小林篤里	小林篤里	小林篤里	小林篤里	小林篤里	小林篤里
美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價	美四表六裝判送價
〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇四〇
人倫の道は總ての根本である。倫理は學者のある學問ではない國民一般の心得べきことである。本書によれば一讀直ちに了解せらる。	道は總て近き中にある。徒らに遠きを望むべきではない。平凡なる中に人倫の眞理を見つけたる物。	物質萬能の世の中は、これでは精神修養の必要を説き、現代に力強く生きんとする方途を述べたもの。	向上發展の方法には色々あるが、その根本となるものは、基礎となるものは一つである。本書はその基礎を述べて向上へ導かん。	佛陀の教は深遠である。吾々の日常生活に正言葉の中吾々の生活に適切なるものを抄録す。	信仰は吾々の精神生活の根柢である。吾々はキリストの言葉の中最も優れたもの、吾々に必要なもの、抄録したものである。	最近無線電話の流行は目覚ましいものである。本に無電の原理及び装置を述べたもので、平易に無電の原理に関する書物は澤山あるが何れも難解の弊がある。本書は無電に關するあらゆる疑念を明かにし、無電の知識全般を述べたものである。	無線電話の知識。本書は無電に關するあらゆる疑念を明かにし、無電の知識全般を述べたものである。	古今東西の格言、警句を収め、先哲偉人が如何なる事を絶叫したるか、歴史的に研究する。資料を最も密接な關係のある項目を選び、平易な解説を施した。科學の常識として心得べき物。	吾々が日常遭遇する自然現象の中で家庭生活に最も密接な關係のある項目を選び、平易な解説を施した。科學の常識として心得べき物。
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同





謠曲集	有朋堂文庫	有朋堂文庫 天金銀布製 七三〇餘頁	特殊方法に て發送す	觀世流改訂謄本を底本として、その内外別二百番を収め、その曲の大意と語句の註解を加へたものである。	有朋堂
狂言記	同	同	同	繪入狂言記と題して元録年間に大成された刊本四部二十冊二百番を収めて二巻としたもの即ち和泉流狂言の詞書である。	同
宇治拾遺物語	同	同	同	順徳天皇の建保年間に成つたもので作者の見聞や今昔物語古事談などを根據として種々の話説を書き列ねた書である。	同
古今著聞集	同	同	同	建長年代の書で、三十の類に分つて各方面の異聞逸話を輯録してある。當時の文學民俗を窺ふ資料として亦逸し難い書である。	同
御伽草紙	同	同	同	足利期から徳川の始めに及んだお伽草紙文學の代表的なものを網羅した書で、物ぐさ太郎一寸法師浦島太郎など皆この中に在る。	同
新編水滸畫傳	同	同	同	支那小説中隨一の妙編大作たる水滸傳の百回挿畫は北齋の筆に係つてゐる。	同
通俗三國志	同	同	同	元の羅貫中の説に基づき、晉の陳壽の三國志を參考して漢の建寧から晉の大唐に至る百餘年間の活亂を記した歴史小説である。	同
通俗漢楚軍談	同	同	同	徳川時代の作家夢梅軒といふ人が廣く諸史小説を涉獵して漢楚興亡の事蹟を叙したもので幾多の挿畫と相俟つて面白い讀み物である。	同
繪本西遊記	同	同	同	支那小説上に所謂四大奇書の一たる元の邱長春の著「西遊記」の譯本で、有名な孫悟空の話は本書中にある。	同
雅文小説集	同	同	同	英草紙、繁野話、西山物語、本朝水滸傳、つぐくし船物語、手枕といふ如き所謂雅文の小説を集めて一巻としたもの、註解もついである。	同

近松淨瑠璃集	有朋堂文庫	有朋堂文庫型 天金銀布製 七三〇餘頁	特殊方法に て發送す	大近松の世話物時代物を殆ど網羅して一々丸本によつて嚴密に校訂し、更に難語に簡明な註解を附したものである。	有朋堂
淨瑠璃名作集	同	同	同	菅原傳授手習鑑、義経千本櫻、假名手本忠臣蔵、關取千兩巻、妹背山婦女庭訓、伊賀越前中雙六、八百屋お七、一谷嫩軍記等の丸本。近松、柳、安達原、二十四孝、お染久松、彦山權現、朝顔日記、鎌倉三代記、太閤記の如き有名な淨瑠璃の丸本が皆這入つてゐる。	同
平賀源内集	同	同	同	徳川時代の於て最も毛色の變つた人物であるその人の風來六々部集、れなし草から神靈矢口の淨瑠璃までを集めて一巻としたもの。	同
脚本集	同	同	同	伊勢音頭、猿まはし、四谷怪談、きられ奥三好劇家の逸すべからざる珍書である。	同
江戸名所圖會	同	同	同	名所圖會中の一番立派な代表的なもので、一代の巨匠雪且の苦心の筆によつて、江戸の面影は今も目に見るやうに分る。	同
日記紀行集	同	同	同	東關紀行、海道記から徳川期の日記紀行文に及んでゐる。芭蕉の奥の細道や宣長の菅笠日記なども這入つてゐる。語句の註もある。	同
北窓西遊瑣記	同	同	同	橋南翁の紀行と隨筆とを集めて一巻としたものは教科書などにもよく引かれてゐる。	同
名家俳句集	同	同	同	所謂俳文の粹はこの三書に悉き、この三書は正に俳文の集大成だと謂へよう。	同
名家俳句集	同	同	同	本叢書の爲めに特に藤井博士が編纂註解せられたもので、徳川期の代表俳人の代表句は皆この一巻の中に在る。	同

新撰名家詩集

有朋堂文庫

有朋堂文庫型  
天金銀布號  
七三〇餘頁

特殊方法ニ  
テ發送ス

徳川期のあらゆる漢詩人の作品中代表的のものを選んで一巻としたもので、巻末に附録として我國最古の詩集たる懷風藻が附してある

有朋堂

新撰川柳狂詩集

同

同

同

徳川平民文學の一大分野たる川柳狂詩の巻から最も代表的なものを選び、面白ものを選んで一巻とした面白本である

同

百人一首一夕話

同

同

同

尾崎雅嘉の著で、百人一首の歌について、作者の略傳、歌詞の解釋、逸話奇聞等を輯めた、非常に面白い本である

同

先百近

同

同

同

徳川期に於ける奇人奇行をそして生真面目なる學者先生の面影を凡て集めてこの一巻中にある文句と挿畫と相俟つて非常に面白い

同

繪本太閤記

同

同

同

窓のすきみは徳川初期から享保頃までの美談を録したもので、他の二書は江戸市井の事件を録したもので一讀して得る所が尠くない

同

伊呂波文庫

同

同

同

一代の風雲兒豊臣秀吉の生れ落ちからその最後まで巨細に描寫し幾多の挿畫と相俟つて英雄の面目を躍如せしめてゐる

同

大久保武藏鑑

同

同

同

宇都宮の釣天井、松前屋五郎兵衛、彦左衛門功績之記、この三篇から成つてゐる我が快丈夫彦左衛門の面影を寫して十分なるものである

同

伊呂波文庫

同

同

同

四十七士の仇討の側面觀的小説で、忠臣蔵が面白く綾なされてゐる。このさは又別個の筋として吾々に親しみの深いもので、忠臣蔵が面白く綾なされてゐる

同

大岡政談

同

同

同

所謂お家騒動の實録もので、文學としての價値は豊かなものではないが、波瀾に富んだ話の筋はさすがに面白く讀む事が出来る

同

大岡政談

同

同

同

曰く天一坊、曰く村井長庵、曰く白子屋お熊の吾々にも面白いものである

同

近代歌謡集

有朋堂文庫

有朋堂文庫型  
天金銀布號  
七三〇餘頁

特殊方法ニ  
テ發送ス

人口に膾炙した所謂お話しの源泉たる三書であつて破顔一笑を禁じ難いやうな話書が数々集められてゐる

有朋堂

萬葉集

同

同

同

徳川時代の代表的狂歌集三種を集めたものである。狂歌が徳川文學の大きな一面として貴重なるものである

同

近代歌謡集

同

同

同

徳川時代の最高權威、本書に於ては所謂萬葉の類を集めて一巻としたもの

同

萬葉集

同

同

同

勅撰二十一代集中の精華たる八代集に、南朝の歌集たる新葉を併せたもので、凡て吾が歌學史上の表看版といふべきものである

同

新八葉代和歌集

同

同

同

記紀の歌、神樂、催馬樂、宴曲、朗詠等の古代の歌謡を集めて一巻としたもので、古代文學を代表する一つとして貴重な書である

同

古代歌謡集

同

同

同

西行、定家、實朝の歌集を集めて一巻としたもの、三人がそれら異なつた立場にあつて我が歌學史の大立物である事いふ迄もない

同

加茂真淵

同

同

同

加茂真淵、小澤蘆庵、香川景樹三人の歌集を収めて一巻としたもので、徳川時代の和歌を代表するに十分なる書である

同

石川雅望集

同

同

同

國學者にして狂文狂歌の泰斗、その筆に成つた小説隨筆狂文狂歌の類を集めて一巻としたもので、江戸氣分の一半を味ふに大切な書だ

同

太田南畝集

同

同

同

蜀山人として、四方赤良として、徳川平民文學の一半を首領たりし太田南畝の狂文狂歌の本集は我が文學史上の一大金字塔である

同



昔話 稻妻草 提純	有朋堂文庫	有朋堂文庫型 天金銀布製 七三〇餘頁	特殊方法ニ テ發送ス	稲妻表紙は山東京傳の讀み本で不破名古屋の 鞘當を取つて芝居風に仕組んだもの、醉提昔 はその後篇で、共に讀み本の代表作である。	有朋堂
西鶴文集 上下	同	同	同	西鶴の述作を代表すべき大下馬、武道傳來記 日本永代藏、胸算用、西鶴置土産、好色五人 女その他を集めて一巻としたもの。	同
八文字舎本五種	同	同	同	八文字舎本は西鶴近松に伴つて京阪文學の一 面を爲すもので其の本質的價値はさにかく文 學史上にはどうしても忘れてならぬものだ。	同
南總里見八犬傳 自一卷至六卷	同	同	同	馬琴一代の大文字八犬傳全部を收めて嚴密に 校訂し、挿畫も殆ど原本通り複製してある。 讀書子の書齋を飾るに十分であらう。	同
近世說美少年錄 上下	同	同	同	美少年錄の文は馬琴には珍らしいほご自由な 柔かな趣が多い、八犬傳の堂々たる陣立さは 又別の文學的情調があると思ふ。	同
椿説弓張月	同	同	同	怪傑八郎爲朝を主人公とし琉球を舞臺として 文豪馬琴が蘊蓄を傾注した弓張月一巻には吾 々の學ぶべき所が尠なからずある。	同
花暦 八笑人 砂滑竹 七合偏 八人	同	同	同	太平の逸民の馬鹿げた遊樂それも随かに徳川 世相の大きな一牛である、本書に收めた三巻 はその意味の徳川世相史だとも謂へる。	同
東海道中膝栗毛	同	同	同	膝栗毛は滑稽文學の隨一だ、いつ讀んでも面 白いで、彌次北の東海道中では最も面白い もので、どうして笑はずには居られぬ。	同
浮世風呂床	同	同	同	江戸文學の大きな一面たる滑稽文學を代表す るもので、膝栗毛と相伴つて永久に我が文學 史を飾るべき一つである。	同
浮世風呂床	同	同	同	種彦の田舎源氏は草双紙の題目である。本書 はその本文を嚴密な漢字交りにして讀み易く し原本の挿畫もなるべく多數に複製してある。	同
諺紫田舎源氏 上下	同	同	同		同

雑書

娘草 女房形氣用	有朋堂文庫	有朋堂文庫型 天金銀布製 七三〇餘頁	特殊方法ニ テ發送ス	小さん金五郎の娘節用は今日の雑々にもフレ ツシユの感を興へる、それに女房形氣を合は せて一巻としたもの。	有朋堂
黃表紙十種	同	同	同	繪畫本位の小説文學黃表紙は今では寧ろ骨董 まことに尊重せられる、本書はそれを原本のま ま全部寫眞にして完全に其面影を傳へてゐる。	同
新撰書簡集	同	同	同	義經の腰越狀から徳川期の各方面の書翰に至 るまで有名な手紙、面白い手紙を廣く集めて 一巻としたものである。	同
嬉遊笑覽	喜多村信節	四判洋装 二冊 二四八三頁	送價 六〇〇 二四〇	本書は世に定評あり贅言せ、且に學者の書庫 紳士貴婦人の高尚なる娛樂の寶庫なり一讀せ ば事物の所起源を知り自ら博識を思はしむ	近藤出版部
改定史籍集覽	近藤瓶城	四判洋装 三十三冊 〇〇〇餘頁	送價 八〇〇 二八〇〇	上古以來徳川中世に至る歴史法政文學等に關 する當時の記録を集む本書改定に當り三上井 上小杉三博士の補助を得て史料の撰擇をなす	同
續史籍集覽	近藤瓶城	小本和裝 七拾冊	送價 三〇〇 七二〇	改定史籍集覽と同じ。	同
五十語 タイプライター 打方	松岡元興	菊一三八頁	送價 一五〇 一八〇	初學者の徒勞を省く爲めに新界に權威ある著 者、實際の経験に基づき丁寧に説述せるもの一 讀く打ち方を會得するを得べし。	青野書店
ジャパン 邦文パンフレット通信	本	三判洋装 三頁内外	月二〇〇 一年二〇〇〇	「世界知識吸收の簡單化」を標榜し海外の最新 事情を日本語に反譯して清新輕快なる小冊子 に一冊一題載録會員組織の下に月六回發行。	ジャパン タイムズ社 出版部
誰にも 萬年筆修理法	星鳳社	菊半載 六四頁	送價 二〇〇 二〇〇	萬年筆の構造、使用法、良否の鑑別、撰擇法 等に詳述し且つ萬年筆の破損したる場合、誰 れにも出来る修理法を示したるもの。	星鳳社

鮮滿 無錢旅行案内	眞繼雲山	五四六判 送價 〇四二〇	何人にも確實容易に實行し得る滿鮮無錢旅行 の方法を詳説したもので内地臺灣樺太にも應 用自在である有爲の青年に一本をすすむ。	星 鳳 社
九星 一代理運氣活斷口傳書	神宮館	菊判和裝 一四頁送價 一〇二〇	本書は生れ年月日により異なる一代運勢、九星 の天盤、地盤の組み方、家相方位の吉凶、星 段下段二四節の解説、姓名判断法、外數十種あり	神 宮 館
實地 家相極秘傳	神宮館	菊判和裝 三五〇頁送價 二〇二〇	本書は百六十二個の圖解にて自己住宅の良否 新規普請増築の吉凶を知らんとする人の良談 相手となり又家相鑑定書の参考書なる良書	同
家業繁榮 子孫長久 家相の見方	松田定象	菊判和裝 二四〇頁送價 一五二〇	如何なる家が吉宅であるか、如何なる宅地が 凶相であるか、云ふ事を百二十三個の圖解に 依り誰れ人にも判り易く書かれた良書である	同
金儲けの秘訣金のたまる法	成金堂主人	菊判和裝 三九〇頁送價 一〇二〇	世間には金を溜めても、それを利殖して儲け 之れを利用せれば十年間にして萬金が得られる の秘訣は三元九星術の初段法より九段法に至る	同
九星判断術講話	神宮館	菊判和裝 九〇〇頁送價 五〇八〇	本書は三元九星術の初段法より九段法に至る 奥儀秘傳の事項を詳細に網羅して何人にも容 易に了解なし得る様解したる良書である	同
米相場必勝寶典	神宮館	菊判洋裝 四〇〇頁送價 三〇二〇	米界の神様と云はれし出羽の本間宗久翁の遺 書に註解を加え、なほ期米賣買手引及び過去 九十年間の米價高低が野線で示してある	同
奇蹟 自宅療法	本草研究会	菊判 裝送價 一〇二〇	本書は數年も苦んで居つた難病も或る草或る 木を服用して全治した實験奇蹟を圖入りに 滿載されてある苦病者には天來の福音	同
身上 祟災占病秘傳	神宮館	菊判和裝 一五二頁送價 一〇二〇	此書は日常の出来事は勿論病氣は何病である か、祟りは神佛四ツ足方角生靈死靈何んである かを自分獨りで判断が出来る良書である	同
災難 眞言秘密大全	不動行者	菊判和裝 一四八頁送價 〇五八〇	病氣を治し危難を避け、願望を成就し損失を 免かるゝ等眞言秘密不可思議の妙法を誰れ人 にも判り易き様假名付に記したる良書なり	同

人事 人生一代秘密の運勢	陽新堂主 和牛紙判 裝送價 〇八四〇	凡そ一生には七轉び八起きと云ふ事がある轉 うばね先きの杖に本書を一讀して萬遺漏なきや うせらるべし。	網島書店	
人生と心靈及び 死後の世界	池之坊俊海	菊判洋裝 三〇〇頁送價 一五二〇	本書は妖怪幽霊千里眼其他現世の不思議及び 死後の世界即ち靈魂の正體より精神療法、死 を延す精神術其他數十項目を掲載してある	神 宮 館
除災 神秘開運法	高島易斷所	菊判和裝 二二〇頁送價 一〇二〇	本書は安部晴明博士の陰陽道の奥儀弘法大師 の眞言口傳日蓮上人の天台の相承によりて災 を避け福を招く法を平易に解きし良書である	同
秘傳實験 神佛靈妙開運大秘書	陽新堂主人	菊判和裝 二九〇頁送價 二五八〇	不可思議な運命の謎の前には近代科學も無い 一ツ或信念によりコノ謎を解く又不可思議の 一ツ此意味で本書は天下の一大奇書である	松 陽 堂
圖解 手相人相の見方	神宮館	菊判和裝 二四〇頁送價 一〇二〇	人相や手相の極意秘傳を百七十有餘の圖入さ して編纂したれば婦女子供にも自分の運勢は 勿論他人のこころも容易に判断出来る良書	神 宮 館
吉凶 廿八宿詳解	神宮館	菊判 二四〇頁送價 一〇二〇	本書は文珠菩薩の宿曜經を叮嚀親切に解した るものなれば婦女子供にも廿八宿により吉凶な るを知断する事が出来る良書である	同
九星 八百十通り變化奥傳	神宮館	菊判和裝 一八四頁送價 二〇八〇	九星の天盤×地盤を組み其掛りにて求占者の 來意を知りなほ人事百般の吉凶判断が出来方 災を犯したる方角も判る九星判断法の極意書	同
神道 眞言 妙術秘法大全	寂然不動行者	菊判和裝 三二〇頁送價 一五二〇	本書は神佛兩道の行者が是迄奥傳口授せし秘 法二百二十ヶ條を公開せし稀代の珍書にして 全部平假名付きとして讀み易き良書である	同
英文 日記	博文館編輯部	菊判及 ケット形 三六判及 三六判	毎年當用と懐中の二種發行内容瀟洒高尚本文 は總革裝價八五。 歐文組當用日記は總布裝價一〇〇懷中日記	博 文 館
横線 當用日記	博文館編輯部	三六判及 三六判	中形と中長形の二種、連年發行、内容に横溢 せる新氣分、運筆自由の愉快筆端に躍動す。 愈々出て、愈好評。	同

懐中日記	家庭日記	小學生日記	常用日記	常用日記	ポケット日記	ライオン常用日記
博文館編輯部	博文館編輯部	博文館編輯部	博文館編輯部	博文館編輯部	博文館編輯部	ライオン齒磨部
四六半裁列 細長細小	四六半裁列 三九四頁	四六半裁列 二五〇頁	四六半裁列 菊半裁等	四六半裁列 四〇餘頁	四六半裁列 用各種類	四六半裁列 一五〇頁
二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇	二・五〇
毎年發行、四六半裁列に織布装の上製、價四〇〇並製價二八〇、細長形價四五、細小形價三五、送料各種共〇四。	毎年發行、何れの家にも是非共備へて欲しい日記生活改善の指導、奥様日常の相談相手として家政大寶典の附録を附す重寶無類。	兒童が面白さと嬉しさの中に毎日息らす記入出来る様に巧に兒童の心理を捕へた唯一の日記、學校でも家庭でも好評噴々、毎年發行連年各種類發行凡ゆる特長を完備した全日本使用の標準日記たり、價は大判、中判、小判、三言、背布装、三言、布装、三言、中形、各合裝、三言、背布装、三言、布装、三言、中形、各合裝。	五ヶ年間繼續し過去と現在とを對照しつつ、記入し得るが故に眞に有効ならしめ其の趣味を覺え自己を反省し向上せしむる事が出来る。	毎年ABCDEFHJKの各種發行、全部織製の新形なり。業書申込次第目録贈呈す。	毎年愛用者を増すと共に毎年愛用者の希望を容れて改良又改良の實を擧ぐるに於て愛用者自身共同の意思を以て編纂するの觀を呈せり。	ライオン齒磨部、布装附録送、一〇〇、二〇。
博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館	博文館

大正十五年六月十二日印刷  
大正十五年六月十五日發行  
發行所 東京市日本橋區  
本材木町二丁目

東京書籍商組合事務所

東京市日本橋區本材木町二丁目十六番地  
編輯兼發行所 小林書房  
東京市神田區錦子町三十四番地  
印刷所 小林書房

◇大正十三年調査

全國小學校名簿

全國及植民地の小學校名、所在地、設立種別、學級數、加設科目、補習科、高等小學校等を一目直に窺ひ得る様編纂したるものにて、此の出版物は他に絶對になきことを明言す

◇本組合の機關雜誌 出版界の羅針盤

圖書月報

出版界の羅針盤として定評ある本誌は、毎號出版界の情報を掲げ、新刊圖書を網羅し且各店の目錄廣告を登載す、讀書家及書籍業者唯一の便益雜誌！

全國書籍商名簿

本書は全國各府縣の書籍業者の住所氏名を登載す、宣傳用若くは交通用として必要のもの！

東京市日本橋區本材木町三〇〇番 東京書籍商組合事務所

懷中日記	博文館編輯部	異半裁判 細長細小	每年發行、四六半裁判に總布裝の上製價四〇と並製價二八、細長形價四五、細小形價三五、送料各種共〇四。	博文館
家庭日記	博文館編輯部	異判布裝 三九四頁	毎年發行、何れの家庭にも是非共備へて欲しい日記生活改善の指導、奥様日常の相談相手として家政大寶典の附録を附す重寶無類。	同
小學生日記	博文館編輯部	異判美裝 二五〇頁	兒童が面白さと嬉しさの中に毎日意らず記入出来る様に巧に兒童の心理を捕へた唯一の子供日記、學校でも家庭でも好評噴々毎年發行	同
當用日記	博文館編輯部	大判異判 菊半裁等	連年各種類發行凡ゆる特長を完備した全日本使用の標準日記たり價は大判一冊中形總草裝二冊背草裝一冊總布裝一冊小形中形各冊	同
五年續當用日記	岡崎 萬月	四六倍判 四〇餘頁送	五ヶ年間繼續し過去と現在とを對照しつゝ、記入し得るが故に眞に有効ならしめ其の趣味を覺え自己を反省し向上せしむる事が出來ます	日用書房
ポケット日記	博文館編輯部	ポケット 用各種類	革製の新形なり。葉書申込次第目録贈呈す。	博文館
ライオン當用日記	ライオン齒磨 廣告部	四六判 一布裝附録 一五〇頁送	年年愛用者を増すと共に年年愛用者の希望を容れて改良又改良の實を擧ぐるに恰も愛用者自身共同の意思を以て編纂するの觀を呈せり	小林商店

大正十五年六月十二日 印刷  
大正十五年六月十五日 發行  
發行所 東京市日本橋區  
本材木町二丁目

東京市日本橋區本材木町二丁目十六番地  
編輯兼發行者 小林 善 八  
東京市神田區雉子町三十四番地  
印刷者 綾部 喜久 二  
電話 大手 八二二番  
振替 東京三一〇〇三番

東京書籍商組合事務所

◇大正十三年調査

全國小學校名簿

全國及植民地の小學校名、所在地、設立種別、學級數、加設科目、補習科、高等小學校等を一目直に窺ひ得る様編纂したるものにて、此の出版物は他に絶對になきことを明言す

定四判千餘頁  
送料價五圓十五拾錢

◇本組合の機關雜誌 出版界の羅針盤

圖書月報

出版界の羅針盤として定評ある本誌は、毎號出版界の情報を掲げ、新刊圖書を網羅し且各店の目錄廣告を登載す、讀書家及書籍業者唯一の便益雜誌！

每月一元  
一年十二元  
送料共六十六錢

全國書籍商名簿

本書は全國各府縣の書籍業者の住所氏名を登載す、宣傳用若くは交通用として必要のもの！

全一冊五百頁  
定價六十六錢

東京市日本橋區本材木町三〇番  
東京書籍商組合事務所

終



東京市神田區一ツ橋通町五番地  
有斐閣主 江戸子守屋

東京市神田區一ツ橋通町五番地  
有斐閣